

## 小学生・中学生・高校生白書 小学生・中学生・高校生の学習・学校生活に関する調査

株式会社学研ホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長:宮原博昭)の調査・研究機関である学研教育総合研究所は、2024年11月6日(水)~11月14日(木)の9日間、全国の小学生の子どもを持つ保護者を対象に「小学生調査」、全国の中学生の子どもを持つ保護者を対象に「中学生調査」、全国の高校生を対象に「高校生調査」を実施し、小学生調査では1,200名、中学生調査と高校生調査では各600名の有効サンプルを集計しました。今回は、小学生調査、中学生調査および高校生調査のうち、学習や学校生活の実態・意識に関する結果を「小学生・中学生・高校生白書 小学生・中学生・高校生の学習・学校生活に関する調査」として公表します。

調査協力機関:ネットエイジア株式会社

URL

<https://www.gakken.jp/kyouikusouken/whitepaper/index.html>



**小学生・中学生・高校生の一番好きな教科・一番嫌いな教科**  
**好きな教科 小学生の1位は「体育」、中学生と高校生の1位は「数学」**  
**嫌いな教科 小学生の1位は「算数」、中学生と高校生の1位は「数学」**

一番好きな教科と一番嫌いな教科をきいたところ、小学生では一番好きな教科は1位「体育」、2位「算数」、3位「図画工作」、一番嫌いな教科は1位「算数」、2位「国語」、3位「体育」となりました。

また、中学生と高校生では、一番好きな教科はともに1位「数学」、一番嫌いな教科もともに1位「数学」となり、中学生では一番好きな教科の2位は「英語」、3位は「社会」、一番嫌いな教科の2位は「英語」、3位は「国語」、高校生では一番好きな教科の2位は「地理歴史」、3位は「保健体育」、一番嫌いな教科の2位は「外国語」、3位は「国語」となりました。

### 一番好きな教科・一番嫌いな教科

小学生[n=1200]			中学生[n=600]			高校生[n=600]		
一番好きな教科		%	一番好きな教科		%	一番好きな教科		%
1位	体育	20.8	1位	数学	19.8	1位	数学	15.2
2位	算数	18.3	2位	英語	14.3	2位	地理歴史	10.7
3位	図画工作	17.1	3位	社会	12.0	3位	保健体育	9.5
4位	国語	8.9	4位	保健体育	11.2	4位	外国語	9.2
5位	音楽	8.0	5位	国語	7.8	5位	国語	7.8
一番嫌いな教科		%	一番嫌いな教科		%	一番嫌いな教科		%
1位	算数	22.6	1位	数学	23.5	1位	数学	26.7
2位	国語	17.8	2位	英語	15.7	2位	外国語	17.3
3位	体育	9.2	3位	国語	13.0	3位	国語	9.8
4位	外国語活動/外国語	4.7	4位	社会	7.8	4位	地理歴史	6.8
5位	図画工作	4.5	5位	理科	7.0	5位	理科	6.3

©学研教育総合研究所

## ChatGPT など対話型生成 AI の利用経験

「学校で利用したことがある」小学生の 17%、高校生の 28%

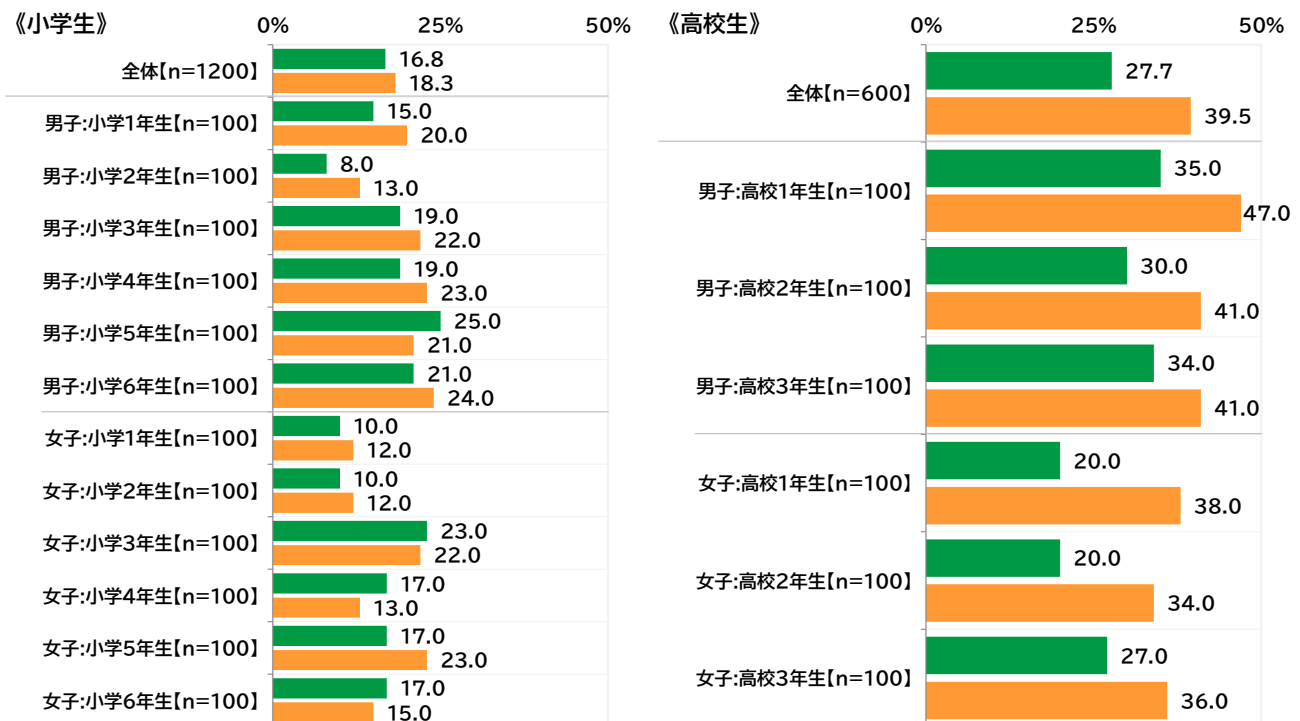
「家庭で利用したことがある」小学生の 18%、高校生の 40%

ChatGPTなどの対話型生成AIを【学校】で利用したことがあるかをきいたところ、「ある」と回答した人の割合は、小学生では16.8%、高校生では27.7%となりました。

また、対話型生成AIを【家庭】で利用したことがあるかをきいたところ、「ある」と回答した人の割合は、小学生では18.3%、高校生では39.5%となりました。

小学生の結果を前回調査と比較すると、利用したことがある人の割合は、【学校】では7.0ポイント上昇(前回調査9.8%→今回調査16.8%)、【家庭】では5.8ポイント上昇(前回調査12.5%→今回調査18.3%)と、どちらも上昇傾向がみられました。

生成AIを利用したことがある人の割合



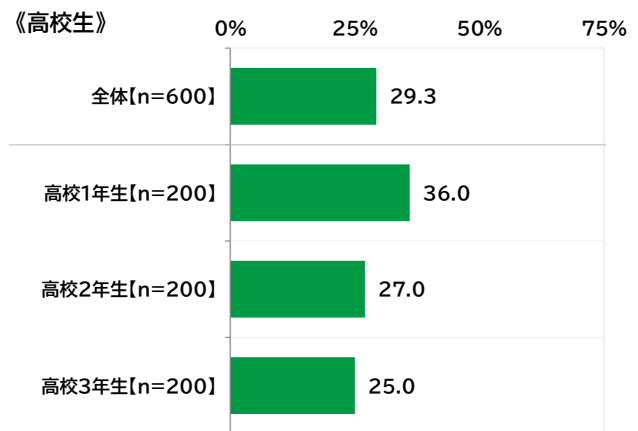
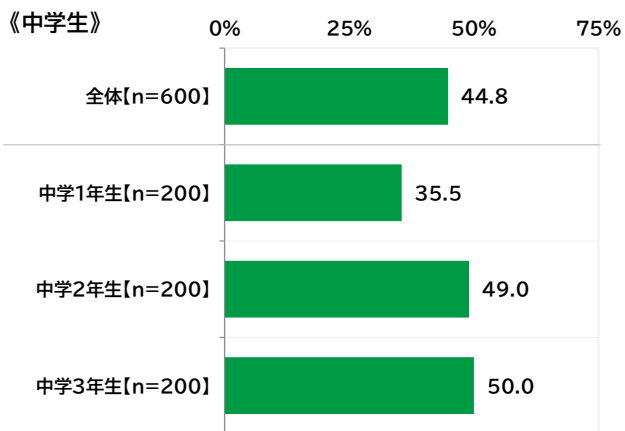
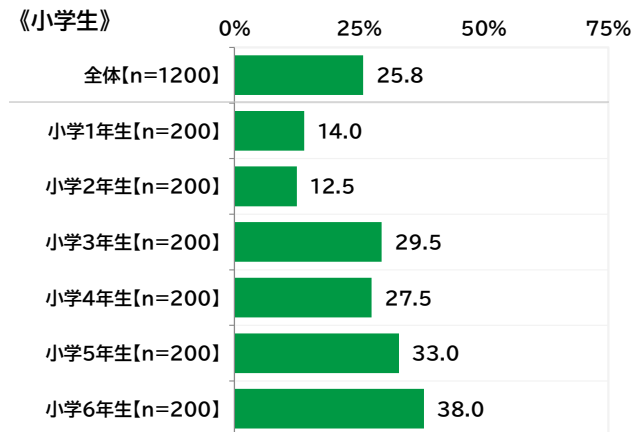
©学研教育総合研究所

「クラスに長期間お休みしている人がいる」  
 小学生の26%、中学生の45%、高校生の29%  
 小学生と中学生では上の学年、高校生では下の学年で高くなる傾向

クラスに長期間お休みしている人がいるかをきいたところ、「いる」と回答した人の割合は、小学生では25.8%、中学生では44.8%、高校生では29.3%と、中学生が突出して高くなりました。

学年別にみると、小学生と中学生では上の学年で高くなっている一方、高校生では下の学年で高くなる傾向がみられました。

クラスに長期間お休みしている人がいる人の割合



©学研教育総合研究所

## 【小学生調査】

小学生の一番好きな教科

1位は前回調査に続き「体育」2位「算数」3位「図画工作」4位「国語」5位「音楽」

小学生の一番嫌いな教科

1位は前回調査に続き「算数」2位「国語」3位「体育」4位「外国語活動/外国語」5位「図画工作」

「ChatGPT など対話型生成 AI を学校で利用したことがある」17%、前回調査から 7 ポイント上昇

受験する中学校を選ぶ際に重視したいこと

子ども自身・保護者ともに TOP5 は

「自宅からの距離」「学校の教育方針」「偏差値」「在校生の雰囲気」「進学実績」

## 【中学生調査】

中学生の一番好きな教科 1位「数学」2位「英語」3位「社会」4位「保健体育」5位「国語」

中学生の一番嫌いな教科 1位「数学」2位「英語」3位「国語」4位「社会」5位「理科」

「学校でいじめを見たり聞いたりしたことがある」28%

## 【高校生調査】

高校生が一番好きな教科

1位は前回調査に続き「数学」2位「地理歴史」3位「保健体育」4位「外国語」5位「国語」

高校生が一番嫌いな教科

1位は前回調査に続き「数学」2位「外国語」3位「国語」4位「地理歴史」5位「理科」

学校の“総合的な探究の時間”でテーマにしたこと

1位「SDGs」2位「キャリア・進路」3位「環境問題」

ChatGPT など対話型生成 AI の利用経験 「学校で」28%、「家庭で」40%

進学希望者が高校卒業後の希望進路を決める際に重視したこと

1位「学びたいことが学べる」2位「資格が取得できる」3位「就職に有利」

## ■報道関係の皆様へ■

本リリースの内容の転載にあたりましては、  
「学研教育総合研究所調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

## ■本リリースについての報道関係者のお問い合わせ先■

株式会社学研ホールディングス 学研教育総合研究所  
E-Mail: info-gri@gakken.co.jp

## 小学生調査 調査結果

### 学習について

★小学生の一番好きな教科 1位は前回調査に続き「体育」2位「算数」3位「図画工作」4位「国語」5位「音楽」

★小学生の一番嫌いな教科

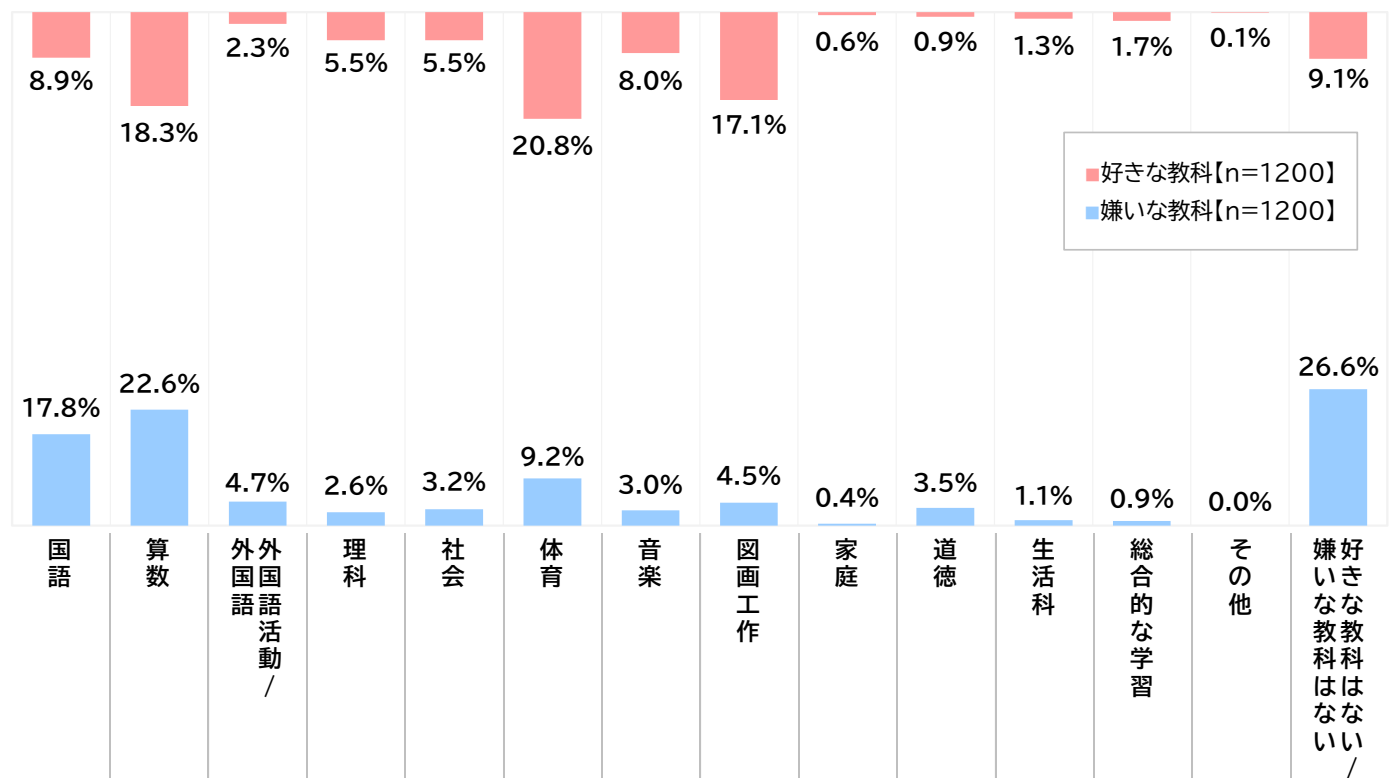
1位は前回調査に続き「算数」2位「国語」3位「体育」4位「外国語活動/外国語」5位「図画工作」

一番好きな教科をきいたところ、1位「体育」(20.8%)、2位「算数」(18.3%)、3位「図画工作」(17.1%)、4位「国語」(8.9%)、5位「音楽」(8.0%)となりました。

他方、一番嫌いな教科をきいたところ、1位「算数」(22.6%)、2位「国語」(17.8%)、3位「体育」(9.2%)、4位「外国語活動/外国語」(4.7%)、5位「図画工作」(4.5%)となりました。

過去の調査と比較すると、前回調査に続き、一番好きな教科の1位は「体育」、一番嫌いな教科の1位は「算数」となりました。

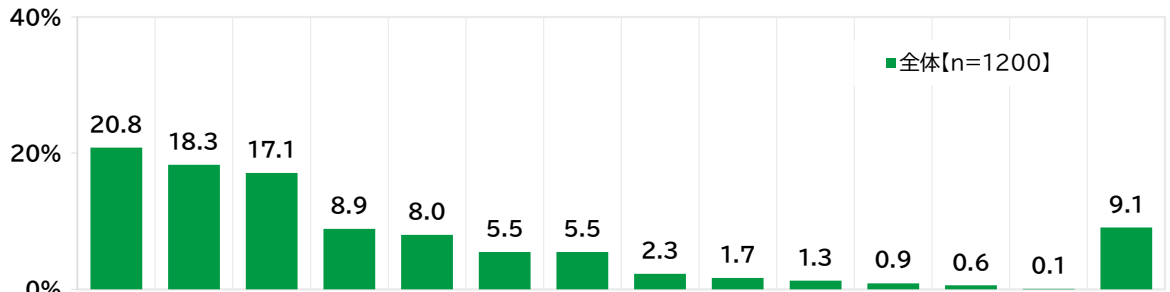
◆一番好きな教科と一番嫌いな教科は何ですか。(それぞれ1つ)



©学研教育総合研究所

一番好きな教科を男女別にみると、男子の1位は「体育」(25.3%)、女子の1位は「図画工作」(20.7%)でした。また、「算数」(男子24.2%、女子12.5%)は女子と比べて男子のほうが10ポイント以上高くなったのに対し、「音楽」(男子2.8%、女子13.2%)は男子と比べて女子のほうが10ポイント以上高くなりました。

◆一番好きな教科は何ですか。



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	体育	算数	図画工作	国語	音楽	理科	社会	外国語活動 / 総合的な学習	生活科	道徳	家庭	その他	好きな教科は	
全体		1200	20.8	18.3	17.1	8.9	8.0	5.5	5.5	2.3	1.7	1.3	0.9	0.6	0.1	9.1
性別	男子	600	25.3	24.2	13.5	5.7	2.8	5.3	7.3	2.3	1.2	1.7	1.0	0.5	-	9.2
	女子	600	16.2	12.5	20.7	12.2	13.2	5.7	3.7	2.2	2.2	1.0	0.8	0.7	0.2	9.0
性学年別	男子:小学1年生	100	30.0	28.0	11.0	7.0	6.0	-	-	4.0	-	4.0	1.0	-	-	9.0
	男子:小学2年生	100	26.0	26.0	25.0	6.0	3.0	-	-	2.0	-	2.0	1.0	-	-	9.0
	男子:小学3年生	100	25.0	21.0	15.0	5.0	4.0	4.0	15.0	3.0	1.0	2.0	1.0	-	-	4.0
	男子:小学4年生	100	19.0	28.0	9.0	8.0	1.0	7.0	10.0	1.0	2.0	2.0	3.0	-	-	10.0
	男子:小学5年生	100	32.0	15.0	13.0	7.0	1.0	8.0	12.0	1.0	4.0	-	-	1.0	-	6.0
	男子:小学6年生	100	20.0	27.0	8.0	1.0	2.0	13.0	7.0	3.0	-	-	-	2.0	-	17.0
	女子:小学1年生	100	22.0	13.0	21.0	15.0	15.0	-	-	3.0	-	3.0	-	-	-	8.0
	女子:小学2年生	100	22.0	14.0	19.0	14.0	17.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	13.0
	女子:小学3年生	100	19.0	16.0	20.0	11.0	10.0	6.0	6.0	1.0	1.0	2.0	1.0	-	-	7.0
	女子:小学4年生	100	13.0	7.0	28.0	7.0	14.0	12.0	4.0	4.0	2.0	-	3.0	-	-	6.0
	女子:小学5年生	100	12.0	16.0	17.0	14.0	10.0	12.0	1.0	3.0	4.0	-	-	3.0	-	8.0
	女子:小学6年生	100	9.0	9.0	19.0	12.0	13.0	4.0	11.0	2.0	6.0	1.0	-	1.0	1.0	12.0
学年別	小学1年生	200	26.0	20.5	16.0	11.0	10.5	-	-	3.5	-	3.5	0.5	-	-	8.5
	小学2年生	200	24.0	20.0	22.0	10.0	10.0	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	11.0
	小学3年生	200	22.0	18.5	17.5	8.0	7.0	5.0	10.5	2.0	1.0	2.0	1.0	-	-	5.5
	小学4年生	200	16.0	17.5	18.5	7.5	7.5	9.5	7.0	2.5	2.0	1.0	3.0	-	-	8.0
	小学5年生	200	22.0	15.5	15.0	10.5	5.5	10.0	6.5	2.0	4.0	-	-	2.0	-	7.0
	小学6年生	200	14.5	18.0	13.5	6.5	7.5	8.5	9.0	2.5	3.0	0.5	-	1.5	0.5	14.5

(%)

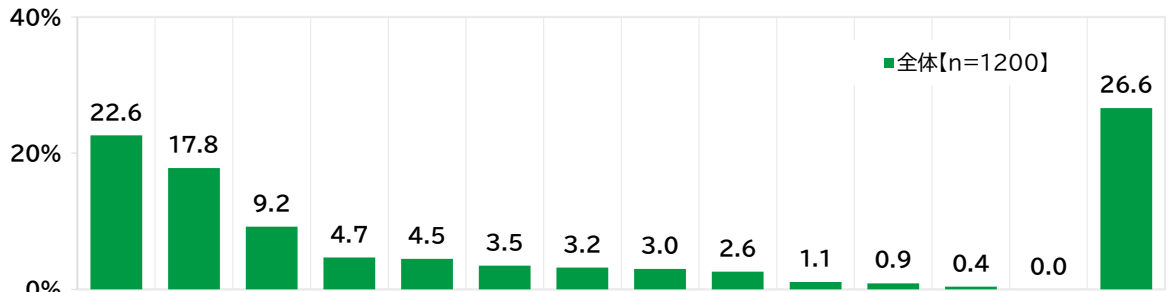
※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

# Gakken News Release

一番嫌いな教科を男女別にみると、男子の1位は「国語」(23.0%)、女子の1位は「算数」(28.8%)でした。また、「国語」(男子23.0%、女子12.7%)は女子と比べて男子のほうが10ポイント以上高くなったのに対し、「算数」(男子16.3%、女子28.8%)は男子と比べて女子のほうが10ポイント以上高くなりました。

## ◆一番嫌いな教科は何ですか。



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	算数	国語	体育	外国語活動 / 外国語	図画工作	道徳	社会	音楽	理科	生活科	総合的な学習	家庭	その他	な嫌いな教科は
全体		1200	22.6	17.8	9.2	4.7	4.5	3.5	3.2	3.0	2.6	1.1	0.9	0.4	-	26.6
性別	男子	600	16.3	23.0	6.7	5.2	5.8	3.8	2.5	4.2	1.8	1.8	1.3	0.7	-	26.8
	女子	600	28.8	12.7	11.7	4.2	3.2	3.2	3.8	1.8	3.3	0.3	0.5	0.2	-	26.3
性学年別	男子:小学1年生	100	9.0	24.0	3.0	3.0	8.0	7.0	-	3.0	-	4.0	-	-	-	39.0
	男子:小学2年生	100	22.0	29.0	6.0	-	5.0	2.0	-	5.0	-	-	-	-	-	31.0
	男子:小学3年生	100	11.0	26.0	8.0	7.0	2.0	3.0	1.0	6.0	5.0	2.0	2.0	-	-	27.0
	男子:小学4年生	100	14.0	21.0	8.0	10.0	7.0	-	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	-	-	24.0
	男子:小学5年生	100	27.0	20.0	6.0	8.0	4.0	7.0	5.0	2.0	1.0	1.0	2.0	3.0	-	14.0
	男子:小学6年生	100	15.0	18.0	9.0	3.0	9.0	4.0	5.0	5.0	1.0	2.0	2.0	1.0	-	26.0
	女子:小学1年生	100	29.0	13.0	9.0	2.0	1.0	6.0	-	3.0	-	1.0	-	-	-	36.0
	女子:小学2年生	100	25.0	17.0	10.0	3.0	6.0	3.0	-	2.0	-	-	-	-	-	34.0
	女子:小学3年生	100	23.0	15.0	9.0	6.0	3.0	3.0	8.0	3.0	5.0	1.0	2.0	-	-	22.0
	女子:小学4年生	100	32.0	15.0	13.0	5.0	1.0	-	4.0	1.0	2.0	-	-	-	-	27.0
	女子:小学5年生	100	30.0	11.0	16.0	2.0	3.0	3.0	6.0	2.0	6.0	-	-	-	-	21.0
	女子:小学6年生	100	34.0	5.0	13.0	7.0	5.0	4.0	5.0	-	7.0	-	1.0	1.0	-	18.0
学年別	小学1年生	200	19.0	18.5	6.0	2.5	4.5	6.5	-	3.0	-	2.5	-	-	-	37.5
	小学2年生	200	23.5	23.0	8.0	1.5	5.5	2.5	-	3.5	-	-	-	-	-	32.5
	小学3年生	200	17.0	20.5	8.5	6.5	2.5	3.0	4.5	4.5	5.0	1.5	2.0	-	-	24.5
	小学4年生	200	23.0	18.0	10.5	7.5	4.0	-	4.0	2.5	3.0	1.0	1.0	-	-	25.5
	小学5年生	200	28.5	15.5	11.0	5.0	3.5	5.0	5.5	2.0	3.5	0.5	1.0	1.5	-	17.5
	小学6年生	200	24.5	11.5	11.0	5.0	7.0	4.0	5.0	2.5	4.0	1.0	1.5	1.0	-	22.0

(%)

※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

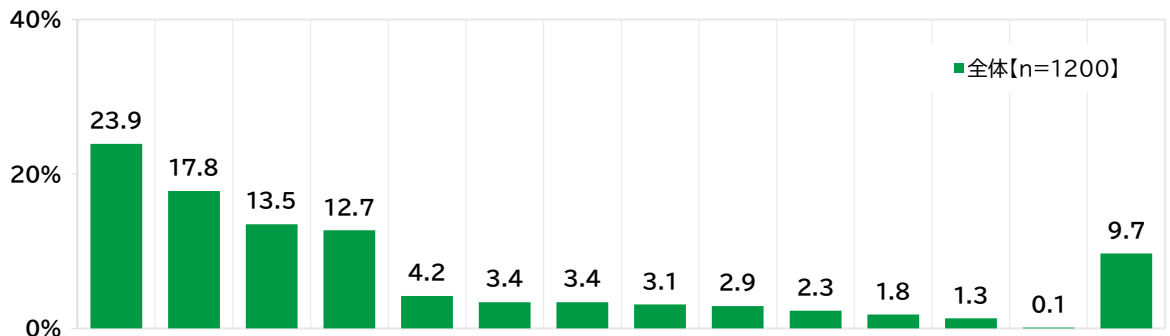


★保護者が子どもにとって将来役に立つと思う教科 1位「算数」2位「外国語活動/外国語」3位「総合的な学習」  
選んだ理由は？ 総合的な学習・国語・道徳・社会では「常識として必要」が1位

保護者に、子どもにとって将来役に立つと思う教科をきいたところ、1位「算数」(23.9%)、2位「外国語活動/外国語」(17.8%)、3位「総合的な学習」(13.5%)、4位「国語」(12.7%)、5位「道徳」(4.2%)でした。

前回調査と比較すると、「総合的な学習」が前回調査4位→今回調査3位と、順位を上げる結果となりました。

◆お子さまにとって将来役に立つと思う教科は何ですか。(1つ)



n=30以上で  
■ 全体比+10pt以上  
■ 全体比+5pt以上  
■ 全体比-5pt以下  
■ 全体比-10pt以下

		n数	算数	外国語活動 / 外国語	総合的な学習	国語	道徳	社会	家庭	理科	体育	生活科	図画工作	音楽	その他	思う来教科には立たないと
全体		1200	23.9	17.8	13.5	12.7	4.2	3.4	3.4	3.1	2.9	2.3	1.8	1.3	0.1	9.7
性別	男子	600	25.3	18.2	13.8	12.2	4.5	3.2	2.2	3.8	3.0	2.0	1.8	1.0	0.2	8.8
	女子	600	22.5	17.5	13.2	13.2	3.8	3.7	4.7	2.3	2.8	2.7	1.7	1.5	-	10.5
性学年別	男子:小学1年生	100	18.0	19.0	13.0	11.0	6.0	6.0	1.0	7.0	2.0	6.0	3.0	2.0	-	6.0
	男子:小学2年生	100	25.0	12.0	23.0	17.0	6.0	-	-	2.0	5.0	-	2.0	1.0	-	7.0
	男子:小学3年生	100	23.0	25.0	14.0	14.0	3.0	5.0	3.0	1.0	3.0	1.0	1.0	-	-	7.0
	男子:小学4年生	100	24.0	19.0	15.0	10.0	1.0	1.0	2.0	6.0	3.0	3.0	1.0	1.0	-	14.0
	男子:小学5年生	100	29.0	19.0	9.0	12.0	8.0	6.0	2.0	5.0	2.0	1.0	2.0	-	-	5.0
	男子:小学6年生	100	33.0	15.0	9.0	9.0	3.0	1.0	5.0	2.0	3.0	1.0	2.0	2.0	1.0	14.0
	女子:小学1年生	100	23.0	16.0	18.0	14.0	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	4.0	-	7.0
	女子:小学2年生	100	22.0	13.0	17.0	18.0	5.0	1.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	1.0	-	12.0
	女子:小学3年生	100	17.0	22.0	11.0	10.0	3.0	6.0	7.0	-	2.0	1.0	2.0	3.0	-	16.0
	女子:小学4年生	100	27.0	15.0	12.0	13.0	6.0	3.0	4.0	3.0	4.0	3.0	1.0	-	-	9.0
	女子:小学5年生	100	21.0	22.0	12.0	13.0	2.0	5.0	4.0	5.0	3.0	5.0	1.0	-	-	7.0
	女子:小学6年生	100	25.0	17.0	9.0	11.0	4.0	4.0	8.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1.0	-	12.0
学年別	小学1年生	200	20.5	17.5	15.5	12.5	4.5	4.5	2.0	4.5	2.5	4.0	2.5	3.0	-	6.5
	小学2年生	200	23.5	12.5	20.0	17.5	5.5	0.5	1.0	2.0	3.5	1.5	2.0	1.0	-	9.5
	小学3年生	200	20.0	23.5	12.5	12.0	3.0	5.5	5.0	0.5	2.5	1.0	1.5	1.5	-	11.5
	小学4年生	200	25.5	17.0	13.5	11.5	3.5	2.0	3.0	4.5	3.5	3.0	1.0	0.5	-	11.5
	小学5年生	200	25.0	20.5	10.5	12.5	5.0	5.5	3.0	5.0	2.5	3.0	1.5	-	-	6.0
	小学6年生	200	29.0	16.0	9.0	10.0	3.5	2.5	6.5	2.0	3.0	1.5	2.0	1.5	0.5	13.0

(%)

※全体の値を基準に降順並び替え

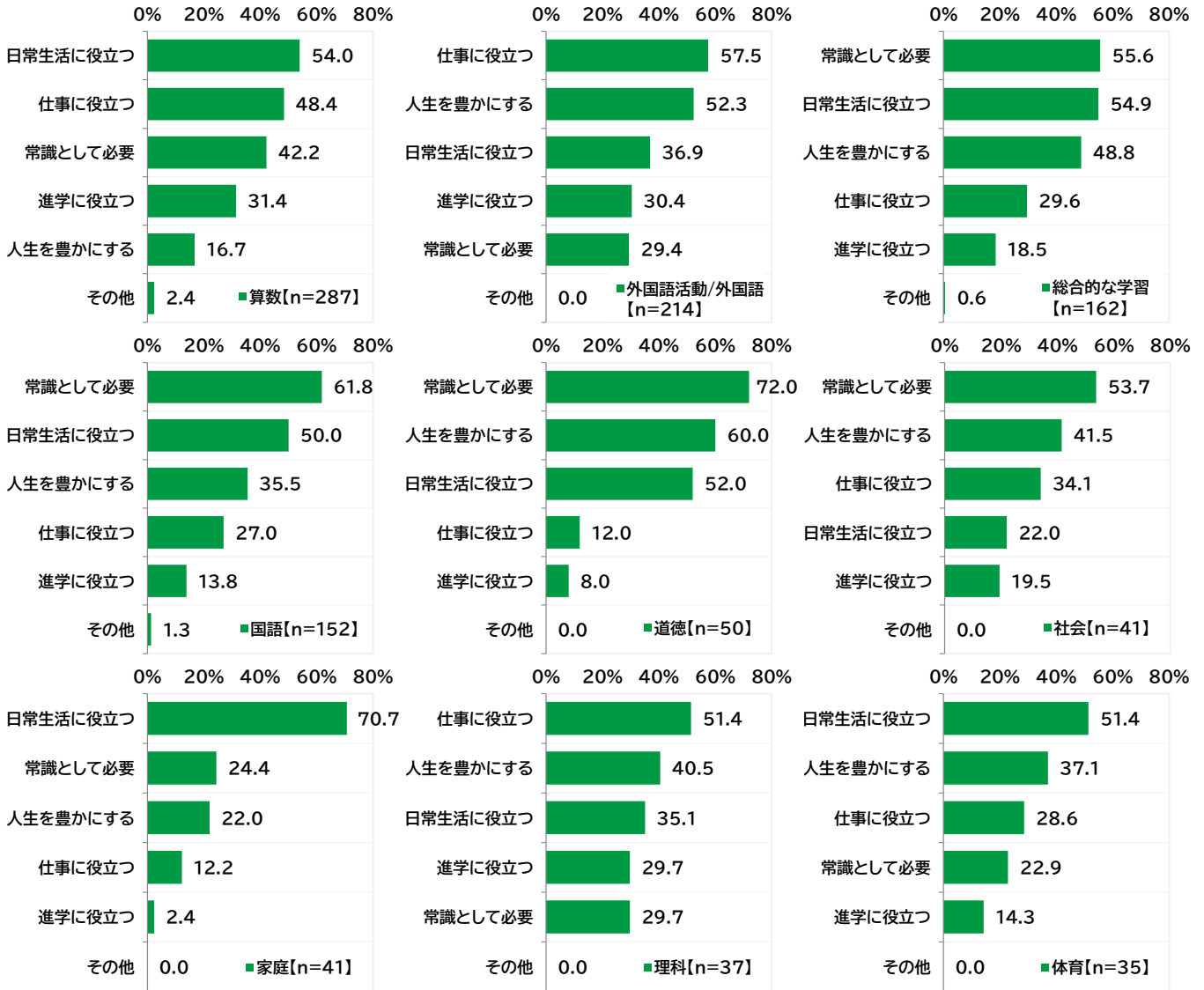
©学研教育総合研究所



将来役に立つと思う教科の上位の9つ(※)について、将来役に立つと思う教科として選んだ理由をきいたところ、算数と家庭、体育では「日常生活に役立つ」(算数54.0%、家庭70.7%、体育51.4%)、外国語活動/外国語と理科では「仕事に役立つ」(外国語活動/外国語57.5%、理科51.4%)、総合的な学習と国語、道徳、社会では「常識として必要」(総合的な学習55.6%、国語61.8%、道徳72.0%、社会53.7%)が1位となりました。

※n数が30以上の教科を抜粋

◆お子さまにとって将来役に立つと思う教科として次の教科を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものをすべて)



※全体の値を基準に降順並び替え

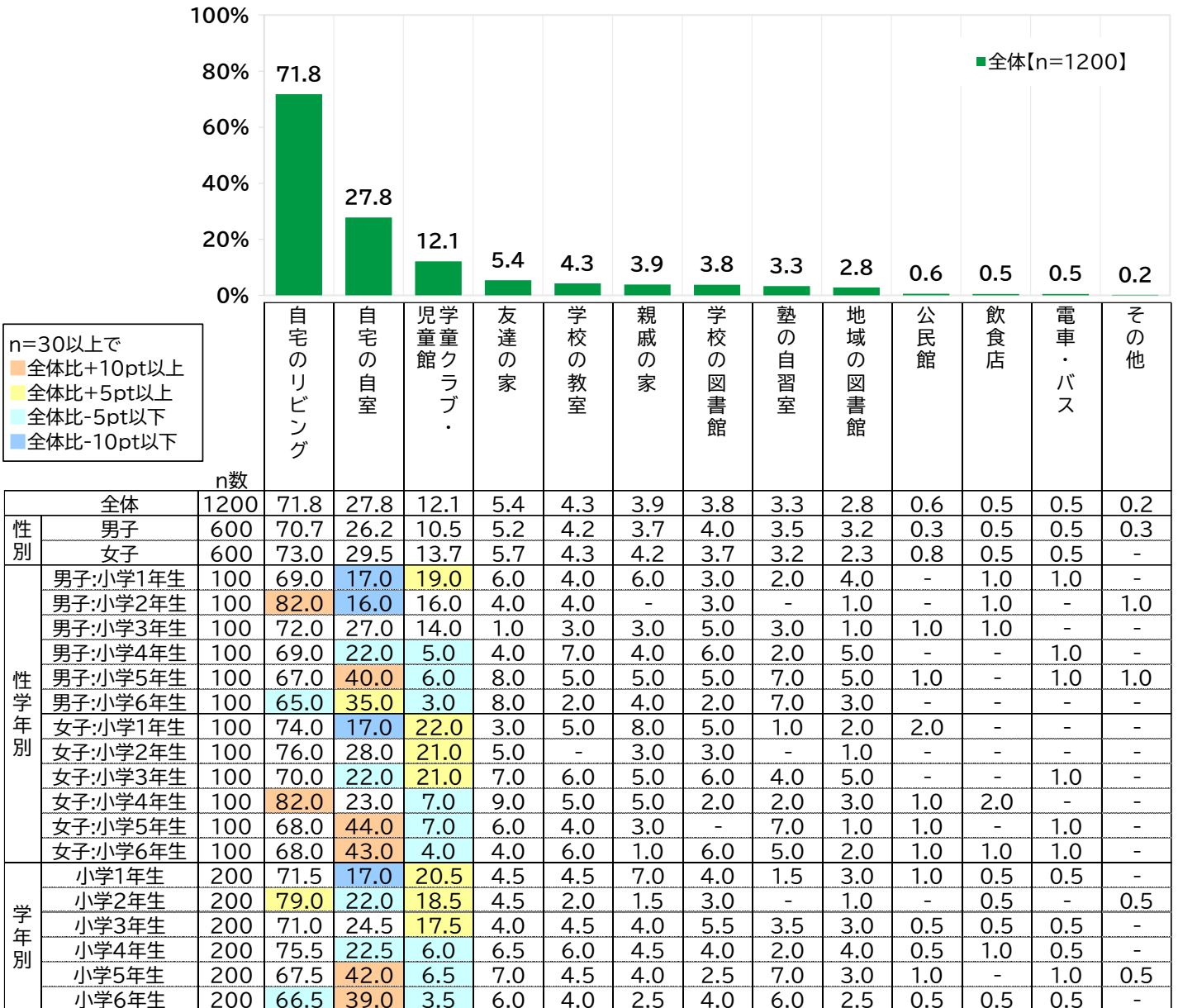
©学研教育総合研究所

## ★放課後や休日に勉強することが多い場所 1位「自宅のリビング」2位「自宅の自室」3位「学童クラブ・児童館」

子どもが放課後や休日に、どこで勉強をすることが多いかをきいたところ、「自宅のリビング」(71.8%)が突出して高くなり、「自宅の自室」(27.8%)、「学童クラブ・児童館」(12.1%)、「友達の家」(5.4%)、「学校の教室」(4.3%)が続きました。

学年別にみると、「学童クラブ・児童館」は低学年で高くなる傾向がみられ、1年生では20.5%でした。

◆お父さまは、放課後や休日に、どこで勉強をすることが多いですか。(あてはまるものをすべて)



(%)

※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

## ★「ChatGPTなど対話型生成AIを学校で利用したことがある」17%、前回調査から7ポイント上昇

対話型生成AIとは、音声やテキストで質問を入力すると、対話するように自然な文章で応答することができる人工知能を指します。

ChatGPTなどの対話型生成AIを【学校】で利用したことがあるかをきいたところ、「ある」は16.8%となりました。また、対話型生成AIを【家庭】で利用したことがあるかをきいたところ、「ある」は18.3%となりました。

前回調査と比較すると、利用したことがある人の割合は、【学校】では7.0ポイント上昇(前回調査9.8%→今回調査16.8%)、【家庭】では5.8ポイント上昇(前回調査12.5%→今回調査18.3%)と、どちらも上昇傾向がみられました。

◆お子さまは対話型生成AIを学校で利用したことがありますか。

		0%	25%	50%	75%	100%
		ある		ない		
全体 [n=1200]		16.8		83.3		
性別	男子 [n=600]	17.8		82.2		
	女子 [n=600]	15.7		84.3		
性学年別	男子:小学1年生 [n=100]	15.0		85.0		
	男子:小学2年生 [n=100]	8.0		92.0		
	男子:小学3年生 [n=100]	19.0		81.0		
	男子:小学4年生 [n=100]	19.0		81.0		
	男子:小学5年生 [n=100]	25.0		75.0		
	男子:小学6年生 [n=100]	21.0		79.0		
	女子:小学1年生 [n=100]	10.0		90.0		
	女子:小学2年生 [n=100]	10.0		90.0		
	女子:小学3年生 [n=100]	23.0		77.0		
	女子:小学4年生 [n=100]	17.0		83.0		
	女子:小学5年生 [n=100]	17.0		83.0		
	女子:小学6年生 [n=100]	17.0		83.0		
学年別	小学1年生 [n=200]	12.5		87.5		
	小学2年生 [n=200]	9.0		91.0		
	小学3年生 [n=200]	21.0		79.0		
	小学4年生 [n=200]	18.0		82.0		
	小学5年生 [n=200]	21.0		79.0		
	小学6年生 [n=200]	19.0		81.0		

◆お子さまは対話型生成AIを家庭で利用したことがありますか。

		0%	25%	50%	75%	100%
		ある		ない		
全体 [n=1200]		18.3		81.7		
性別	男子 [n=600]	20.5		79.5		
	女子 [n=600]	16.2		83.8		
性学年別	男子:小学1年生 [n=100]	20.0		80.0		
	男子:小学2年生 [n=100]	13.0		87.0		
	男子:小学3年生 [n=100]	22.0		78.0		
	男子:小学4年生 [n=100]	23.0		77.0		
	男子:小学5年生 [n=100]	21.0		79.0		
	男子:小学6年生 [n=100]	24.0		76.0		
	女子:小学1年生 [n=100]	12.0		88.0		
	女子:小学2年生 [n=100]	12.0		88.0		
	女子:小学3年生 [n=100]	22.0		78.0		
	女子:小学4年生 [n=100]	13.0		87.0		
	女子:小学5年生 [n=100]	23.0		77.0		
	女子:小学6年生 [n=100]	15.0		85.0		
学年別	小学1年生 [n=200]	16.0		84.0		
	小学2年生 [n=200]	12.5		87.5		
	小学3年生 [n=200]	22.0		78.0		
	小学4年生 [n=200]	18.0		82.0		
	小学5年生 [n=200]	22.0		78.0		
	小学6年生 [n=200]	19.5		80.5		

©学研教育総合研究所

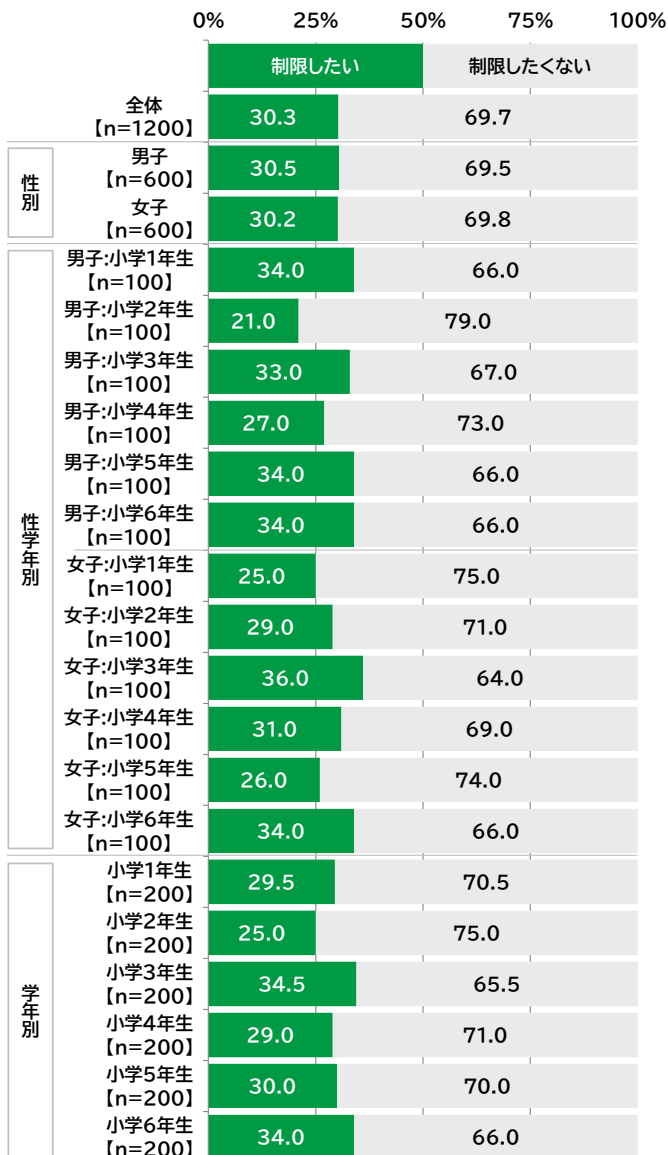
## ★子どもの対話型生成AIの利用に対する保護者の意識

「学習での利用を制限したい」30%、「学習以外での利用を制限したい」34%

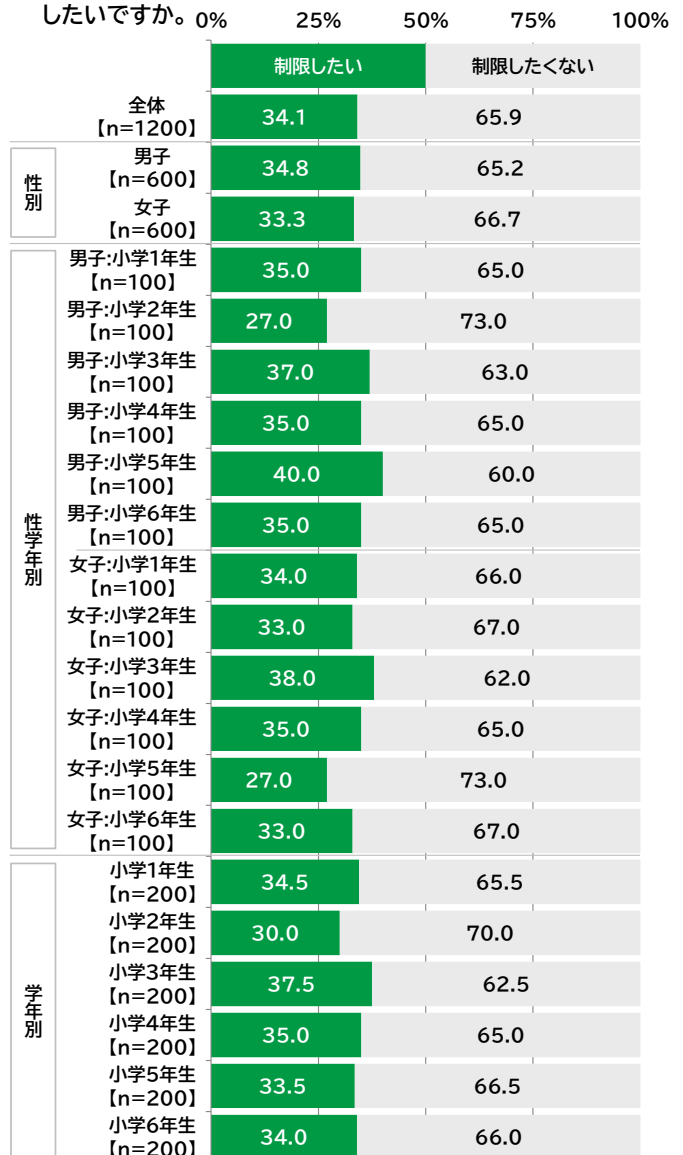
対話型生成AIの利用の制限について保護者に意向を質問しました。

保護者に、対話型生成AIの学習での利用を制限したいかをきいたところ、「制限したい」は30.3%、「制限したくない」は69.7%となり、対話型生成AIの学習以外での利用を制限したいかをきいたところ、「制限したい」は34.1%、「制限したくない」は65.9%となりました。

◆お子さまの対話型生成AIの学習での利用を制限したいですか。



◆お子さまの対話型生成AIの学習以外での利用を制限したいですか。



©学研教育総合研究所

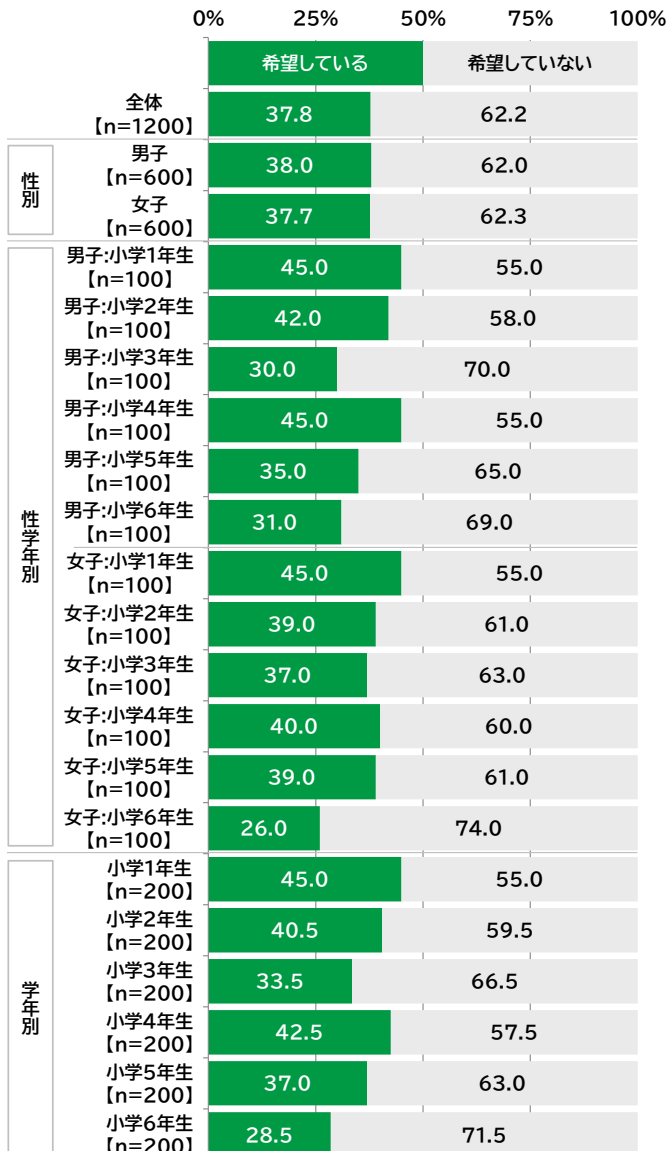
## その他

### ★「中学校受験を希望している」小学生の38%、「子どもに中学校受験をしてほしい」保護者の37%

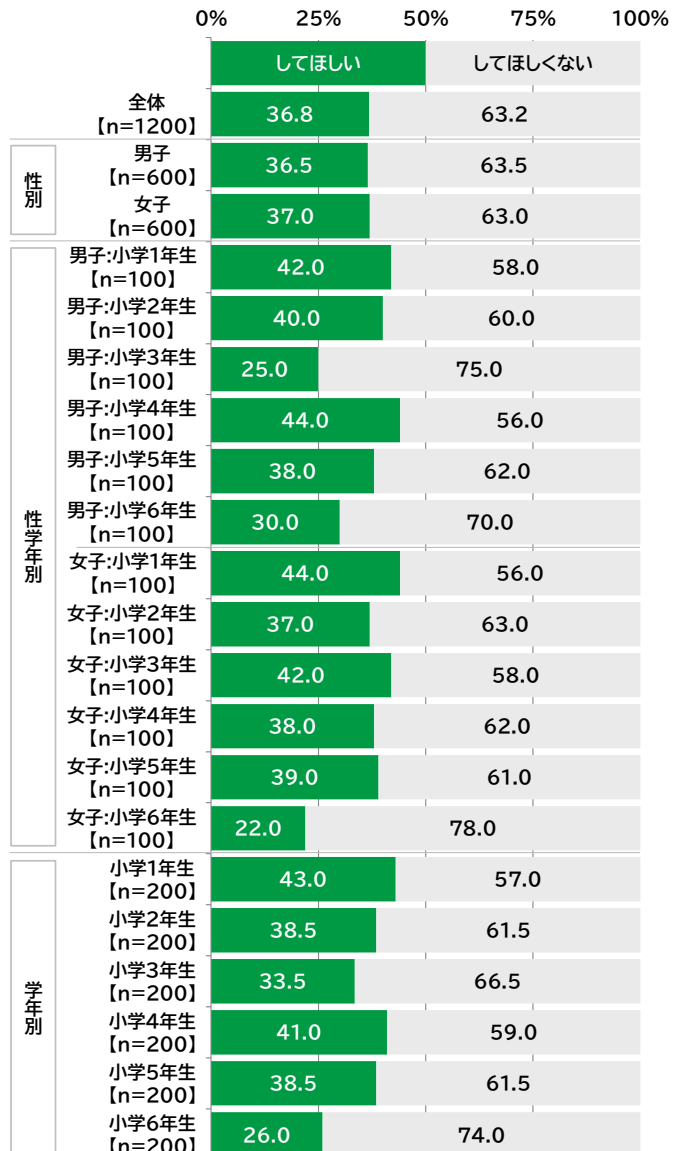
子ども自身が中学校受験を希望しているかをきいたところ、「希望している」は37.8%、「希望していない」は62.2%となりました。

他方、保護者に対し、子どもに中学校受験をしてほしいかをきいたところ、「してほしい」は36.8%、「してほしくない」は63.2%となりました。

◆お子さまは、中学校受験を希望していますか。



◆お子さまに中学校受験をしてほしいですか。



©学研教育総合研究所

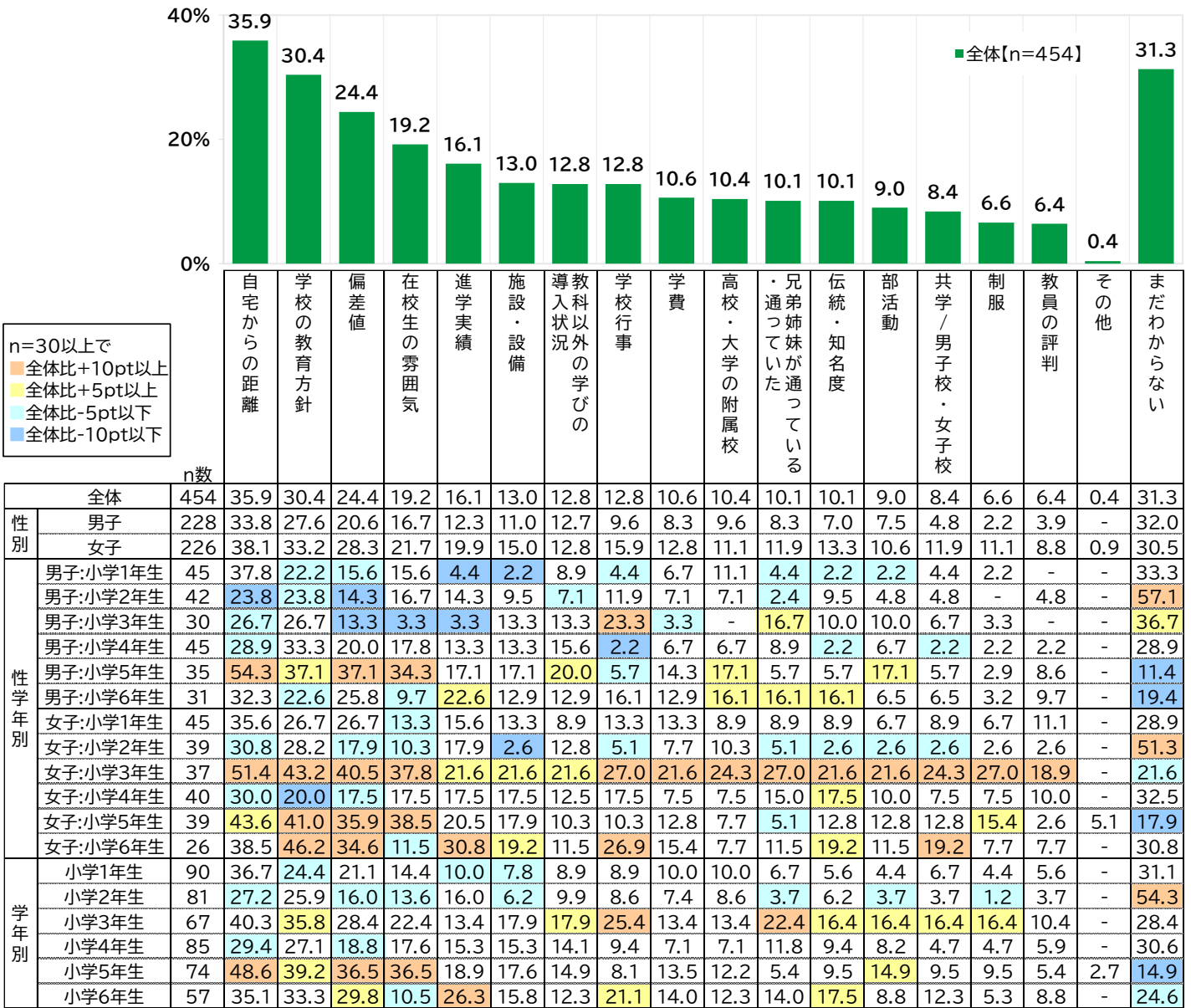
## ★受験する中学校を選ぶ際に重視したいこと

子ども自身・保護者ともにTOP5は「自宅からの距離」「学校の教育方針」「偏差値」「在校生の雰囲気」「進学実績」

子どもが中学校受験を希望している人(454名)に、子ども自身が受験する中学校を選ぶ際、重視したいことをきいたところ、1位「自宅からの距離」(35.9%)、2位「学校の教育方針」(30.4%)、3位「偏差値」(24.4%)、4位「在校生の雰囲気」(19.2%)、5位「進学実績」(16.1%)となりました。

### ◆お父さま(自身)が受験する中学校を選ぶ際に重視したいことは何ですか。(あてはまるものをすべて)

対象:お父さまが中学校受験を希望している人



※全体の値を基準に降順並び替え

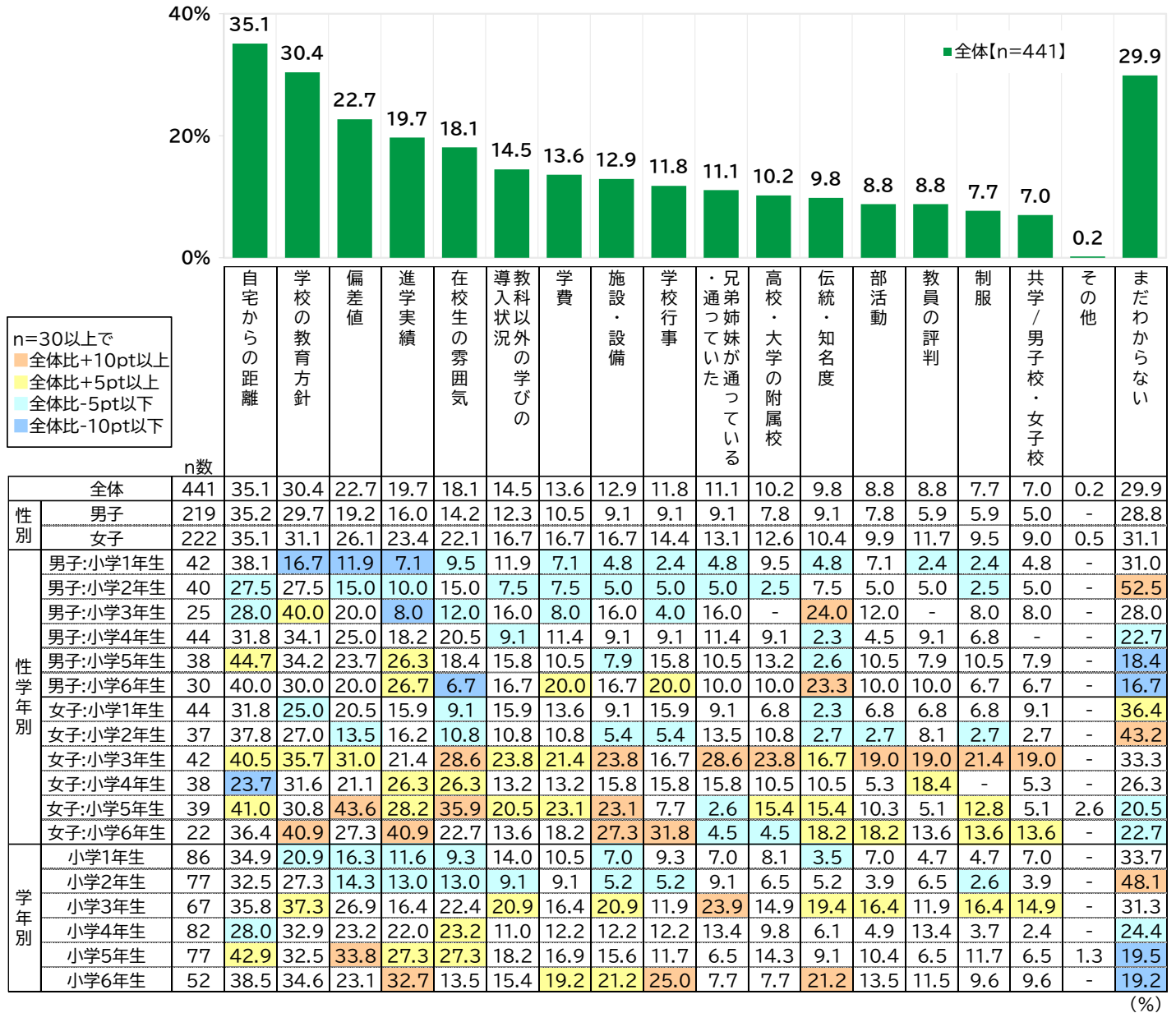
©学研教育総合研究所



他方、子どもに中学校受験をしてほしい保護者(441名)に、子どもが受験する中学校を選ぶ際に重視したいことをきいたところ、1位「自宅からの距離」(35.1%)、2位「学校の教育方針」(30.4%)、3位「偏差値」(22.7%)、4位「進学実績」(19.7%)、5位「在校生の雰囲気」(18.1%)となり、子ども自身の回答と同じものがTOP5に挙がる結果となりました。

◆(保護者が)お子さまが受験する中学校を選ぶ際に重視したいことは何ですか。(あてはまるものをすべて)

対象: お子さまに中学校受験をしてほしい人



※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所



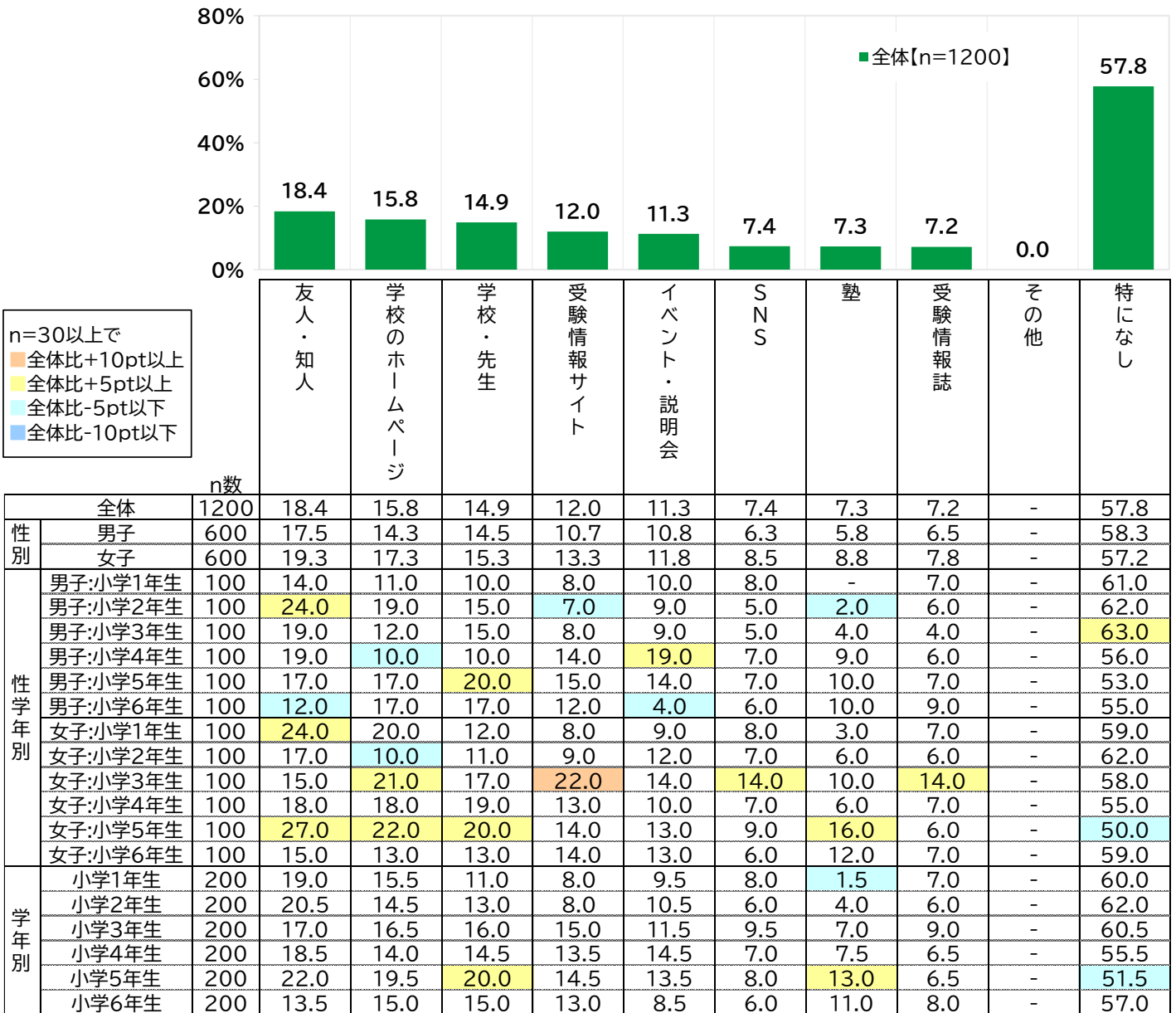
## ★子どもの受験校に関する情報の入手経路

1位「友人・知人」2位「学校のホームページ」3位「学校・先生」4位「受験情報サイト」5位「イベント・説明会」

保護者に、子どもの受験校に関する情報を何から入手しているかをきいたところ、1位「友人・知人」(18.4%)、2位「学校のホームページ」(15.8%)、3位「学校・先生」(14.9%)、4位「受験情報サイト」(12.0%)、5位「イベント・説明会」(11.3%)となりました。

学年別にみると、「塾」は高学年で高くなる傾向がみられ、最も高い5年生では13.0%でした。

## ◆お子さまの受験校に関する情報を何から入手していますか。(あてはまるものをすべて)



(%)  
 ※全体の値を基準に降順並び替え  
 ©学研教育総合研究所

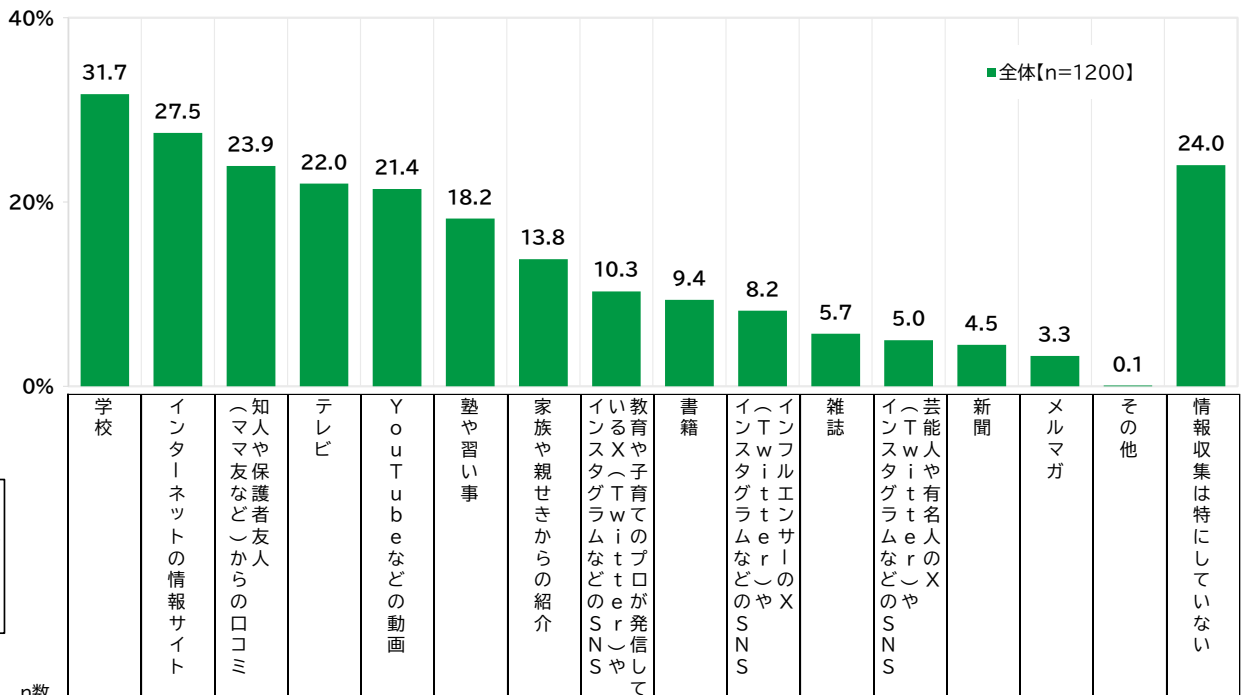
## ★子どもの教育・学習に関する情報の入手先

1位「学校」2位「インターネットの情報サイト」3位「知人や保護者友人(ママ友など)からの口コミ」  
「YouTubeなどの動画」は前回調査から5ポイント上昇

保護者に、子どもの教育・学習に関する情報を何で入手しているかをきいたところ、1位「学校」(31.7%)、2位「インターネットの情報サイト」(27.5%)、3位「知人や保護者友人(ママ友など)からの口コミ」(23.9%)、4位「テレビ」(22.0%)、5位「YouTubeなどの動画」(21.4%)でした。

前回調査と比較すると、「YouTubeなどの動画」は前回調査16.8%→今回調査21.4%と、4.6ポイント上昇しました。

## ◆お父さまの教育・学習に関する情報を何で入手していますか。(あてはまるものをすべて)



n=30以上で  
■ 全体比+10pt以上  
■ 全体比+5pt以上  
■ 全体比-5pt以下  
■ 全体比-10pt以下

n数		学校	インターネットの情報サイト	知人や保護者友人(ママ友など)からの口コミ	テレビ	YouTubeなどの動画	塾や習い事	家族や親せきからの紹介	教育や子育ての情報が発信しているX(Twitter)やブログのSNSやInstagramなどのSNS	書籍	インフルエンサーのSNS	雑誌	芸能人や有名人のX(Instagram)などのSNS	新聞	メルマガ	その他	情報収集は特にしていない	
全体	1200	31.7	27.5	23.9	22.0	21.4	18.2	13.8	10.3	9.4	8.2	5.7	5.0	4.5	3.3	0.1	24.0	
性別	男子	600	30.0	28.2	22.5	21.3	23.3	15.8	11.8	10.5	10.2	7.5	5.7	3.5	5.0	2.3	-	25.2
	女子	600	33.3	26.8	25.3	22.7	19.5	20.5	15.8	10.0	8.7	8.8	5.7	6.5	4.0	4.2	0.2	22.8
性学年別	男子:小学1年生	100	26.0	18.0	23.0	22.0	28.0	12.0	15.0	7.0	10.0	5.0	6.0	5.0	2.0	-	-	28.0
	男子:小学2年生	100	34.0	30.0	21.0	23.0	16.0	13.0	11.0	8.0	14.0	9.0	6.0	2.0	6.0	3.0	-	31.0
	男子:小学3年生	100	30.0	30.0	22.0	22.0	22.0	19.0	14.0	13.0	9.0	5.0	4.0	2.0	6.0	3.0	-	18.0
	男子:小学4年生	100	26.0	31.0	26.0	17.0	23.0	18.0	12.0	11.0	11.0	5.0	6.0	4.0	6.0	5.0	-	24.0
	男子:小学5年生	100	33.0	33.0	20.0	25.0	30.0	13.0	8.0	11.0	12.0	10.0	6.0	3.0	5.0	1.0	-	23.0
	男子:小学6年生	100	31.0	27.0	23.0	19.0	21.0	20.0	11.0	13.0	5.0	11.0	6.0	5.0	5.0	2.0	-	27.0
	女子:小学1年生	100	26.0	21.0	31.0	28.0	20.0	13.0	14.0	12.0	6.0	8.0	7.0	9.0	3.0	2.0	-	22.0
	女子:小学2年生	100	31.0	26.0	25.0	25.0	17.0	15.0	15.0	11.0	12.0	11.0	7.0	5.0	6.0	5.0	-	24.0
	女子:小学3年生	100	28.0	28.0	22.0	19.0	20.0	23.0	19.0	16.0	11.0	16.0	11.0	14.0	7.0	8.0	-	33.0
	女子:小学4年生	100	42.0	22.0	25.0	23.0	20.0	28.0	22.0	9.0	9.0	3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	1.0	20.0
	女子:小学5年生	100	41.0	39.0	32.0	20.0	21.0	19.0	15.0	7.0	7.0	5.0	1.0	5.0	1.0	3.0	-	13.0
	女子:小学6年生	100	32.0	25.0	17.0	21.0	19.0	25.0	10.0	5.0	7.0	10.0	5.0	2.0	4.0	4.0	-	25.0
学年別	小学1年生	200	26.0	19.5	27.0	25.0	24.0	12.5	14.5	9.5	8.0	6.5	6.5	7.0	2.5	1.0	-	25.0
	小学2年生	200	32.5	28.0	23.0	24.0	16.5	14.0	13.0	9.5	13.0	10.0	6.5	3.5	6.0	4.0	-	27.5
	小学3年生	200	29.0	29.0	22.0	20.5	21.0	21.0	16.5	14.5	10.0	10.5	7.5	8.0	6.5	5.5	-	25.5
	小学4年生	200	34.0	26.5	25.5	20.0	21.5	23.0	17.0	10.0	10.0	4.0	4.5	4.0	4.5	4.0	0.5	22.0
	小学5年生	200	37.0	36.0	26.0	22.5	25.5	16.0	11.5	9.0	9.5	7.5	3.5	4.0	3.0	2.0	-	18.0
	小学6年生	200	31.5	26.0	20.0	20.0	20.0	22.5	10.5	9.0	6.0	10.5	5.5	3.5	4.5	3.0	-	26.0

(%)

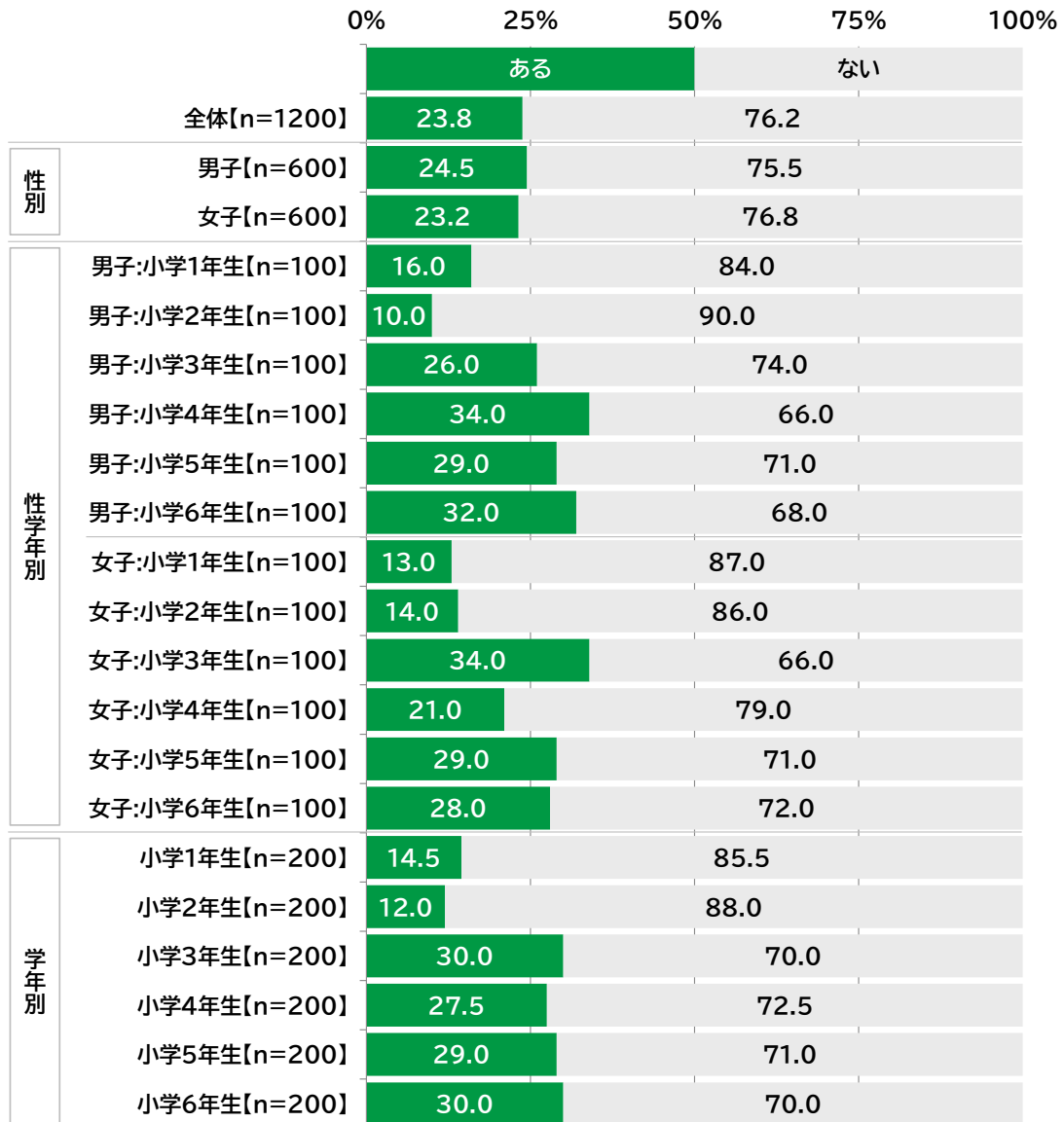
※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

★「学校でいじめを見たり聞いたりしたことがある」24%  
見聞きしたケースは中学年・高学年で高くなる傾向

学校でいじめを見たり聞いたりしたことがあるかをきいたところ、「ある」は23.8%、「ない」は76.2%となりました。学年別にみると、「ある」と回答した人の割合は、低学年と比べて中学年と高学年で高くなる傾向がみられました。

◆お子さまは、学校でいじめを見たり聞いたりしたことがありますか。

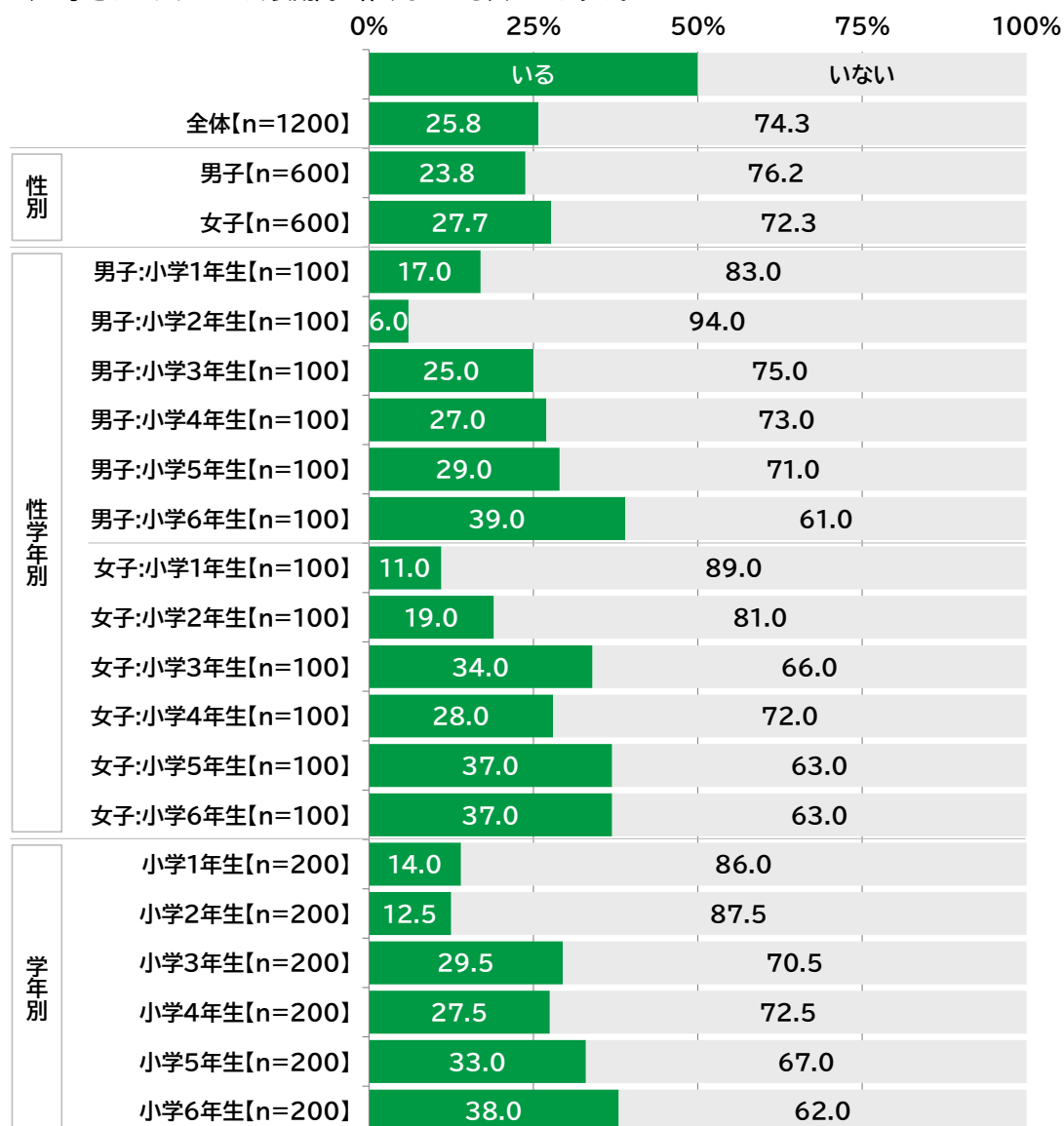


©学研教育総合研究所

## ★「クラスには、長期間お休みしている人がいる」26%

クラスには、長期間お休みしている人がいるかをきいたところ、「いる」は25.8%、「いない」は74.3%となりました。学年別にみると、「いる」と回答した人の割合は、いじめを見聞きした経験と同様に、低学年と比べて中学年と高学年で高くなる傾向がみられました。

◆お子さまのクラスには、長期間お休みしている人がいますか。



©学研教育総合研究所

### 学習について

★中学生の一番好きな教科 1位「数学」2位「英語」3位「社会」4位「保健体育」5位「国語」

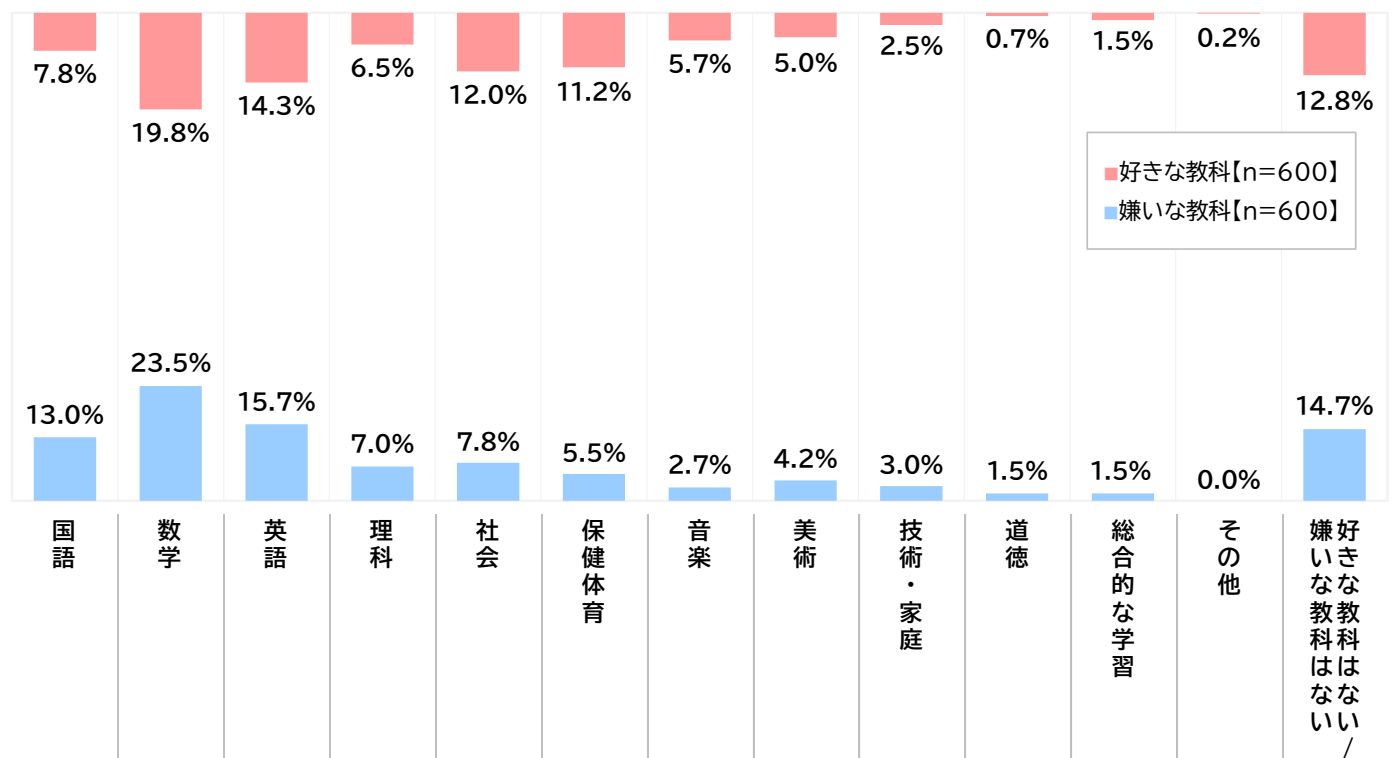
★中学生の一番嫌いな教科 1位「数学」2位「英語」3位「国語」4位「社会」5位「理科」

一番好きな教科をきいたところ、1位「数学」(19.8%)、2位「英語」(14.3%)、3位「社会」(12.0%)、4位「保健体育」(11.2%)、5位「国語」(7.8%)となりました。

他方、一番嫌いな教科をきいたところ、1位「数学」(23.5%)、2位「英語」(15.7%)、3位「国語」(13.0%)、4位「社会」(7.8%)、5位「理科」(7.0%)と、主要5教科が挙がりました。

過去の調査と比較すると、前回調査に続き、一番好きな教科のTOP2と一番嫌いな教科のTOP2は「数学」「英語」となりました。

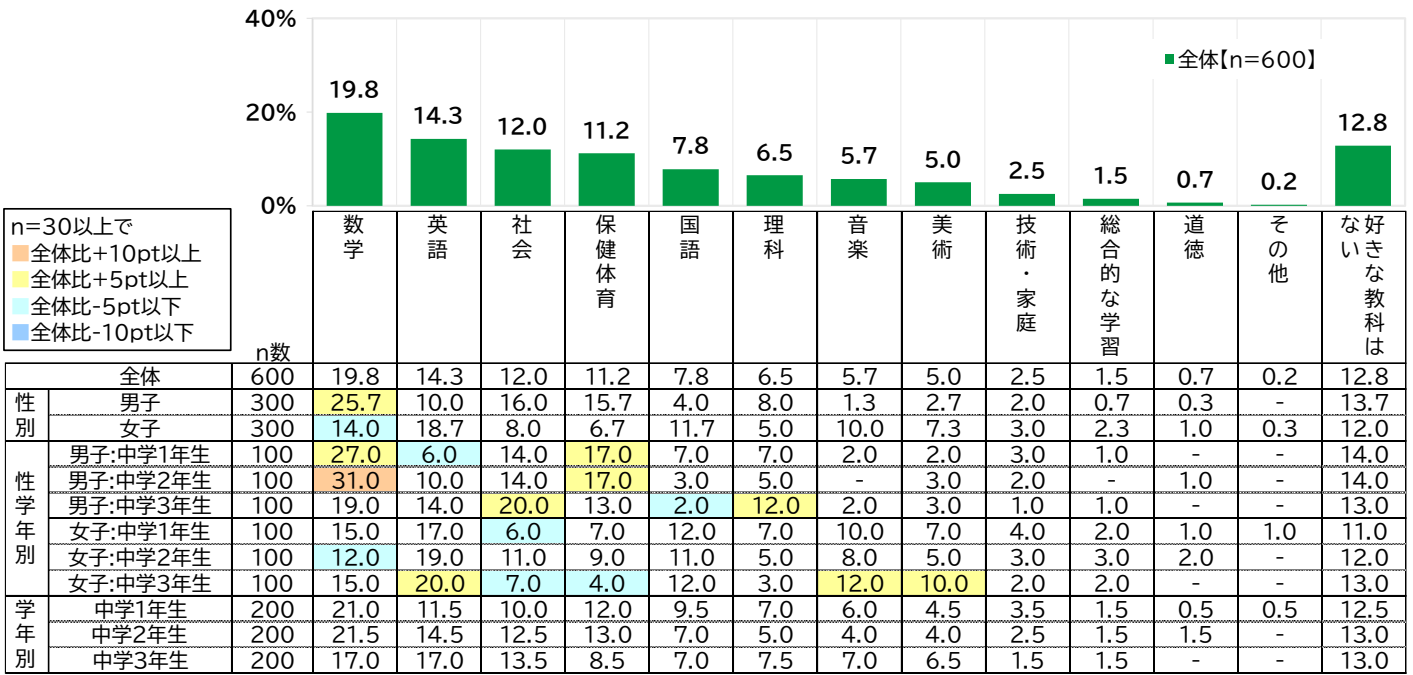
◆一番好きな教科と一番嫌いな教科は何ですか。(それぞれ1つ)



©学研教育総合研究所

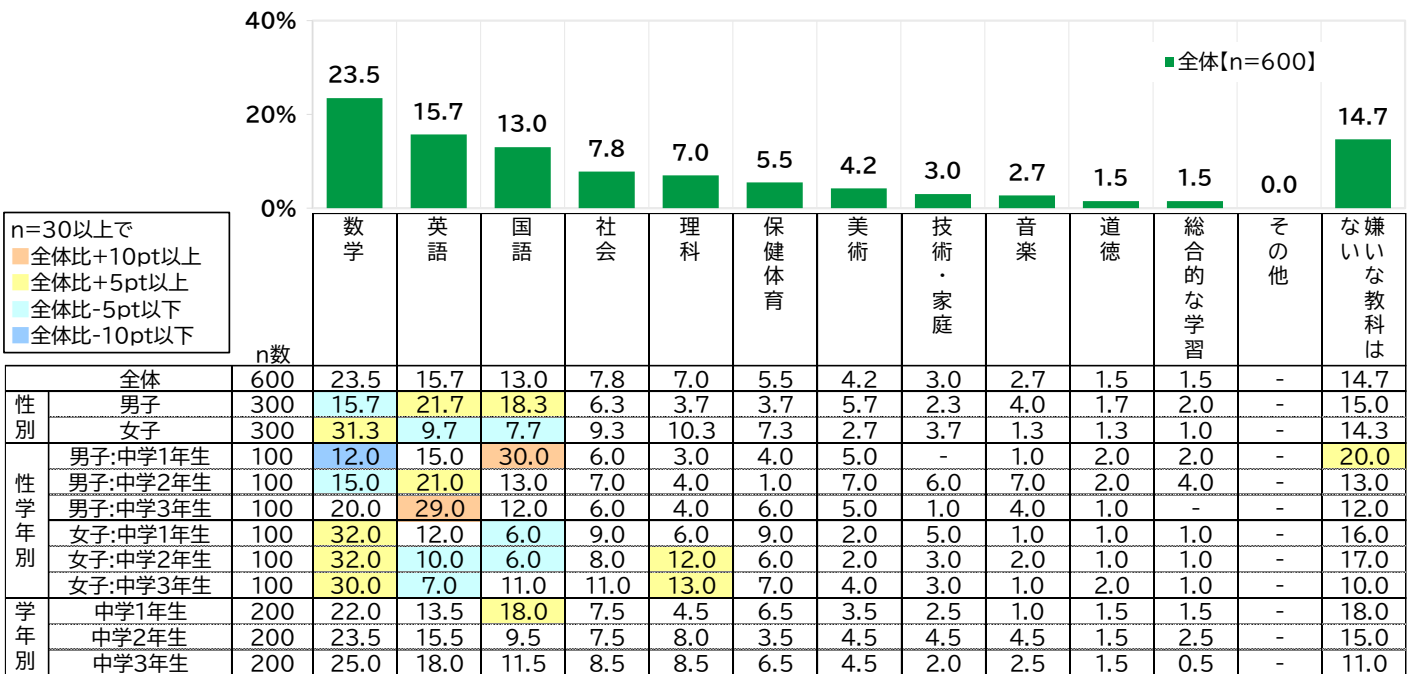
男女別にみると、一番好きな教科のTOP2は男子では「数学」「社会」、女子では「英語」「数学」、一番嫌いな教科のTOP2は男子では「英語」「国語」、女子では「数学」「理科」でした。

◆一番好きな教科は何ですか。



(%)  
※全体の値を基準に降順並び替え  
©学研教育総合研究所

◆一番嫌いな教科は何ですか。



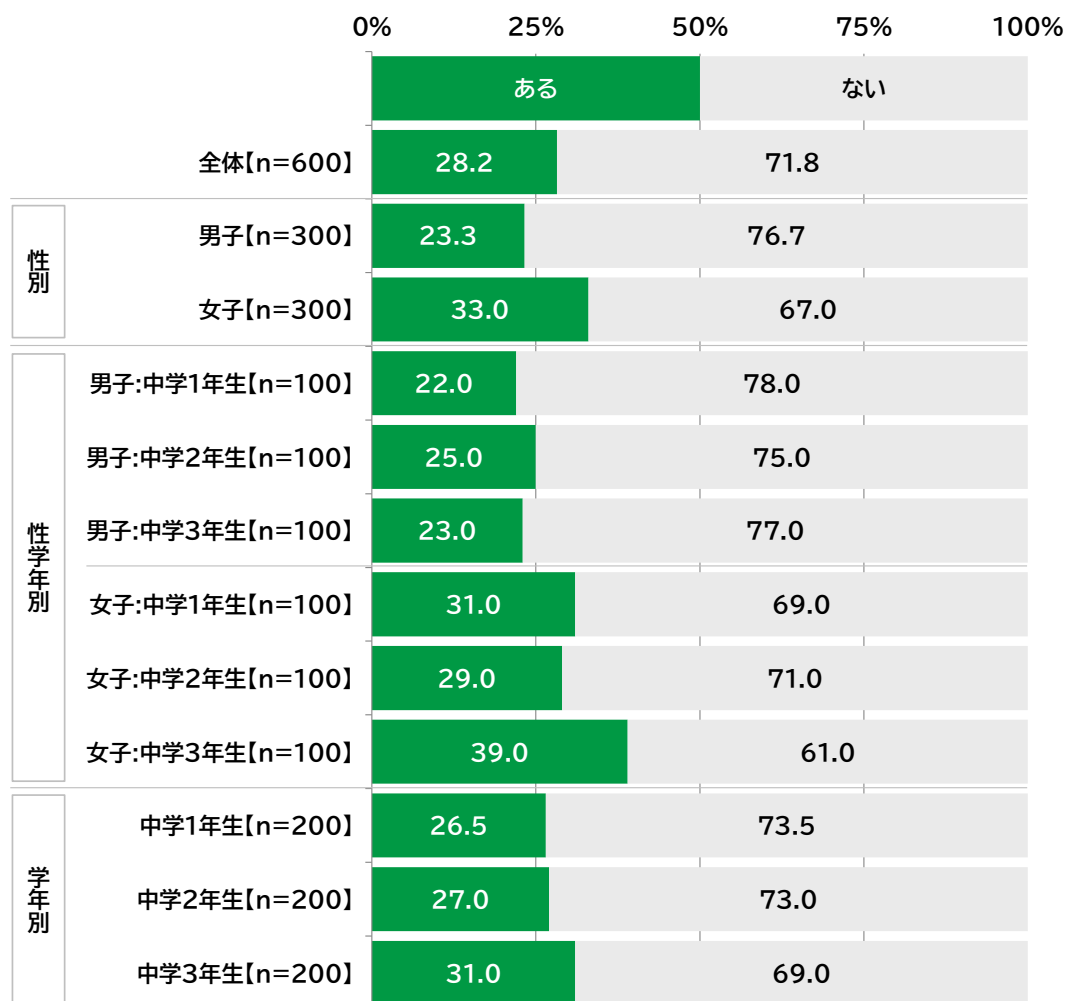
(%)  
※全体の値を基準に降順並び替え  
©学研教育総合研究所

## その他

### ★「学校でいじめを見たり聞いたりしたことがある」28%

学校でいじめを見たり聞いたりしたことがあるかをきいたところ、「ある」は28.2%、「ない」は71.8%となりました。学年別にみると、「ある」と回答した人の割合は学年が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、3年生では31.0%でした。

◆お子さまは、学校でいじめを見たり聞いたりしたことがありますか。



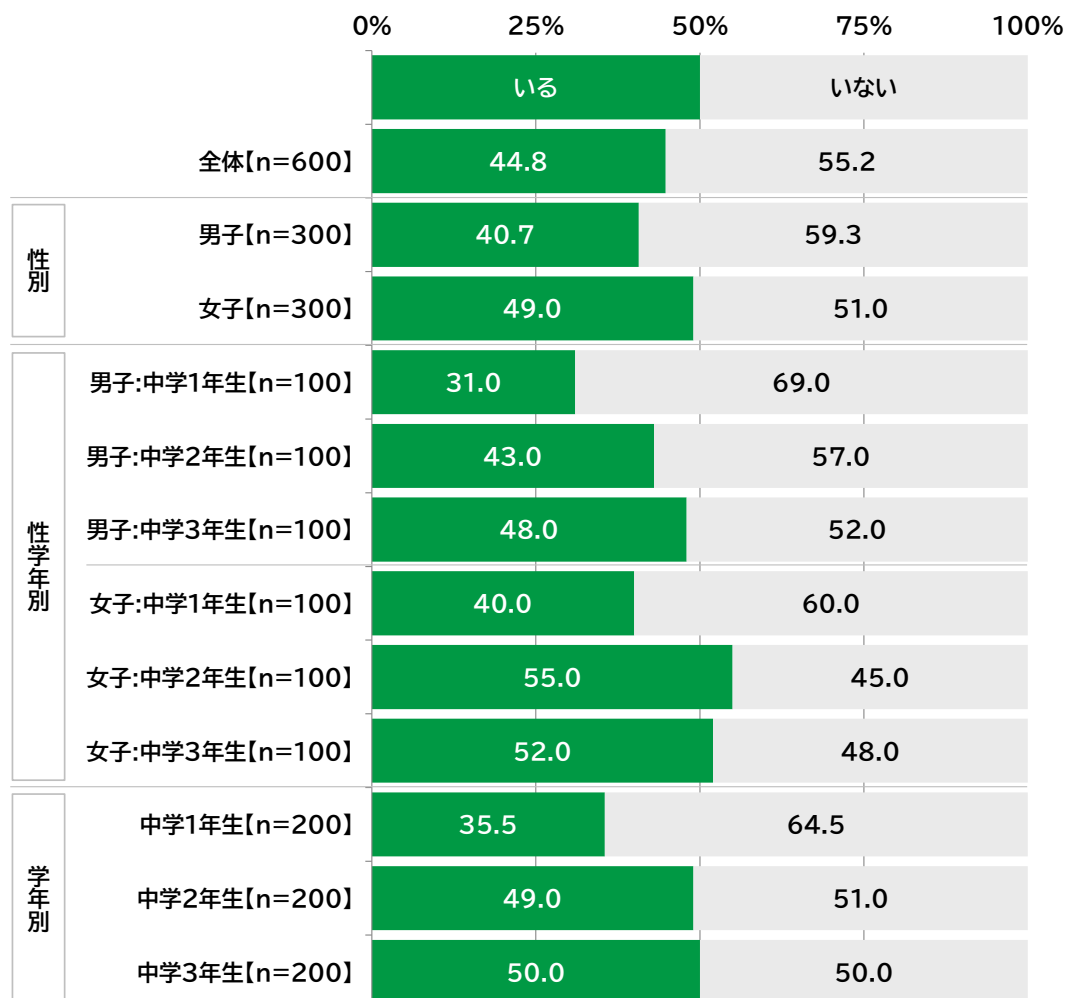
©学研教育総合研究所



## ★「クラスには、長期間お休みしている人がいる」45%

クラスには、長期間お休みしている人がいるかをきいたところ、「いる」は44.8%、「いない」は55.2%となりました。  
 学年別にみると、「いる」と回答した人の割合は1年生(35.5%)と比べて2年生・3年生(2年生49.0%、3年生50.0%)  
 で高くなりました。

◆おさまのクラスには、長期間お休みしている人がいますか。



©学研教育総合研究所

### 学習について

★高校生の一番好きな教科 1位は前回調査に続き「数学」2位「地理歴史」3位「保健体育」4位「外国語」5位「国語」

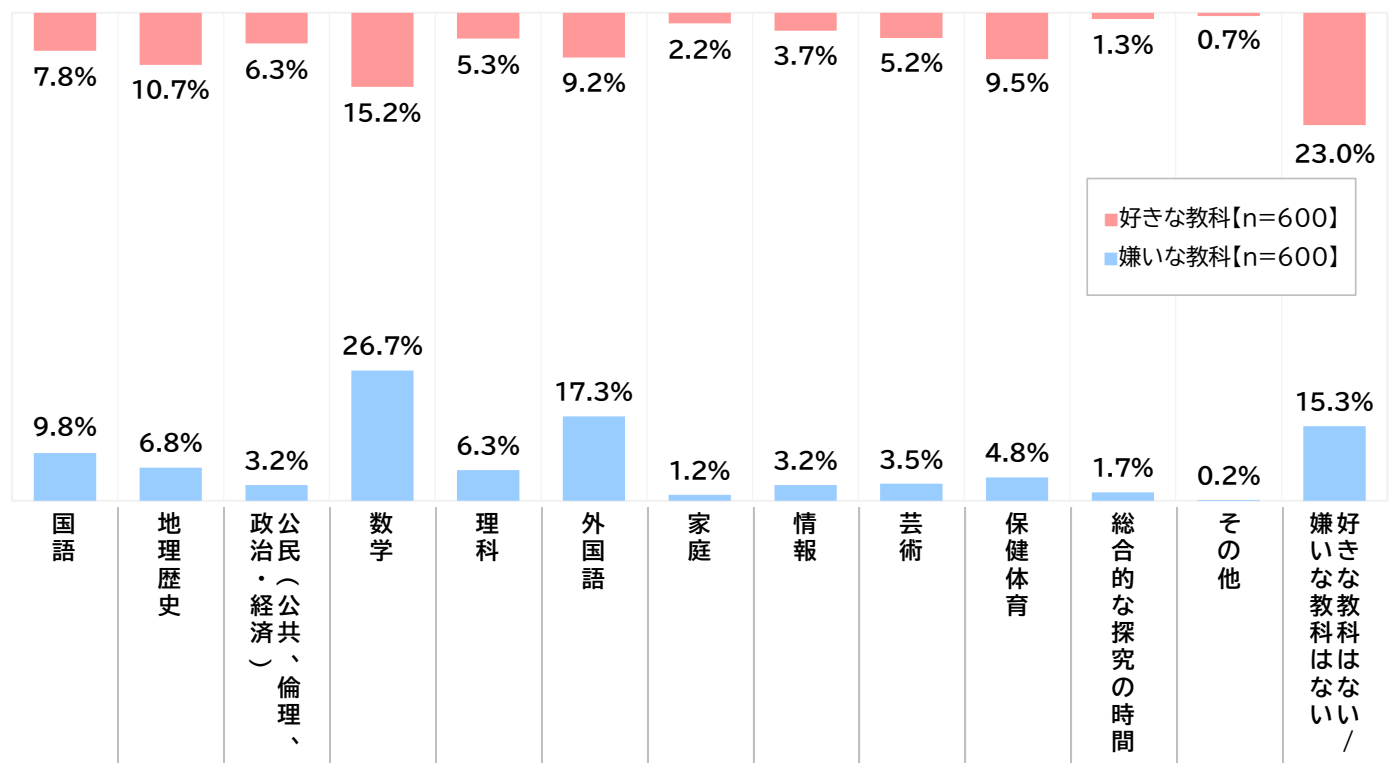
★高校生の一番嫌いな教科 1位は前回調査に続き「数学」2位「外国語」3位「国語」4位「地理歴史」5位「理科」

一番好きな教科をきいたところ、1位「数学」(15.2%)、2位「地理歴史」(10.7%)、3位「保健体育」(9.5%)、4位「外国語」(9.2%)、5位「国語」(7.8%)となりました。

他方、一番嫌いな教科をきいたところ、1位「数学」(26.7%)、2位「外国語」(17.3%)、3位「国語」(9.8%)、4位「地理歴史」(6.8%)、5位「理科」(6.3%)となりました。

過去の調査と比較すると、前回調査に続き、一番好きな教科の1位は「数学」、一番嫌いな教科の1位は「数学」と、人によって好き嫌いが分かれる教科である傾向が継続する結果となりました。

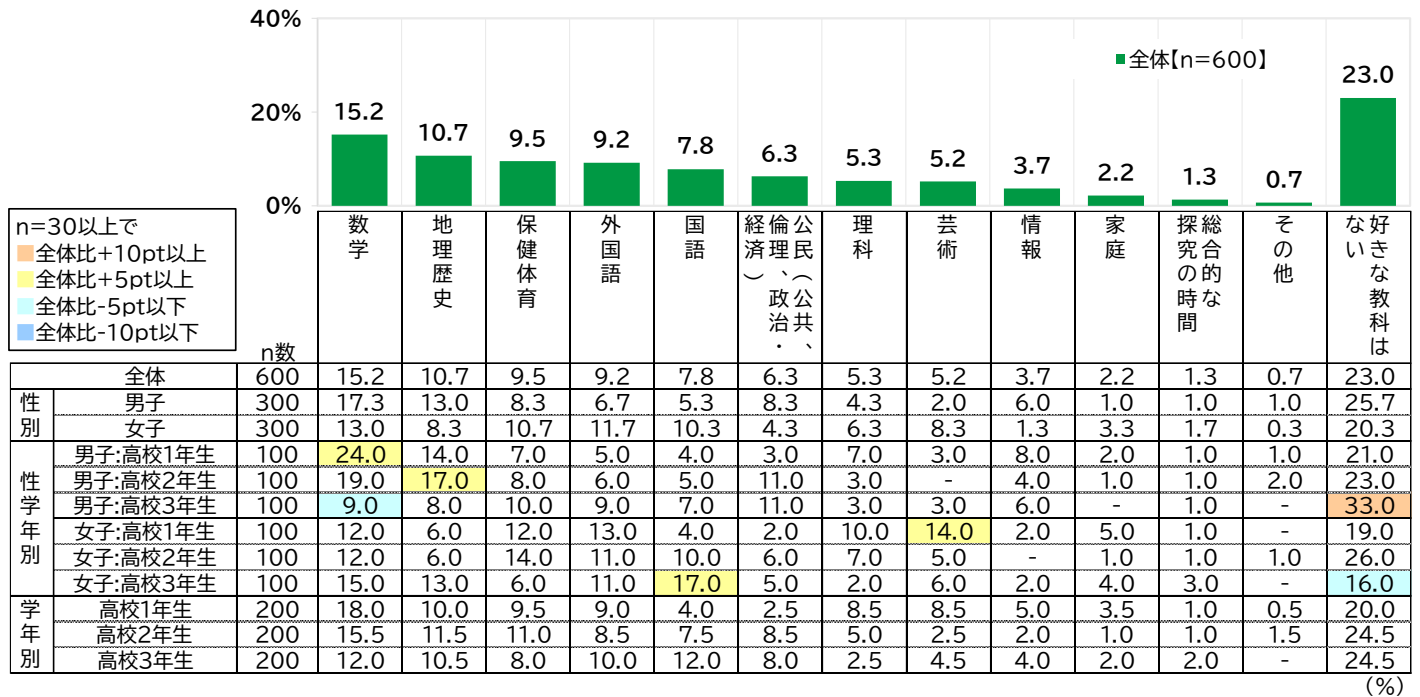
#### ◆一番好きな教科と一番嫌いな教科は何ですか。(それぞれ1つ)



©学研教育総合研究所

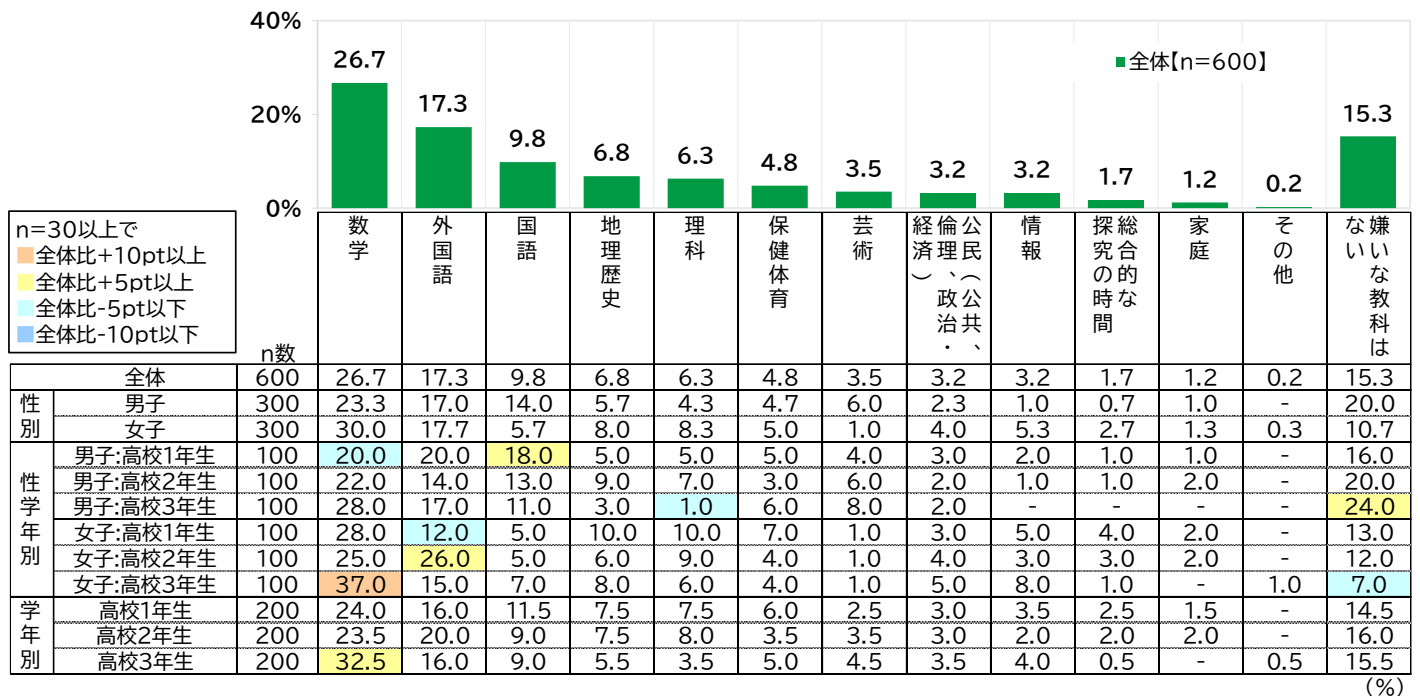
男女別にみると、一番好きな教科と一番嫌いな教科の1位は男子・女子ともにそれぞれ「数学」となり、一番好きな教科の2位は男子では「地理歴史」、女子では「外国語」でした。また、一番嫌いな教科の2位は男子・女子ともに「外国語」でした。

## ◆一番好きな教科は何ですか。



※全体の値を基準に降順並び替え  
©学研教育総合研究所

## ◆一番嫌いな教科は何ですか。



※全体の値を基準に降順並び替え  
©学研教育総合研究所

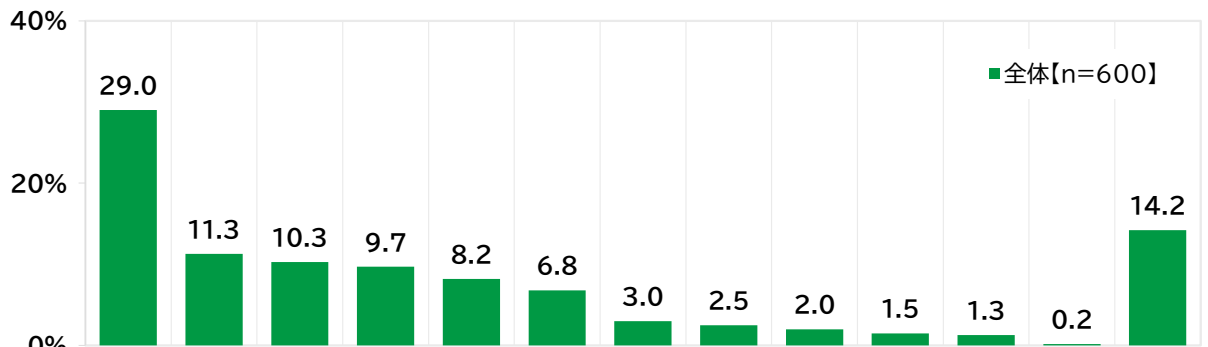
★将来役に立つと思う教科 1位「外国語」2位「数学」3位「国語」4位「公民」5位「情報」  
1年生では「数学」が2位、2年生・3年生では「国語」が2位

将来役に立つと思う教科をきいたところ、1位「外国語」(29.0%)、2位「数学」(11.3%)、3位「国語」(10.3%)、4位「公民(公共、倫理、政治・経済)」(9.7%)、5位「情報」(8.2%)でした。

男女別にみると、女子では「外国語」が34.0%と、男子(24.0%)と比べて10.0ポイント高くなりました。

学年別にみると、1年生では「数学」が2位、2年生・3年生では「国語」が2位でした。

◆将来役に立つと思う教科は何ですか。(1つ)



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	外国語	数学	国語	政治・公民・経済・倫理	情報	家庭	総合的な探究の時間	保健体育	理科	地理歴史	芸術	その他	将来役に立つと思う教科
全体		600	29.0	11.3	10.3	9.7	8.2	6.8	3.0	2.5	2.0	1.5	1.3	0.2	14.2
性別	男子	300	24.0	14.0	9.3	11.7	10.3	3.0	3.3	2.0	0.7	2.0	1.0	-	18.7
	女子	300	34.0	8.7	11.3	7.7	6.0	10.7	2.7	3.0	3.3	1.0	1.7	0.3	9.7
性学年別	男子:高校1年生	100	28.0	16.0	9.0	10.0	12.0	2.0	2.0	3.0	-	1.0	-	-	17.0
	男子:高校2年生	100	19.0	11.0	11.0	14.0	12.0	3.0	4.0	2.0	1.0	1.0	3.0	-	19.0
	男子:高校3年生	100	25.0	15.0	8.0	11.0	7.0	4.0	4.0	1.0	1.0	4.0	-	-	20.0
	女子:高校1年生	100	29.0	10.0	9.0	11.0	10.0	12.0	4.0	2.0	6.0	-	-	-	7.0
	女子:高校2年生	100	35.0	12.0	13.0	8.0	3.0	9.0	1.0	3.0	2.0	1.0	3.0	-	10.0
	女子:高校3年生	100	38.0	4.0	12.0	4.0	5.0	11.0	3.0	4.0	2.0	2.0	2.0	1.0	12.0
学年別	高校1年生	200	28.5	13.0	9.0	10.5	11.0	7.0	3.0	2.5	3.0	0.5	-	-	12.0
	高校2年生	200	27.0	11.5	12.0	11.0	7.5	6.0	2.5	2.5	1.5	1.0	3.0	-	14.5
	高校3年生	200	31.5	9.5	10.0	7.5	6.0	7.5	3.5	2.5	1.5	3.0	1.0	0.5	16.0

(%)  
 ※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

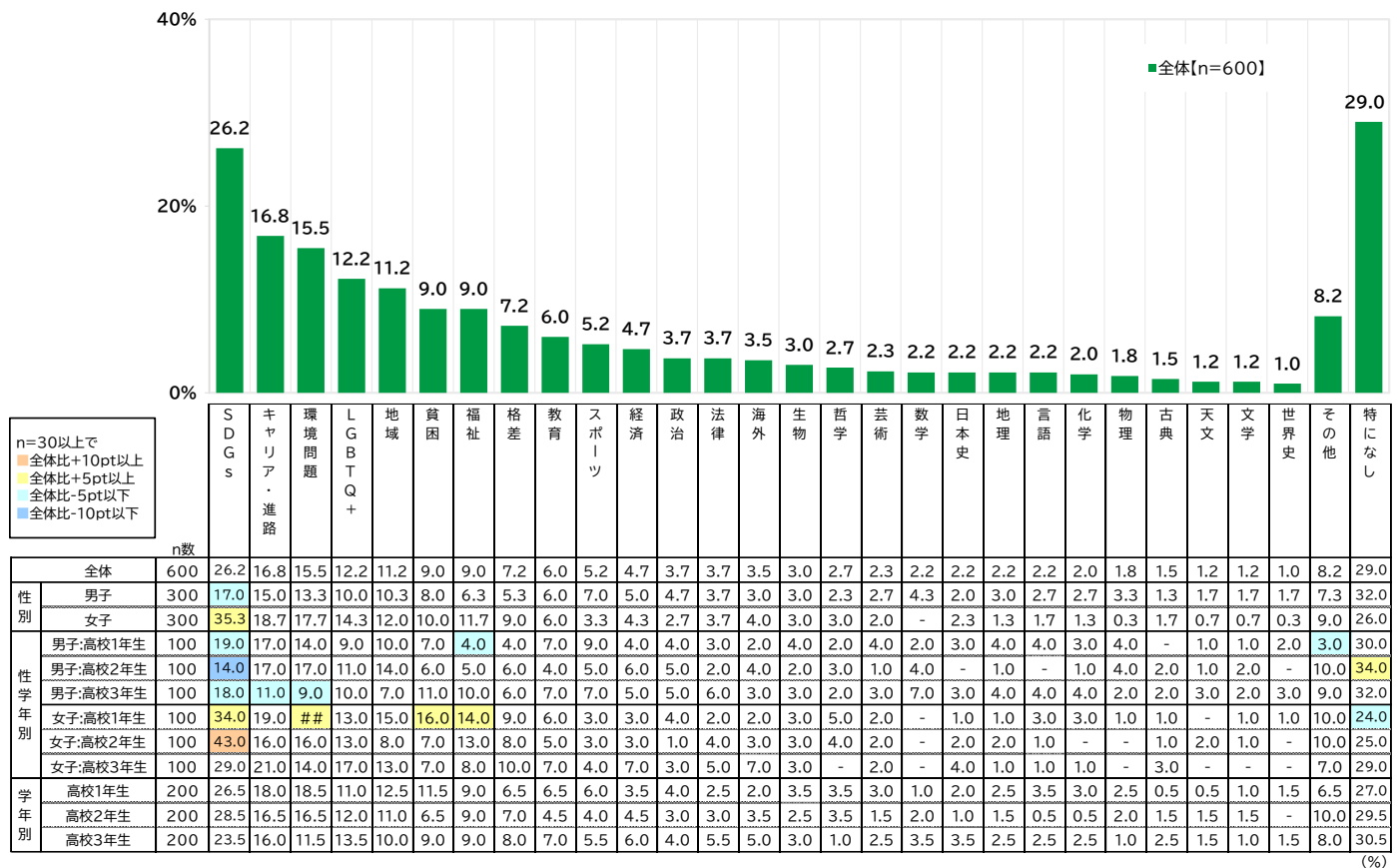
★学校の“総合的な探究の時間”でテーマにしたこと 1位「SDGs」2位「キャリア・進路」3位「環境問題」

★学校の“総合的な探究の時間”で今後テーマにしたいこと 1位「SDGs」2位「LGBTQ+」3位「環境問題」  
2年生の女子では「福祉」が高い傾向

“総合的な探究の時間”について質問しました。“総合的な探究の時間”は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標に、2022年度から本格的に導入された教科です。

学校の“総合的な探究の時間”では、これまでどのようなことをテーマにしたかをきいたところ、1位「SDGs」(26.2%)、2位「キャリア・進路」(16.8%)、3位「環境問題」(15.5%)、4位「LGBTQ+」(12.2%)、5位「地域」(11.2%)となりました。

◆学校の“総合的な探究の時間”では、これまでどのようなことをテーマにしましたか。(あてはまるものをすべて)



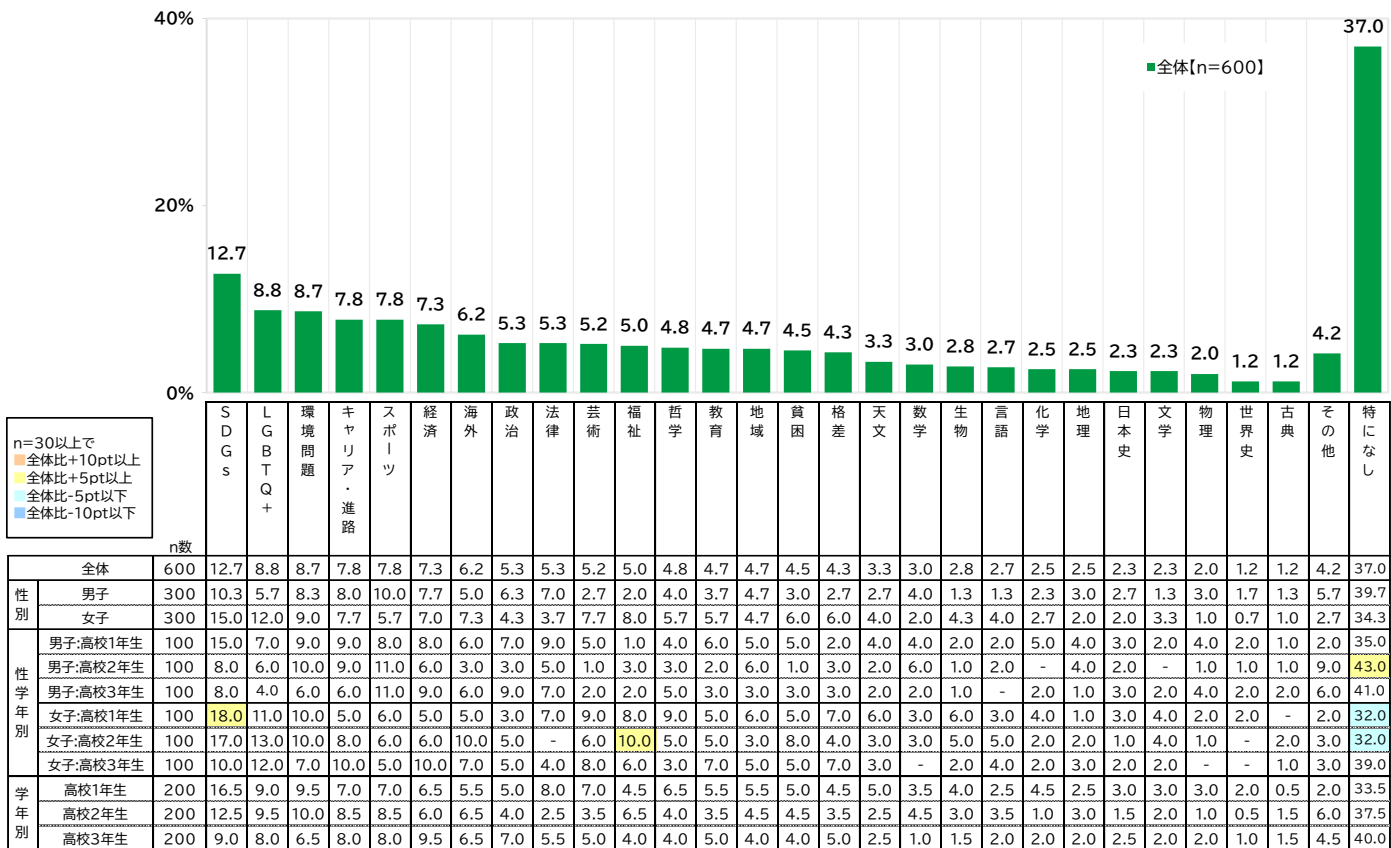
性別	n数	テーマ																													
		SDGs	キャリア・進路	環境問題	LGBTQ+	地域	貧困	福祉	格差	教育	スポーツ	経済	政治	法律	海外	生物	哲学	芸術	数学	日本史	地理	言語	化学	物理	古典	天文	文学	世界史	その他	特になし	
全体	600	26.2	16.8	15.5	12.2	11.2	9.0	9.0	7.2	6.0	5.2	4.7	3.7	3.7	3.5	3.0	2.7	2.3	2.2	2.2	2.2	2.0	1.8	1.5	1.2	1.2	1.0	8.2	29.0		
性別	男子	300	17.0	15.0	13.3	10.0	10.3	8.0	6.3	5.3	6.0	7.0	5.0	4.7	3.7	3.0	3.0	2.3	2.7	4.3	2.0	3.0	2.7	2.7	3.3	1.3	1.7	1.7	1.7	7.3	32.0
	女子	300	35.3	18.7	17.7	14.3	12.0	10.0	11.7	9.0	6.0	3.3	4.3	2.7	3.7	4.0	3.0	3.0	2.0	-	2.3	1.3	1.7	1.3	0.3	1.7	0.7	0.7	0.3	9.0	26.0
性学年別	男子:高校1年生	100	19.0	17.0	14.0	9.0	10.0	7.0	4.0	4.0	7.0	9.0	4.0	4.0	3.0	2.0	4.0	4.0	2.0	3.0	4.0	4.0	3.0	4.0	-	1.0	1.0	2.0	3.0	30.0	
	男子:高校2年生	100	14.0	17.0	17.0	11.0	14.0	6.0	5.0	6.0	4.0	5.0	6.0	5.0	2.0	4.0	2.0	3.0	1.0	4.0	-	1.0	-	1.0	4.0	2.0	1.0	2.0	-	10.0	34.0
	男子:高校3年生	100	18.0	11.0	9.0	10.0	7.0	11.0	10.0	6.0	7.0	7.0	5.0	5.0	6.0	3.0	3.0	7.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	9.0	32.0	
	女子:高校1年生	100	34.0	19.0	##	13.0	15.0	16.0	14.0	9.0	6.0	3.0	3.0	4.0	2.0	2.0	3.0	5.0	2.0	-	1.0	1.0	3.0	3.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	10.0	24.0
	女子:高校2年生	100	43.0	16.0	16.0	13.0	8.0	7.0	13.0	8.0	5.0	3.0	3.0	1.0	4.0	3.0	3.0	4.0	2.0	-	2.0	2.0	1.0	-	-	1.0	2.0	1.0	-	10.0	25.0
	女子:高校3年生	100	29.0	21.0	14.0	17.0	13.0	7.0	8.0	10.0	7.0	4.0	7.0	3.0	5.0	7.0	3.0	-	2.0	-	4.0	1.0	1.0	1.0	-	3.0	-	-	-	7.0	29.0
学年別	高校1年生	200	26.5	18.0	18.5	11.0	12.5	11.5	9.0	6.5	6.5	6.0	3.5	4.0	2.5	2.0	3.5	3.5	3.0	1.0	2.0	2.5	3.5	3.0	2.5	0.5	0.5	1.0	1.5	6.5	27.0
	高校2年生	200	28.5	16.5	16.5	12.0	11.0	6.5	9.0	7.0	4.5	4.0	4.5	3.0	3.0	3.5	2.5	3.5	1.5	2.0	1.0	1.5	0.5	0.5	2.0	1.5	1.5	1.5	-	10.0	29.5
	高校3年生	200	23.5	16.0	11.5	13.5	10.0	9.0	9.0	8.0	7.0	5.5	6.0	4.0	5.5	5.0	3.0	1.0	2.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.5	1.5	1.0	1.5	8.0	30.5

※全体の値を基準に降順並び替え

また、学校の“総合的な探究の時間”では、今後、どのようなことをテーマにしたいかをきいたところ、1位「SDGs」(12.7%)、2位「LGBTQ+」(8.8%)、3位「環境問題」(8.7%)、4位「キャリア・進路」「スポーツ」(いずれも7.8%)となりました。

男女・学年別にみると、1年生の女子では「SDGs」(18.0%)、2年生の女子では「福祉」(10.0%)が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。

◆学校の“総合的な探究の時間”では、今後、どのようなことをテーマにしたいですか。(あてはまるものをすべて)



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	SDGs	LGBTQ+	環境問題	キャリア・進路	スポーツ	経済	海外	政治	法律	芸術	福祉	哲学	教育	地域	貧困	格差	天文	数学	生物	言語	化学	地理	日本史	文学	物理	世界史	古典	その他	特になし
全体		600	12.7	8.8	8.7	7.8	7.8	7.3	6.2	5.3	5.3	5.2	5.0	4.8	4.7	4.7	4.5	4.3	3.3	3.0	2.8	2.7	2.5	2.5	2.3	2.3	2.0	1.2	1.2	4.2	37.0
性別	男子	300	10.3	5.7	8.3	8.0	10.0	7.7	5.0	6.3	7.0	2.7	2.0	4.0	3.7	4.7	3.0	2.7	2.7	4.0	1.3	1.3	2.3	3.0	2.7	1.3	3.0	1.7	1.3	5.7	39.7
	女子	300	15.0	12.0	9.0	7.7	5.7	7.0	7.3	4.3	3.7	7.7	8.0	5.7	5.7	4.7	6.0	6.0	4.0	2.0	4.3	4.0	2.7	2.0	2.0	3.3	1.0	0.7	1.0	2.7	34.3
性学年別	男子:高校1年生	100	15.0	7.0	9.0	9.0	8.0	8.0	6.0	7.0	9.0	5.0	1.0	4.0	6.0	5.0	5.0	2.0	4.0	4.0	2.0	2.0	5.0	4.0	3.0	2.0	4.0	2.0	1.0	2.0	35.0
	男子:高校2年生	100	8.0	6.0	10.0	9.0	11.0	6.0	3.0	3.0	5.0	1.0	3.0	3.0	2.0	6.0	1.0	3.0	2.0	6.0	1.0	2.0	-	4.0	2.0	-	1.0	1.0	1.0	9.0	43.0
	男子:高校3年生	100	8.0	4.0	6.0	6.0	11.0	9.0	6.0	9.0	7.0	2.0	2.0	5.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	1.0	-	2.0	1.0	3.0	2.0	4.0	2.0	2.0	6.0	41.0
	女子:高校1年生	100	18.0	11.0	10.0	5.0	6.0	5.0	5.0	3.0	7.0	9.0	8.0	9.0	5.0	6.0	5.0	7.0	6.0	3.0	6.0	3.0	4.0	1.0	3.0	4.0	2.0	2.0	-	2.0	32.0
	女子:高校2年生	100	17.0	13.0	10.0	8.0	6.0	6.0	10.0	5.0	-	6.0	10.0	5.0	5.0	3.0	8.0	4.0	3.0	3.0	5.0	5.0	2.0	2.0	1.0	4.0	1.0	-	2.0	3.0	32.0
	女子:高校3年生	100	10.0	12.0	7.0	10.0	5.0	10.0	7.0	5.0	4.0	8.0	6.0	3.0	7.0	5.0	5.0	7.0	3.0	-	2.0	4.0	2.0	3.0	2.0	2.0	-	-	1.0	3.0	39.0
学年別	高校1年生	200	16.5	9.0	9.5	7.0	7.0	6.5	5.5	5.0	8.0	7.0	4.5	6.5	5.5	5.5	5.0	4.5	5.0	3.5	4.0	2.5	4.5	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	0.5	2.0	33.5
	高校2年生	200	12.5	9.5	10.0	8.5	8.5	6.0	6.5	4.0	2.5	3.5	6.5	4.0	3.5	4.5	4.5	3.5	2.5	4.5	3.0	3.5	1.0	3.0	1.5	2.0	1.0	0.5	1.5	6.0	37.5
	高校3年生	200	9.0	8.0	6.5	8.0	8.0	9.5	6.5	7.0	5.5	5.0	4.0	4.0	5.0	4.0	4.0	5.0	2.5	1.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	1.5	4.5	40.0

(%) ※全体の値を基準に降順並び替え

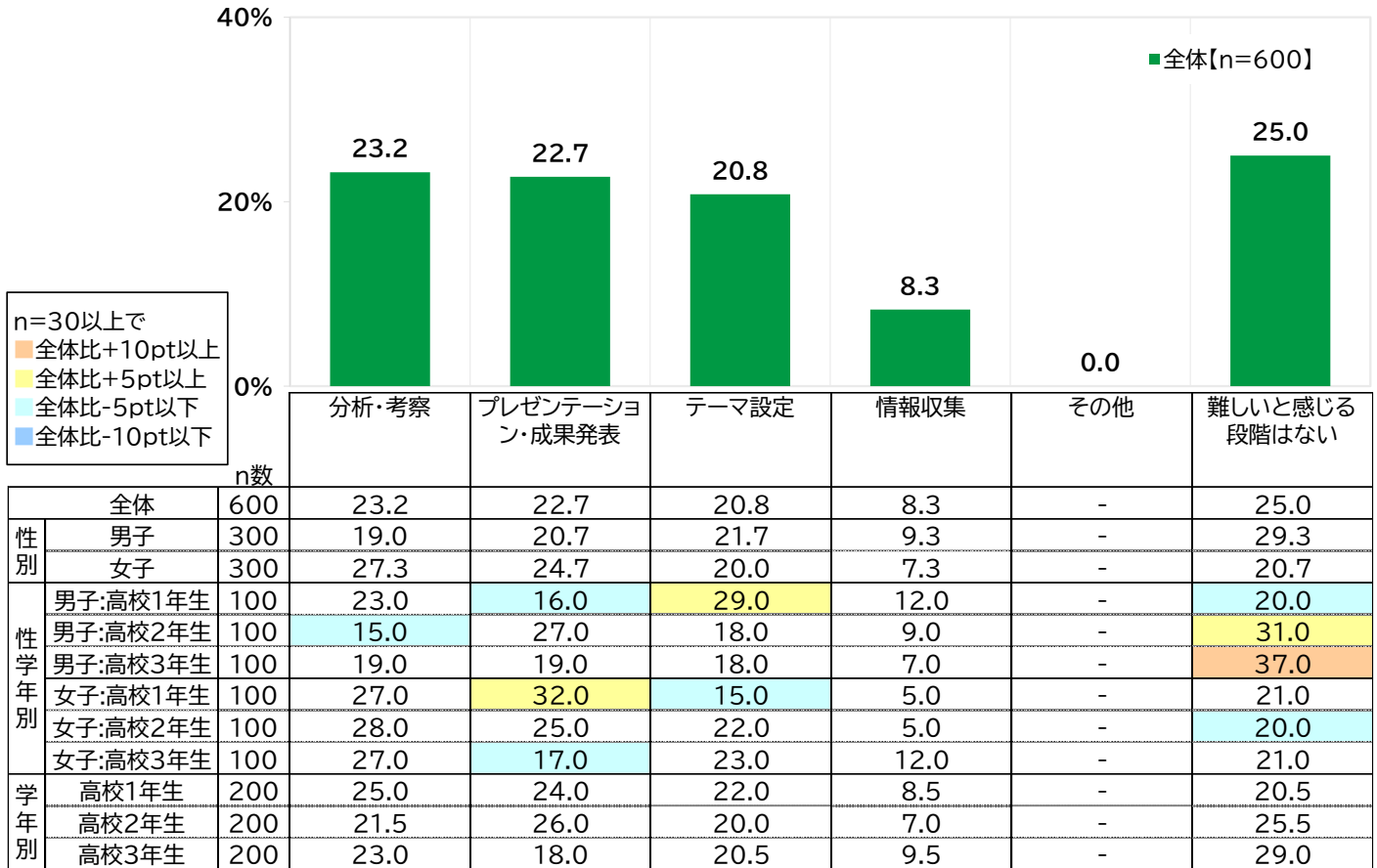
©学研教育総合研究所

## ★学校の“総合的な探究の時間”ではどの段階が最も難しい？ 男子の1位は「テーマ設定」、女子の1位は「分析・考察」

学校の“総合的な探究の時間”では、どの段階が最も難しいと感じるかをきいたところ、1位「分析・考察」(23.2%)、2位「プレゼンテーション・成果発表」(22.7%)、3位「テーマ設定」(20.8%)、4位「情報収集」(8.3%)となりました。

男女別にみると、男子では「テーマ設定」(21.7%)、女子では「分析・考察」(27.3%)が1位でした。

### ◆学校の“総合的な探究の時間”では、どの段階が最も難しいと感じますか。(1つ)



(%)  
 ※全体の値を基準に降順並び替え  
 ©学研教育総合研究所



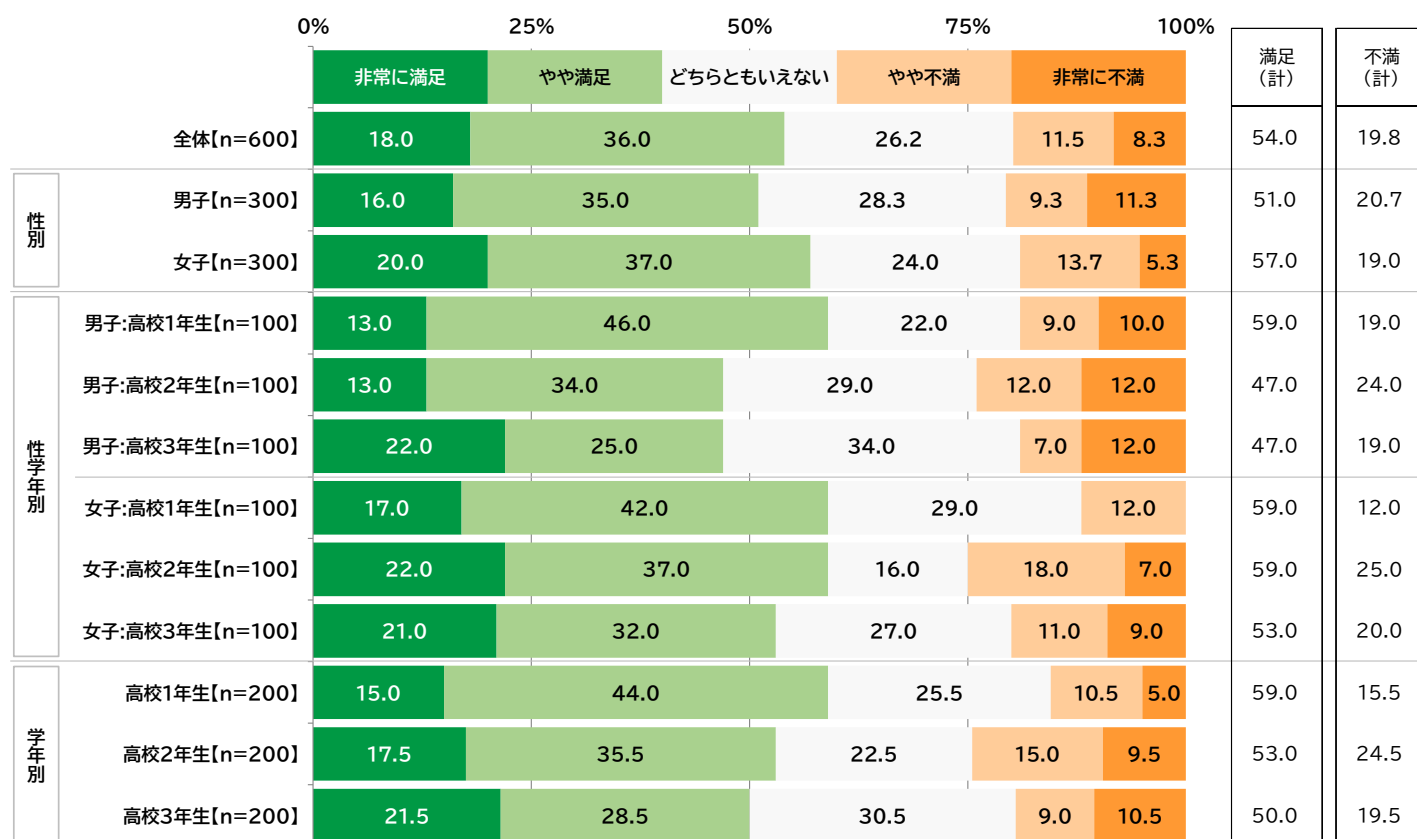
## ★「今の学校生活に満足している」54%、1年生では59%

今の学校生活にどのくらい満足しているかをきいたところ、「非常に満足」が18.0%、「やや満足」が36.0%で合計した『満足(計)』は54.0%、「非常に不満」が8.3%、「やや不満」が11.5%で合計した『不満(計)』は19.8%となりました。

男女別にみると、満足している人の割合は、女子では57.0%と、男子(51.0%)と比べて6.0ポイント高くなりました。

学年別にみると、満足している人の割合は下の学年ほど高くなる傾向がみられ、1年生では59.0%でした。

### ◆【今の学校生活】にどのくらい満足していますか。



©学研教育総合研究所

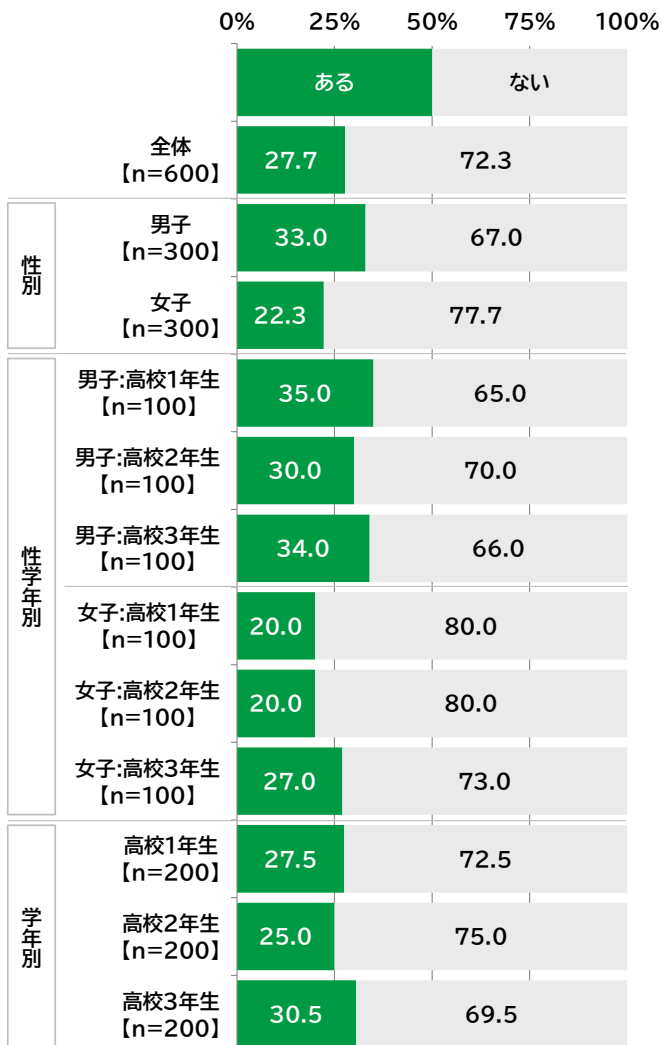
## ★ChatGPTなど対話型生成AIの利用経験 「学校で」28%、「家庭で」40%

対話型生成AIの利用について質問しました。対話型生成AIとは、音声やテキストで質問を入力すると、対話するように自然な文章で応答することができる人工知能を指します。

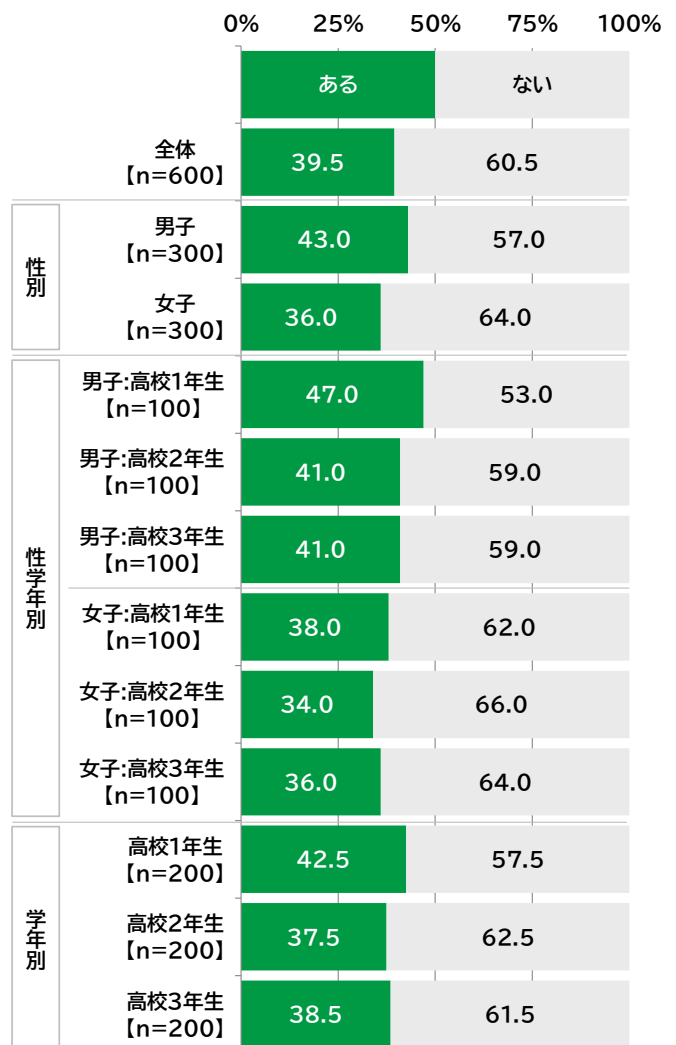
ChatGPTなどの対話型生成AIを【学校】で利用したことがあるかをきいたところ、「ある」は27.7%となりました。また、対話型生成AIを【家庭】で利用したことがあるかをきいたところ、「ある」は39.5%となりました。

男女別にみると、利用したことがある人の割合は、男子では【学校】が33.0%、【家庭】が43.0%と、女子(学校22.3%、家庭36.0%)と比べて高くなりました。

◆対話型生成AIを学校で利用したことがありますか。



◆対話型生成AIを家庭で利用したことがありますか。



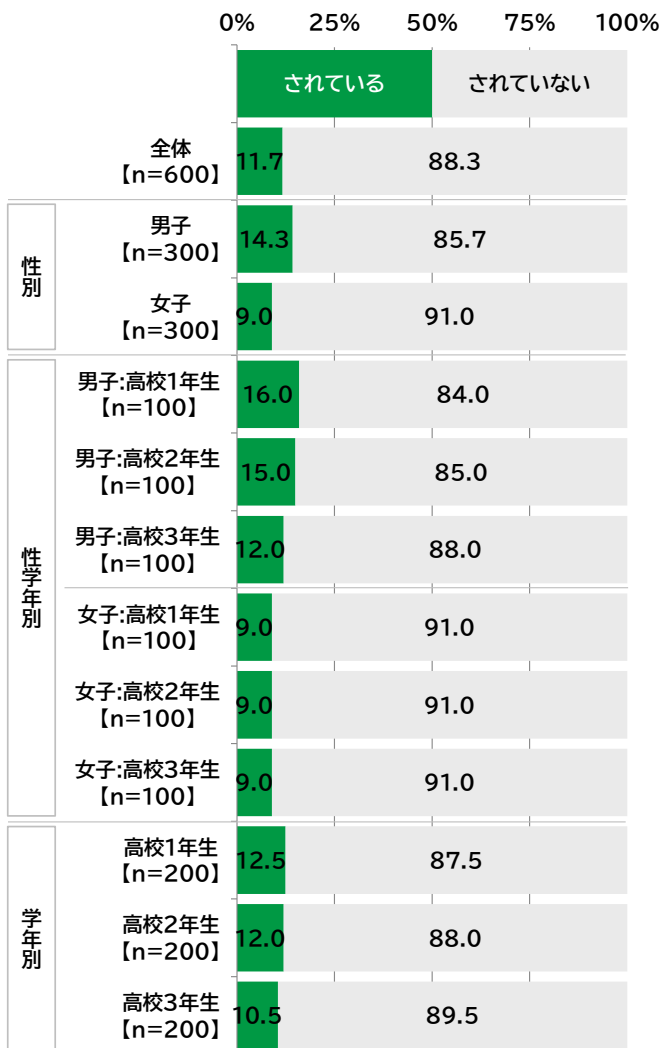
©学研教育総合研究所

## ★対話型生成AIの利用制限の状況

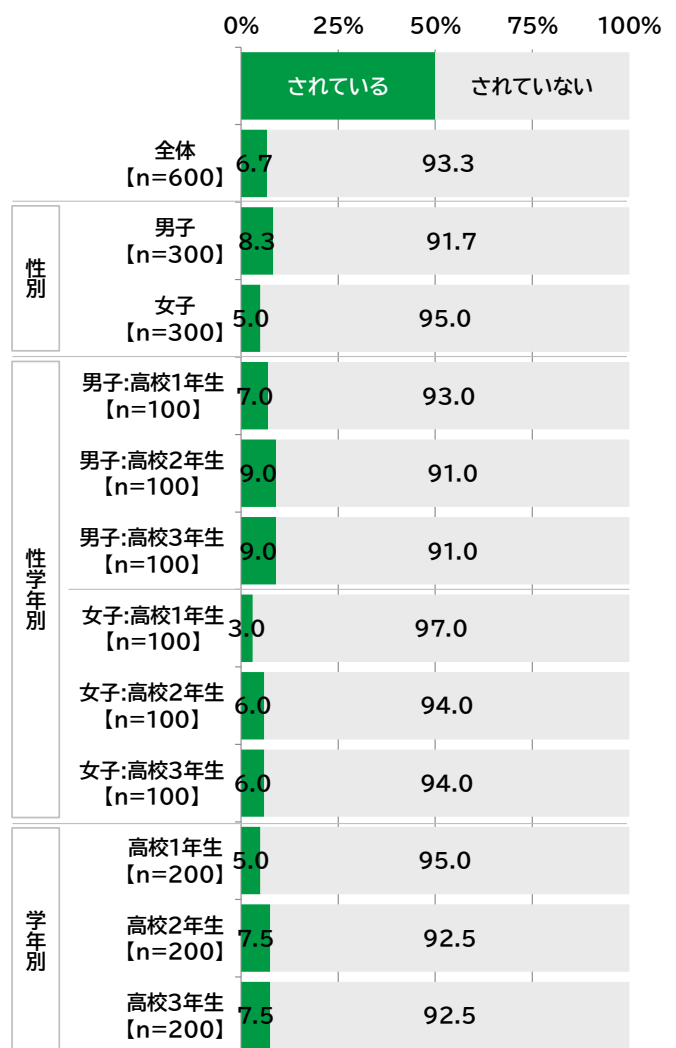
「学習での利用を制限されている」12%、「学習以外での利用を制限されている」7%

対話型生成AIの利用を制限されているかをきいたところ、【学習での利用】では「されている」は11.7%、「されていない」は88.3%、【学習以外での利用】では「されている」は6.7%、「されていない」は93.3%となりました。用途を問わず、使いたいときに使える状態にあるという人が大多数のようです。

◆対話型生成AIの学習での利用を制限されていますか。



◆対話型生成AIの学習以外での利用を制限されていますか。



©学研教育総合研究所

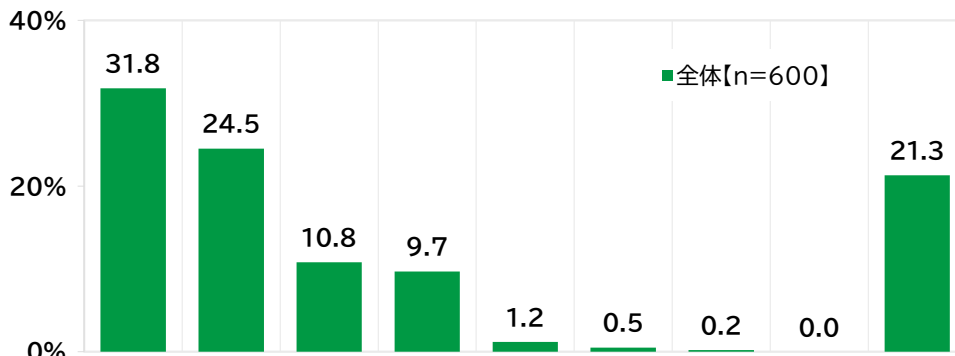
## その他

★高校卒業後に希望する進路 3人に2人が「進学」を希望  
 「まだ決めていない」は男子の4人に1人、女子の6人に1人

高校卒業後に希望する進路をきいたところ、「国内の大学(地元の大学)」が31.8%で最も高くなり、「国内の大学(地元以外の大学)」が24.5%、「専門学校」が10.8%、「就職(家業を継ぐ場合を除く)」が9.7%、「通信制の大学」が1.2%となり、進路が決まっている人の割合は78.7%、「まだ決めていない」は21.3%となりました。また、進学を希望する人の割合をみると68.8%でした。

男女別にみると、「まだ決めていない」と回答した人の割合は、男子では26.7%、女子では16.0%となりました。

◆高校卒業後に希望する進路は何ですか。(1つ)



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	国内の大学(地元の大学)	国内の大学(地元以外の大学)	専門学校	就職(家業を継ぐ場合を除く)	通信制の大学	海外の大学	家業を継ぐ	その他	まだ決めていない	決まっている	進学
全体		600	31.8	24.5	10.8	9.7	1.2	0.5	0.2	-	21.3	78.7	68.8
性別	男子	300	30.3	22.0	9.0	10.0	1.3	0.3	0.3	-	26.7	73.3	62.9
	女子	300	33.3	27.0	12.7	9.3	1.0	0.7	-	-	16.0	84.0	74.7
性学年別	男子:高校1年生	100	33.0	20.0	5.0	10.0	2.0	1.0	-	-	29.0	71.0	61.0
	男子:高校2年生	100	33.0	20.0	11.0	8.0	1.0	-	-	-	27.0	73.0	65.0
	男子:高校3年生	100	25.0	26.0	11.0	12.0	1.0	-	1.0	-	24.0	76.0	63.0
	女子:高校1年生	100	28.0	30.0	13.0	6.0	1.0	1.0	-	-	21.0	79.0	73.0
	女子:高校2年生	100	33.0	27.0	9.0	11.0	2.0	1.0	-	-	17.0	83.0	72.0
	女子:高校3年生	100	39.0	24.0	16.0	11.0	-	-	-	-	10.0	90.0	79.0
学年別	高校1年生	200	30.5	25.0	9.0	8.0	1.5	1.0	-	-	25.0	75.0	67.0
	高校2年生	200	33.0	23.5	10.0	9.5	1.5	0.5	-	-	22.0	78.0	68.5
	高校3年生	200	32.0	25.0	13.5	11.5	0.5	-	0.5	-	17.0	83.0	71.0

(%)

※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

## ★高校卒業後の希望進路を決めた時期

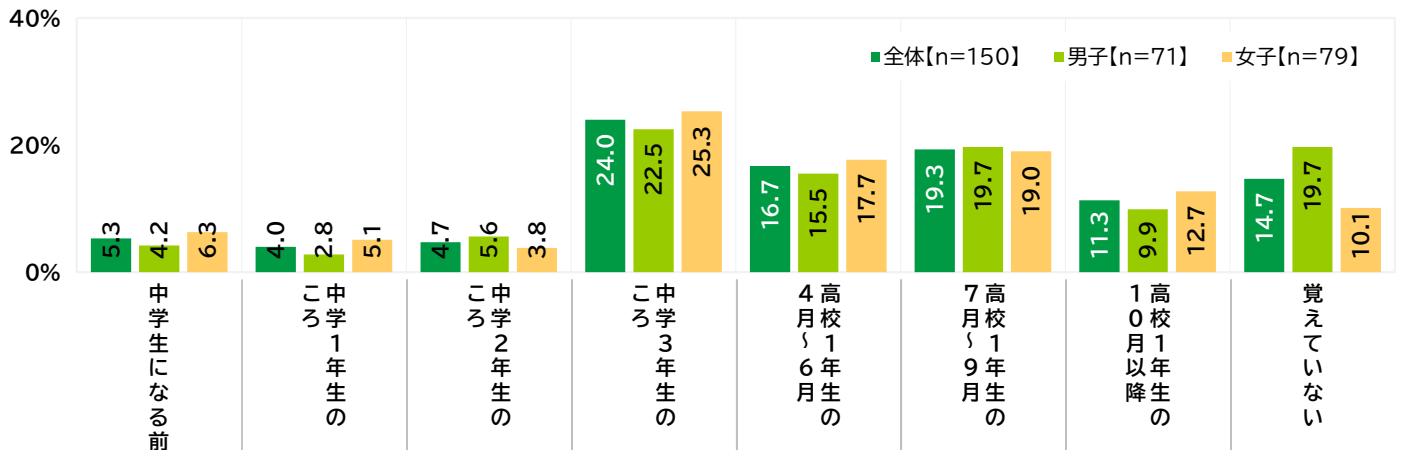
1年生は「中学3年生のころ」、2年生は「高校1年生の4月～6月」、3年生は「高校3年生の4月～6月」が最多

希望進路が決まっている人に、高校卒業後の希望進路を決めたのはいつごろかをききました。

1年生(150名)についてみると、「中学3年生のころ」(24.0%)が最も高くなり、「高校1年生の7月～9月」(19.3%)、「高校1年生の4月～6月」(16.7%)が続きました。

### ◆高校卒業後の希望進路を決めたのはいつごろですか。(1つ)

対象:希望進路が決まっている高校1年生



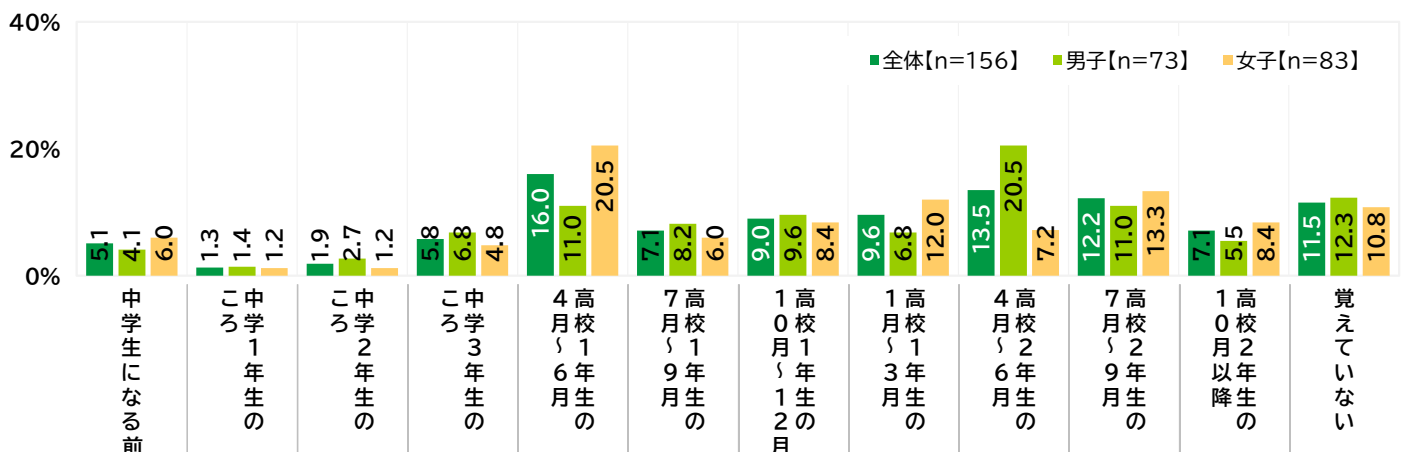
©学研教育総合研究所

2年生(156名)についてみると、「高校1年生の4月～6月」(16.0%)が最も高くなり、「高校2年生の4月～6月」(13.5%)、「高校2年生の7月～9月」(12.2%)が続きました。

男女別にみると、男子では「高校2年生の4月～6月」(20.5%)、女子では「高校1年生の4月～6月」(20.5%)が最も高くなりました。

### ◆高校卒業後の希望進路を決めたのはいつごろですか。(1つ)

対象:希望進路が決まっている高校2年生



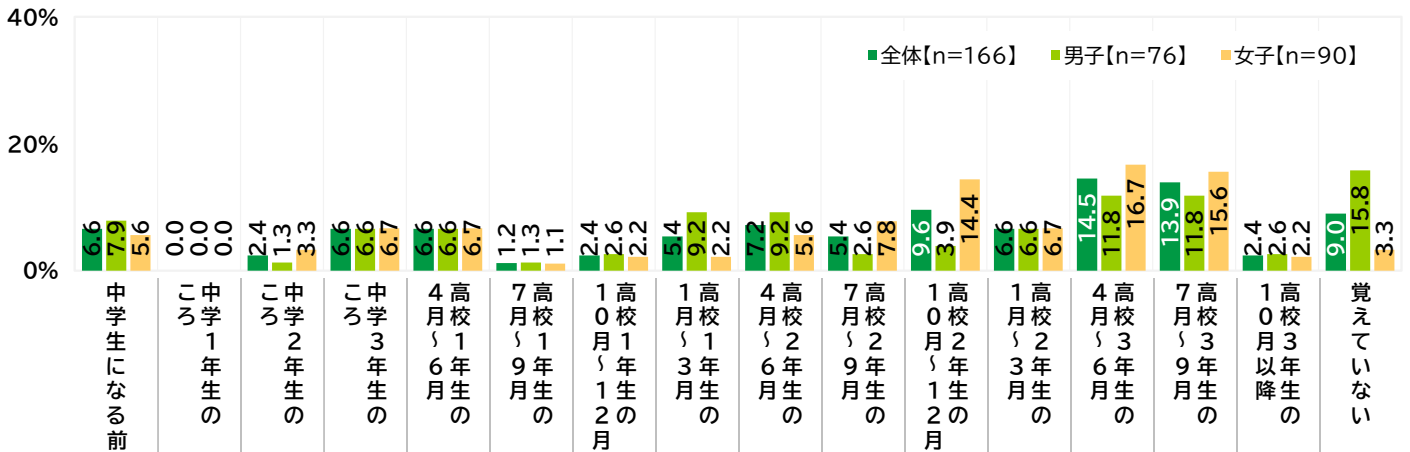
©学研教育総合研究所

3年生(166名)についてみると、「高校3年生の4月～6月」(14.5%)や「高校3年生の7月～9月」(13.9%)が高くなりました。

男女別にみると、男子・女子ともに「高校3年生の4月～6月」(男子11.8%、女子16.7%)と「高校3年生の7月～9月」(男子11.8%、女子15.6%)が高くなり、男子では「高校1年生の1月～3月」と「高校2年生の4月～6月」(いずれも9.2%)、女子では「高校2年生の10月～12月」(14.4%)がそれぞれ続きました。

◆高校卒業後の希望進路を決めたのはいつごろですか。(1つ)

対象:希望進路が決まっている高校3年生

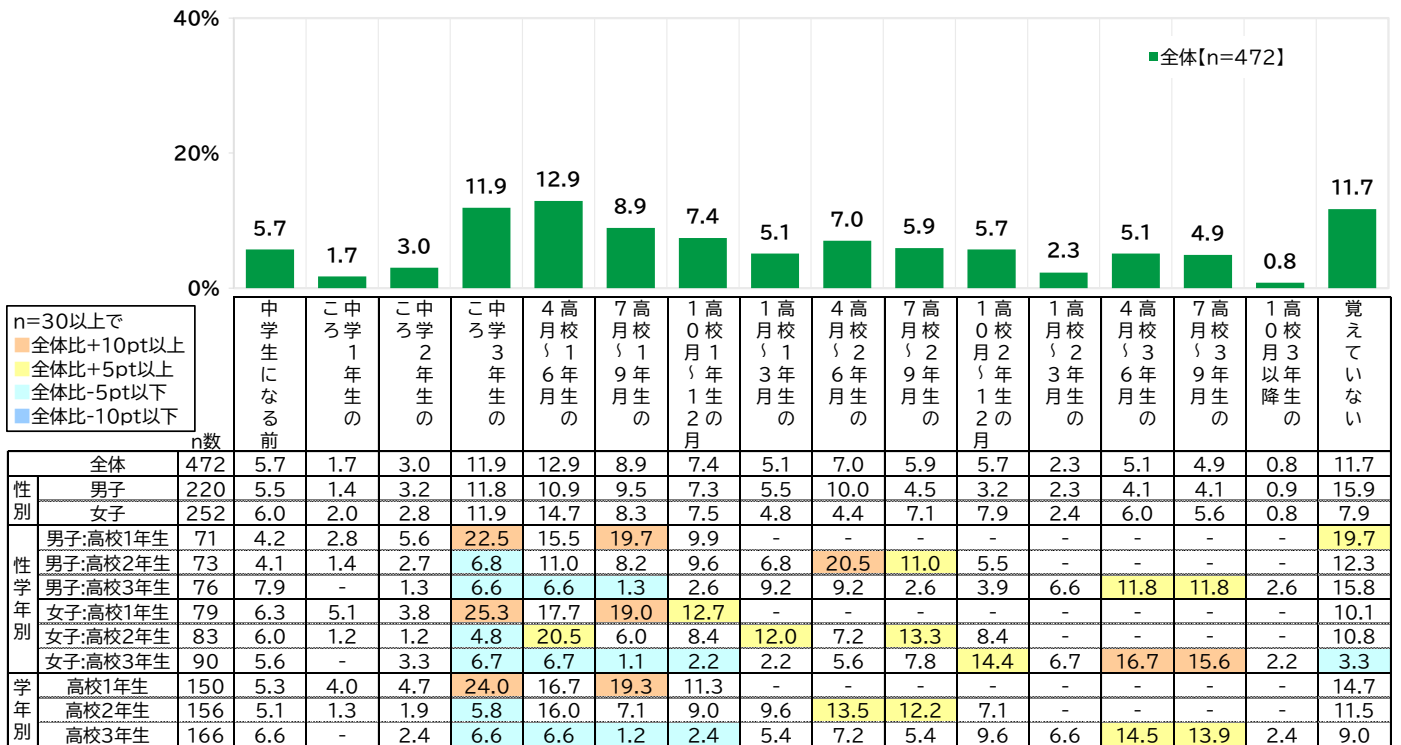


©学研教育総合研究所

【参考】

◆高校卒業後の希望進路を決めたのはいつごろですか。(1つ)

対象:希望進路が決まっている人



©学研教育総合研究所

## ★高校卒業後の希望進路をいつごろまでに決める？「わからない」が最多

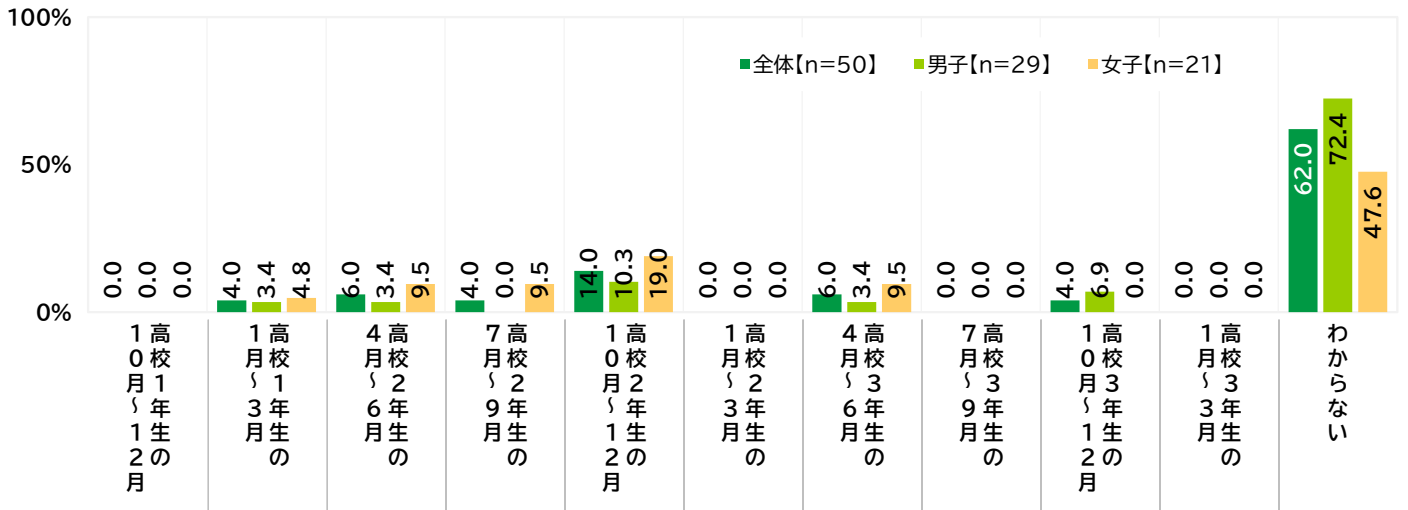
1年生は「高校2年生の10月～12月」、2年生は「高校2年生の10月～12月」と「高校3年生の4月～6月」、3年生は「高校3年生の10月～12月」が続く

他方、希望進路を決めていない人に、高校卒業後の希望進路をいつごろまでに決める予定かをききました。

1年生(50名)についてみると、「わからない」(62.0%)が突出して高くなり、「高校2年生の10月～12月」(14.0%)が続きました。

### ◆高校卒業後の希望進路をいつごろまでに決める予定ですか。(1つ)

対象:希望進路を決めていない高校1年生

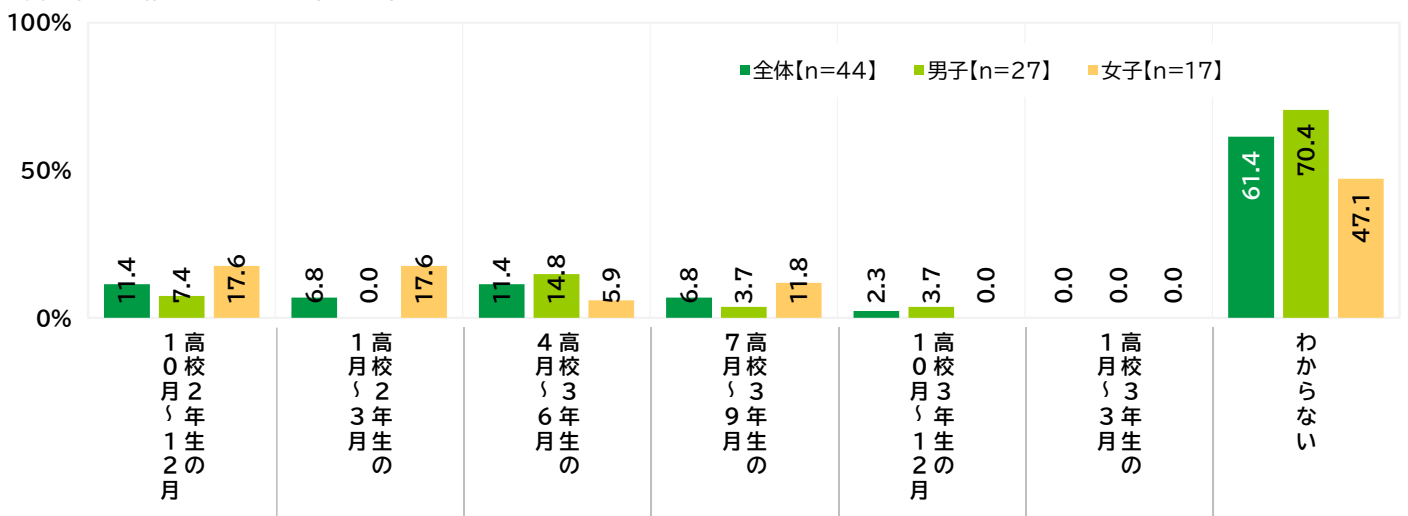


©学研教育総合研究所

2年生(44名)についてみると、1年生と同様に「わからない」(61.4%)が突出して高くなり、「高校2年生の10月～12月」と「高校3年生の4月～6月」(いずれも11.4%)が続きました。

### ◆高校卒業後の希望進路をいつごろまでに決める予定ですか。(1つ)

対象:希望進路を決めていない高校2年生



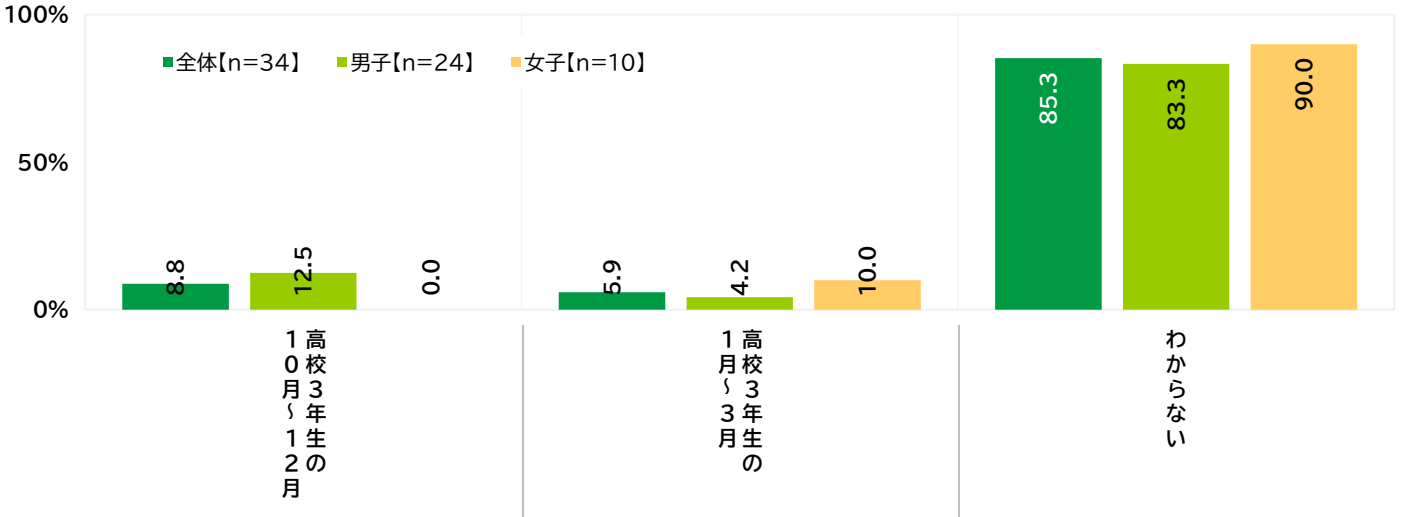
©学研教育総合研究所



3年生(34名)についてみると、1年生・2年生と同様に「わからない」(85.3%)が特に高くなり、「高校3年生の10月～12月」が8.8%、「高校3年生の1月～3月」が5.9%で続きました。

◆高校卒業後の希望進路をいつごろまでに決める予定ですか。(1つ)

対象:希望進路を決めていない高校3年生

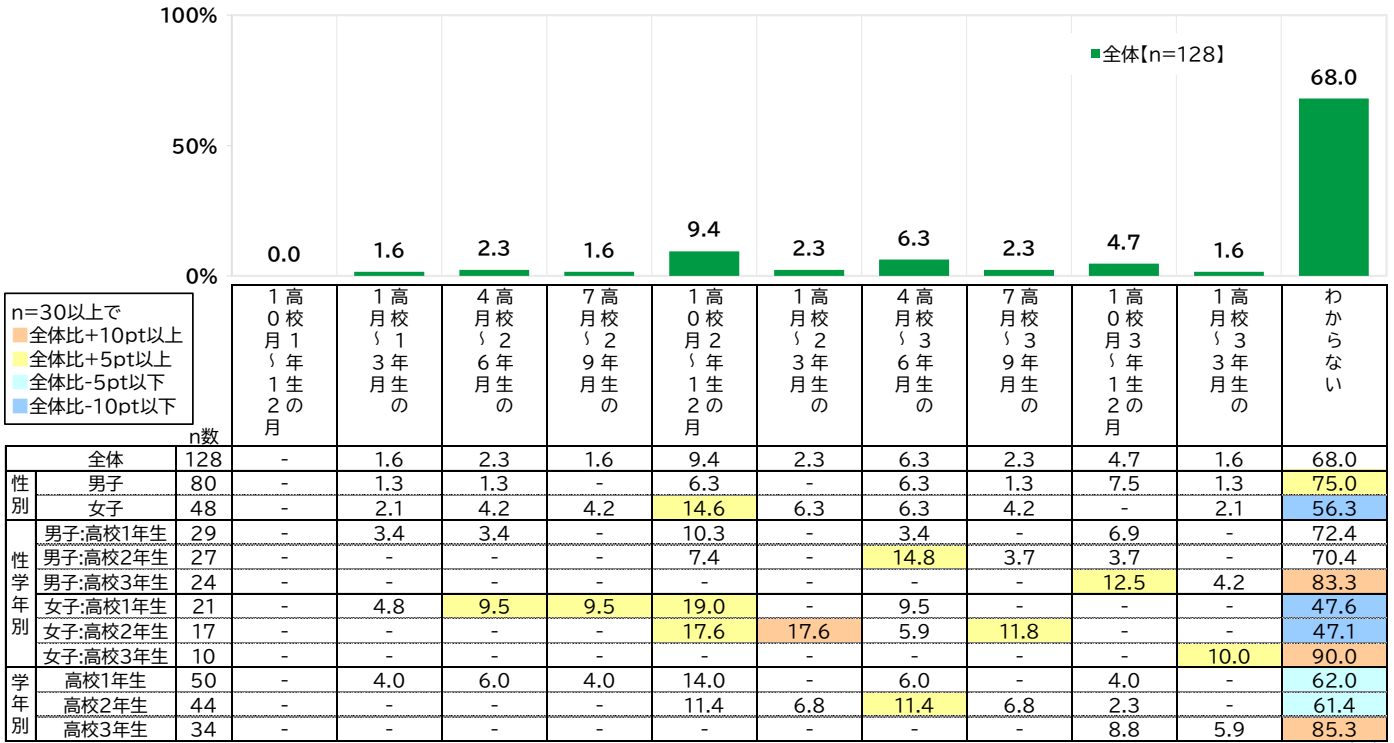


©学研教育総合研究所

【参考】

◆高校卒業後の希望進路をいつごろまでに決める予定ですか。(1つ)

対象:希望進路を決めていない人



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	10月～1年生の2月	1月～1年生の3月	4月～2年生の6月	7月～2年生の9月	10月～2年生の2月	1月～3年生の3月	4月～3年生の6月	7月～3年生の9月	10月～3年生の2月	1月～3年生の3月	わからない
全体	128	-	1.6	2.3	1.6	9.4	2.3	6.3	2.3	4.7	1.6	68.0	
性別	男子	80	-	1.3	1.3	-	6.3	-	6.3	1.3	7.5	1.3	75.0
	女子	48	-	2.1	4.2	4.2	14.6	6.3	6.3	4.2	-	2.1	56.3
学年別	男子:高校1年生	29	-	3.4	3.4	-	10.3	-	3.4	-	6.9	-	72.4
	男子:高校2年生	27	-	-	-	-	7.4	-	14.8	3.7	3.7	-	70.4
	男子:高校3年生	24	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	4.2	83.3
	女子:高校1年生	21	-	4.8	9.5	9.5	19.0	-	9.5	-	-	-	47.6
	女子:高校2年生	17	-	-	-	-	17.6	17.6	5.9	11.8	-	-	47.1
	女子:高校3年生	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	90.0
学年別	高校1年生	50	-	4.0	6.0	4.0	14.0	-	6.0	-	4.0	-	62.0
	高校2年生	44	-	-	-	-	11.4	6.8	11.4	6.8	2.3	-	61.4
	高校3年生	34	-	-	-	-	-	-	-	-	8.8	5.9	85.3

(%)

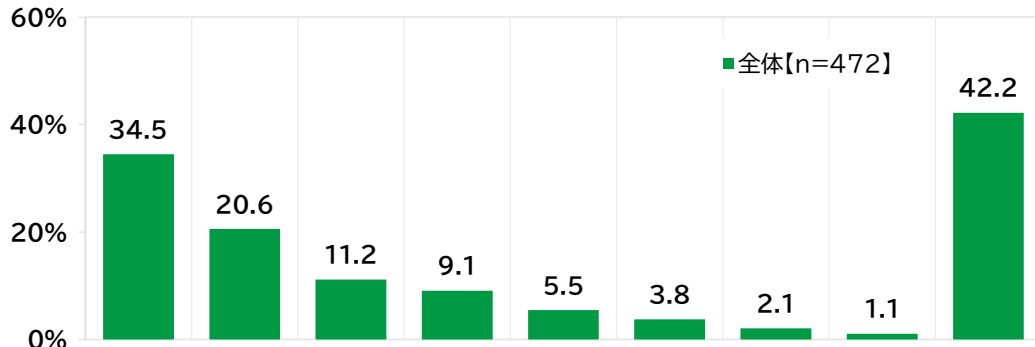
©学研教育総合研究所

★「高校卒業後の希望進路を決める際、影響を受けた人物がいる」希望進路が決まっている人の58%  
 影響を受けた人物 1位「親」2位「学校の先生」3位「友人」4位「兄弟姉妹」5位「先輩」

希望進路が決まっている人(472名)に、高校卒業後の希望進路を決める際、影響を受けた人物はいるかをきいたところ、1位「親」(34.5%)、2位「学校の先生」(20.6%)、3位「友人」(11.2%)、4位「兄弟姉妹」(9.1%)、5位「先輩」(5.5%)となり、「影響を受けた人物はいない」は42.2%、影響を受けた人物がいる人の割合は57.8%でした。

◆高校卒業後の希望進路を決める際、影響を受けた人物はいますか。(あてはまるものをすべて)

対象:希望進路が決まっている人



n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	親	学校の先生	友人	兄弟姉妹	先輩	有名人	塾の先生	その他	影響を受けた人物はいない	影響を受けた人物が
全体		472	34.5	20.6	11.2	9.1	5.5	3.8	2.1	1.1	42.2	57.8
性別	男子	220	36.8	22.7	9.5	10.9	4.5	4.5	2.3	0.5	40.5	59.5
	女子	252	32.5	18.7	12.7	7.5	6.3	3.2	2.0	1.6	43.7	56.3
学年別	男子:高校1年生	71	36.6	25.4	7.0	9.9	8.5	4.2	2.8	-	39.4	60.6
	男子:高校2年生	73	35.6	13.7	9.6	9.6	1.4	4.1	1.4	1.4	42.5	57.5
	男子:高校3年生	76	38.2	28.9	11.8	13.2	3.9	5.3	2.6	-	39.5	60.5
	女子:高校1年生	79	34.2	21.5	13.9	8.9	5.1	7.6	2.5	-	43.0	57.0
	女子:高校2年生	83	36.1	16.9	12.0	7.2	8.4	1.2	1.2	1.2	41.0	59.0
	女子:高校3年生	90	27.8	17.8	12.2	6.7	5.6	1.1	2.2	3.3	46.7	53.3
学年別	高校1年生	150	35.3	23.3	10.7	9.3	6.7	6.0	2.7	-	41.3	58.7
	高校2年生	156	35.9	15.4	10.9	8.3	5.1	2.6	1.3	1.3	41.7	58.3
	高校3年生	166	32.5	22.9	12.0	9.6	4.8	3.0	2.4	1.8	43.4	56.6

(%)  
 ※全体の値を基準に降順並び替え

©学研教育総合研究所

★高校卒業後の希望進路を決める際に影響を受けた本  
『ドラゴン桜』『ビリギャル』『君たちはどう生きるか』『嫌われる覚悟』など

★高校卒業後の希望進路を決める際に影響を受けた出来事  
進学希望者では「オープンキャンパスの説明会」「校風、特色を知って」「進路ガイダンス」「ドラマを観て」、  
就職希望者では「就職した先輩から話を聞いて」「プロの職人を見て」など

希望進路が決まっている人(472名)に、高校卒業後の希望進路を決める際、影響を受けたものについてききました。

まず、影響を受けた本のタイトルをみると、『ドラゴン桜』や『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』といった受験がテーマになっている本のほか、『君たちはどう生きるか』や『嫌われる覚悟』、『すずめの戸締まり』、『この恋は世界でいちばん美しい雨』といった回答がありました。

◆高校卒業後の希望進路を決める際、影響を受けた本のタイトルはなんですか。  
対象:希望進路が決まっている人

ドラゴン桜(男子・2年生)  
学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話(女子・2年生)  
君たちはどう生きるか(男子・3年生)  
嫌われる覚悟(男子・3年生)  
すずめの戸締まり(男子・2年生)  
この恋は世界でいちばん美しい雨(男子・1年生)

※抜粋して表示

©学研教育総合研究所

また、影響を受けた出来事をみると、希望進路が【進学(国内の大学、専門学校)】の人では「オープンキャンパスに参加したときの雰囲気良かった」や「オープンキャンパスの説明会」などオープンキャンパスへの参加がきっかけとなったケースが多くみられました。そのほか、「校風、特色を知って」や「塾の先生から勧められた」、「親との話し合い」、「進路ガイダンス」、「ドラマを観て」といった回答がありました。

希望進路が【就職】の人では「就職した先輩から話を聞いて」や「企業のCMを見てその仕事に関心を持ち、調べたらやりがいがありそうな仕事だった」、「プロの職人を見て」といった回答がありました。

◆高校卒業後の希望進路を決める際、影響を受けた出来事はなんですか。  
対象:希望進路が決まっている人

【希望進路:進学(国内の大学、専門学校)】  
オープンキャンパスに参加したときの雰囲気が良かった(女子・3年生)  
オープンキャンパスの説明会(男子・3年生)  
校風、特色を知って(女子・3年生)  
塾の先生から勧められた(男子・2年生)  
親との話し合い(女子・2年生)  
三者面談(男子・1年生)  
進路ガイダンス(女子・2年生)  
卒業生の講話を聞いて(男子・1年生)  
ドラマを観て(女子・1年生)

【希望進路:就職】  
就職した先輩から話を聞いて(女子・3年生)  
企業のCMを見てその仕事に関心を持ち、調べたらやりがいがありそうな仕事だった(男子・1年生)  
プロの職人を見て(男子・3年生)

※抜粋して表示

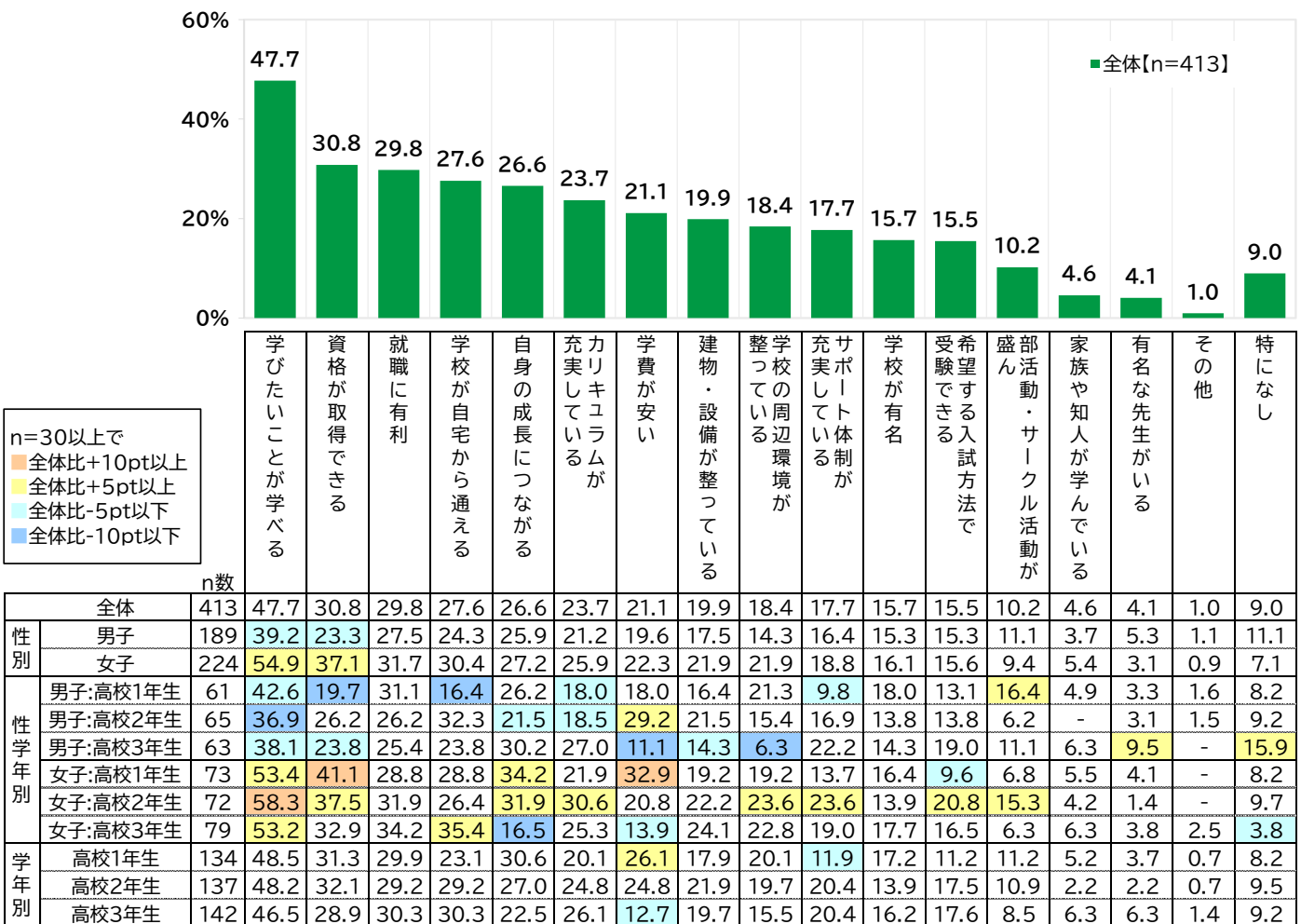
©学研教育総合研究所

★進学希望者が高校卒業後の希望進路を決める際に重視したこと  
 1位「学びたいことが学べる」2位「資格が取得できる」3位「就職に有利」

希望進路が進学の人(413名)に、高校卒業後の希望進路を決める際、どのようなことを重視したかをきいたところ、1位は「学びたいことが学べる」(47.7%)でした。次いで、2位「資格が取得できる」(30.8%)、3位「就職に有利」(29.8%)、4位「学校が自宅から通える」(27.6%)、5位「自身の成長につながる」(26.6%)となりました。

学年別にみると、1年生と2年生では「資格が取得できる」(1年生31.3%、2年生32.1%)、3年生では「就職に有利」と「学校が自宅から通える」(いずれも30.3%)が2位でした。

◆高校卒業後の希望進路を決める際、どのようなことを重視しましたか。(あてはまるものをすべて)  
 対象:希望進路が進学の人



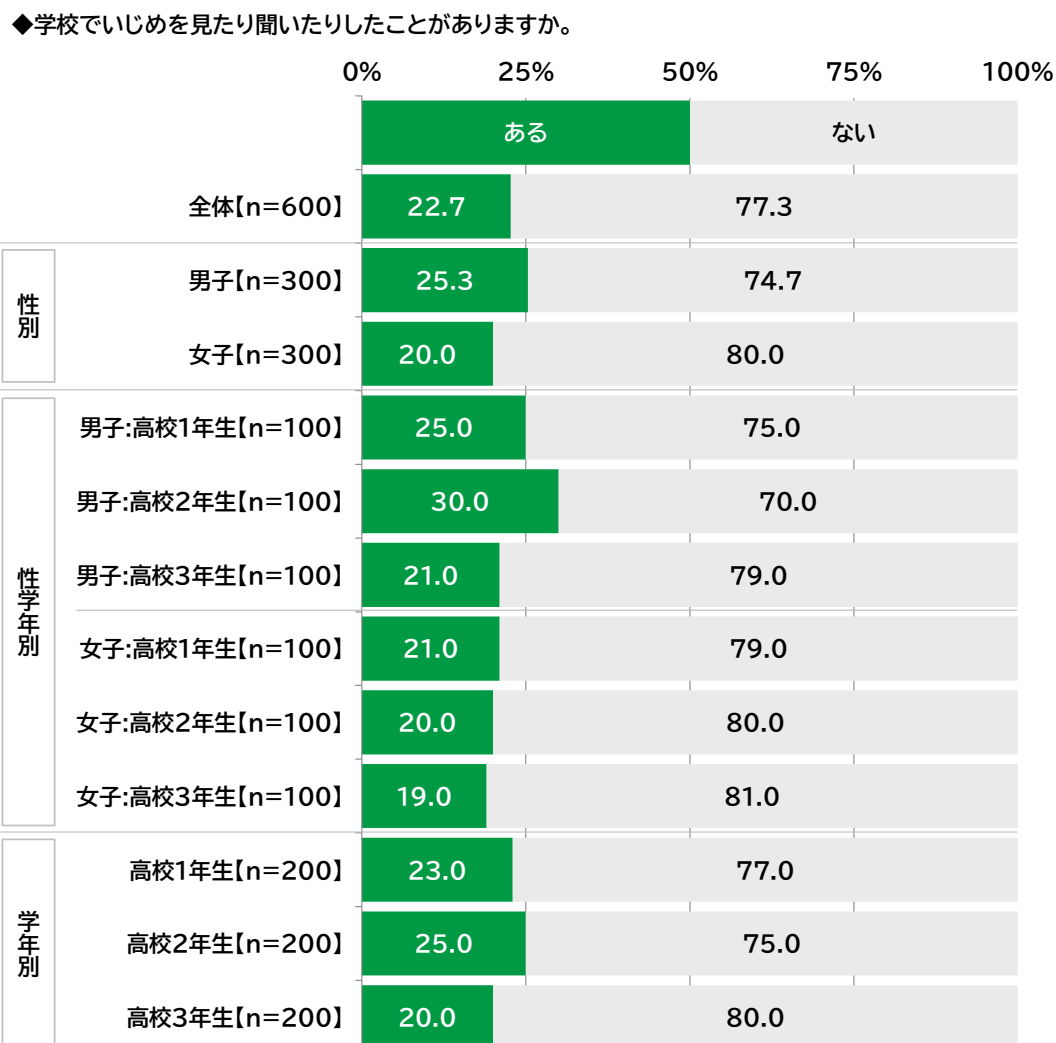
n=30以上で  
 ■全体比+10pt以上  
 ■全体比+5pt以上  
 ■全体比-5pt以下  
 ■全体比-10pt以下

		n数	学びたいことが学べる	資格が取得できる	就職に有利	学校が自宅から通える	自身の成長につながる	充実しているカリキュラムが	学費が安い	建物・設備が整っている	整っている学校の周辺環境が	充実しているサポート体制が	学校が有名	希望する入試方法で受験できる	盛んな部活動・サークル活動がある	家族や知人が学んでいる	有名な先生がいる	その他	特になし
全体		413	47.7	30.8	29.8	27.6	26.6	23.7	21.1	19.9	18.4	17.7	15.7	15.5	10.2	4.6	4.1	1.0	9.0
性別	男子	189	39.2	23.3	27.5	24.3	25.9	21.2	19.6	17.5	14.3	16.4	15.3	15.3	11.1	3.7	5.3	1.1	11.1
	女子	224	54.9	37.1	31.7	30.4	27.2	25.9	22.3	21.9	21.9	18.8	16.1	15.6	9.4	5.4	3.1	0.9	7.1
性学年別	男子:高校1年生	61	42.6	19.7	31.1	16.4	26.2	18.0	18.0	16.4	21.3	9.8	18.0	13.1	16.4	4.9	3.3	1.6	8.2
	男子:高校2年生	65	36.9	26.2	26.2	32.3	21.5	18.5	29.2	21.5	15.4	16.9	13.8	13.8	6.2	-	3.1	1.5	9.2
	男子:高校3年生	63	38.1	23.8	25.4	23.8	30.2	27.0	11.1	14.3	6.3	22.2	14.3	19.0	11.1	6.3	9.5	-	15.9
	女子:高校1年生	73	53.4	41.1	28.8	28.8	34.2	21.9	32.9	19.2	19.2	13.7	16.4	9.6	6.8	5.5	4.1	-	8.2
	女子:高校2年生	72	58.3	37.5	31.9	26.4	31.9	30.6	20.8	22.2	23.6	23.6	13.9	20.8	15.3	4.2	1.4	-	9.7
	女子:高校3年生	79	53.2	32.9	34.2	35.4	16.5	25.3	13.9	24.1	22.8	19.0	17.7	16.5	6.3	6.3	3.8	2.5	3.8
学年別	高校1年生	134	48.5	31.3	29.9	23.1	30.6	20.1	26.1	17.9	20.1	11.9	17.2	11.2	11.2	5.2	3.7	0.7	8.2
	高校2年生	137	48.2	32.1	29.2	29.2	27.0	24.8	24.8	21.9	19.7	20.4	13.9	17.5	10.9	2.2	2.2	0.7	9.5
	高校3年生	142	46.5	28.9	30.3	30.3	22.5	26.1	12.7	19.7	15.5	20.4	16.2	17.6	8.5	6.3	6.3	1.4	9.2

(%)  
 ※全体の値を基準に降順並び替え  
 ©学研教育総合研究所

## ★「学校でいじめを見たり聞いたりしたことがある」23%、2年生の男子では30%

学校でいじめを見たり聞いたりしたことがあるかをきいたところ、「ある」は22.7%、「ない」は77.3%となりました。男女・学年別にみると、「ある」と回答した人の割合は、2年生の男子(30.0%)が最も高くなりました。



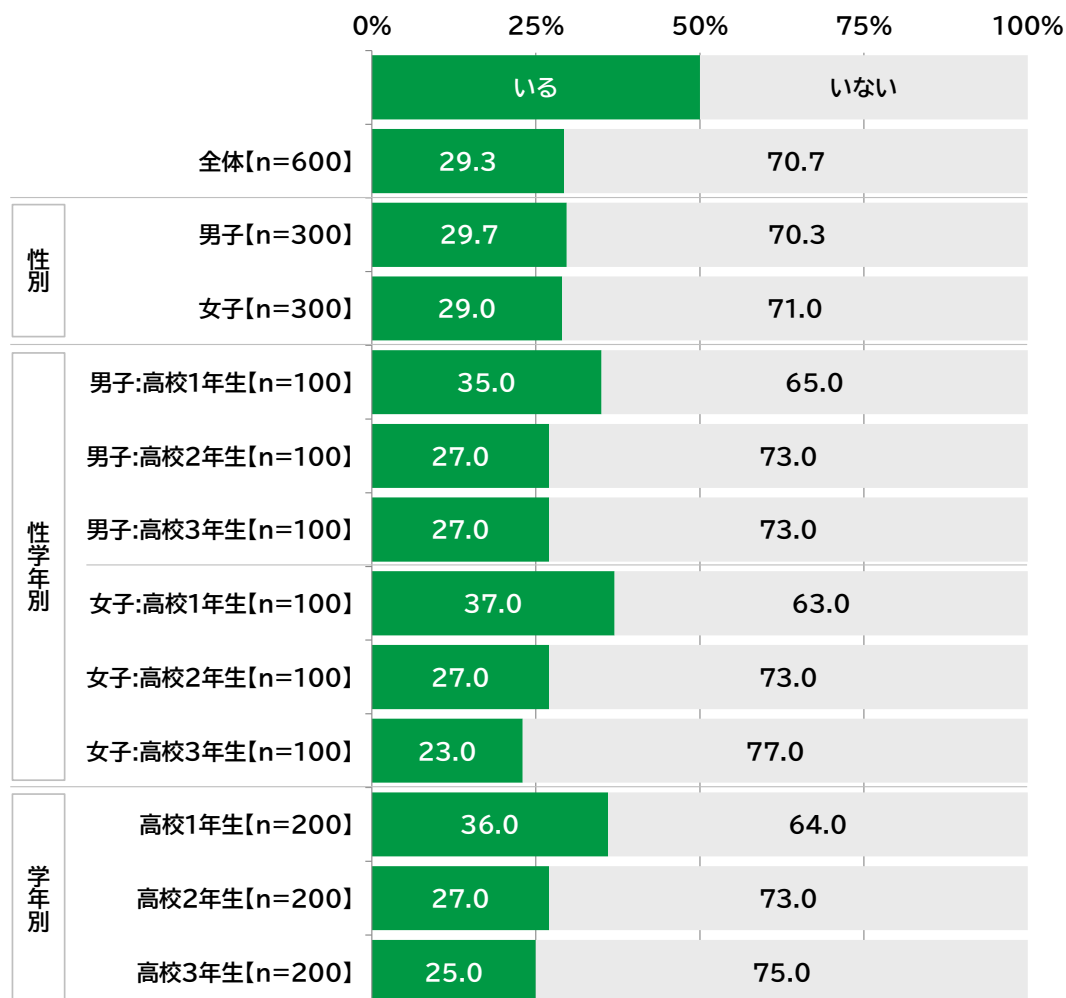
©学研教育総合研究所

## ★「クラスには、長期間お休みしている人がいる」29%、1年生では36%

自身のクラスには、長期間お休みしている人がいるかをきいたところ、「いる」は29.3%、「いない」は70.7%となりました。

学年別にみると、「いる」と回答した人の割合は、下の学年で高くなる傾向がみられ、1年生では36.0%でした。

◆自身のクラスには、長期間お休みしている人がいますか。



©学研教育総合研究所

### 調査テーマ

『白書シリーズ』は、1946年から『1～6年の学習』(1957年から『学習』と『科学』)の読者ががきによるアンケート調査『小学生白書』の後継として、学研教育総合研究所が2010年から実施しているインターネット調査をまとめたものです。

2020年に始まったコロナ禍は2023年には落ち着き、同年の「新型コロナ5類移行」を経てからはコロナ禍前の日常が戻りつつあります。保護者と子どもの関係や子どものふだんの過ごし方、生活意識などはどのようなものなのか、現在の子どもの生活実態や生活意識にフォーカスし、調査を実施しました。また、本調査では、2023年に調査対象に含めていなかった高校生についても調査対象とし、生活の様子や“推し活”、“なりたい大人のイメージ”などにもスポットを当てています。

### 《小学生調査》

### 回答者の属性

本調査では同居する小学生と保護者のペアでの回答を依頼。本調査にご協力くださった小学生と保護者の属性等は以下の通り。

#### 【小学生の属性】

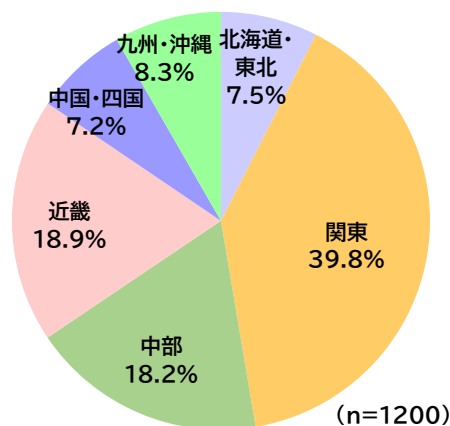
2024年調査時に小学1～6年生、性別は男子と女子が半数ずつ。

<6学年総合計1,200人>

- 1年生 200人 (男子100人/女子100人)
- 2年生 200人 (男子100人/女子100人)
- 3年生 200人 (男子100人/女子100人)
- 4年生 200人 (男子100人/女子100人)
- 5年生 200人 (男子100人/女子100人)
- 6年生 200人 (男子100人/女子100人)

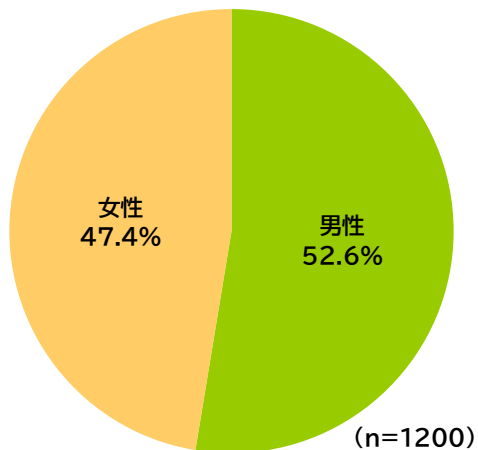
#### 【住んでいる地域】

人口比率を考慮し、日本全国から回答を得ることができるように実施。北海道・東北地方(7.5%)、関東地方(39.8%)、中部地方(18.2%)、近畿地方(18.9%)、中国・四国地方(7.2%)、九州・沖縄地方(8.3%)。



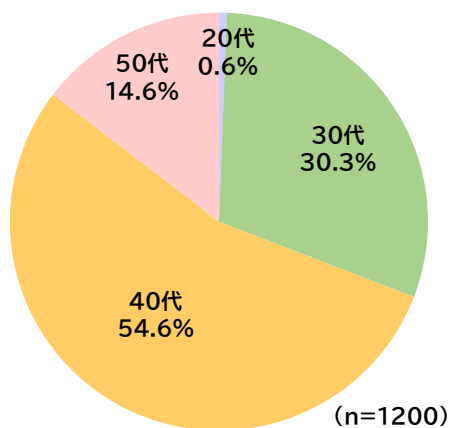
## 【保護者の性別】

保護者の性別の割合は、男性(52.6%)、女性(47.4%)。



## 【保護者の年齢】

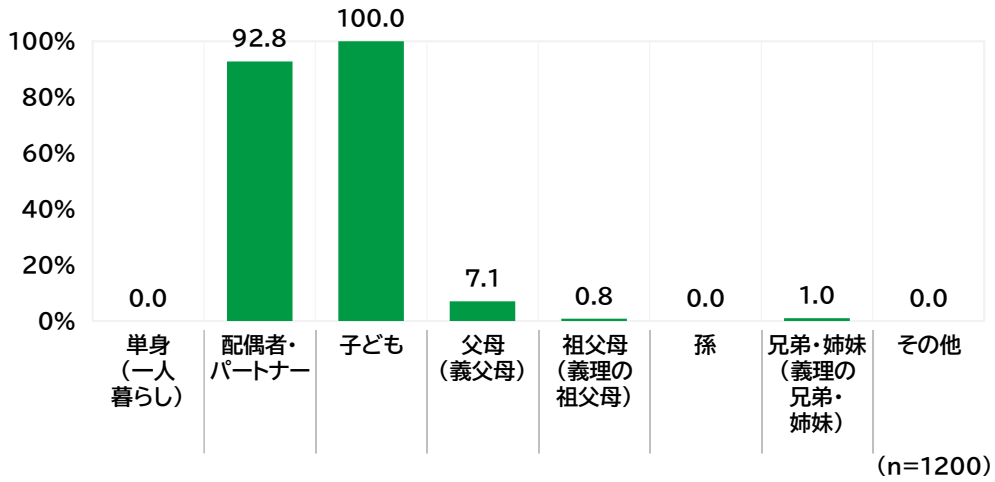
保護者の年齢層で最も多い層が40～49歳(54.6%)、次いで30～39歳(30.3%)、50～59歳(14.6%)、20～29歳(0.6%)。





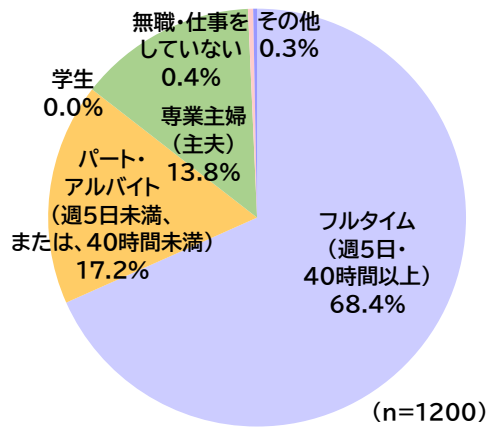
## 【家族構成】

回答者と同居する家族構成は、9割近くが核家族世帯。



## 【保護者の就業形態】

保護者の就業形態の割合は主に、フルタイム(68.4%)、パート・アルバイト(17.2%)、専業主婦(主夫)(13.8%)。



## 《中学生調査》

### 回答者の属性

本調査では同居する中学生と保護者のペアでの回答を依頼。本調査にご協力くださった中学生と保護者の属性等は以下の通り。

#### 【中学生の属性】

2024年調査時に中学1～3年生、性別は男子と女子が半数ずつ。

<3学年総合計600人>

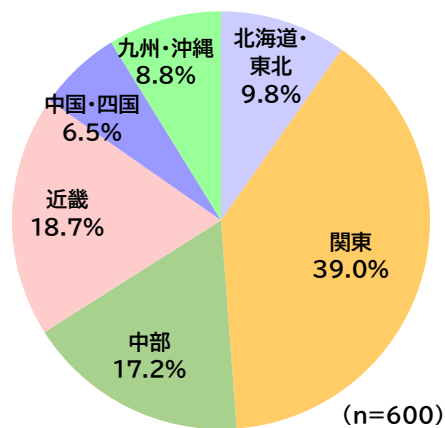
1年生 200人 (男子100人/女子100人)

2年生 200人 (男子100人/女子100人)

3年生 200人 (男子100人/女子100人)

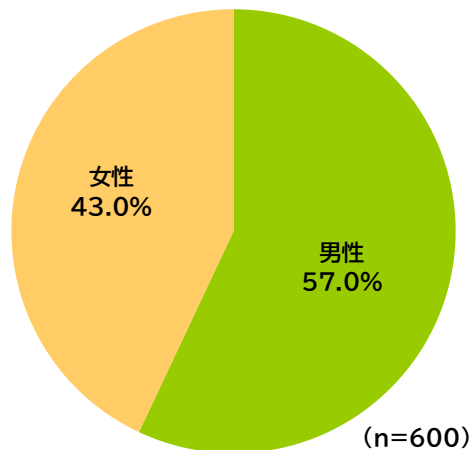
#### 【住んでいる地域】

人口比率を考慮し、日本全国から回答を得ることができるよう実施。北海道・東北地方(9.8%)、関東地方(39.0%)、中部地方(17.2%)、近畿地方(18.7%)、中国・四国地方(6.5%)、九州・沖縄地方(8.8%)。



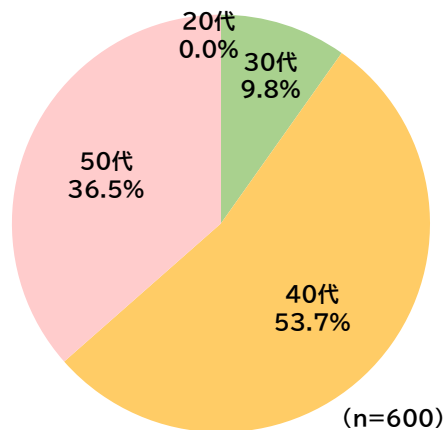
#### 【保護者の性別】

保護者の性別の割合は、男性(57.0%)、女性(43.0%)。



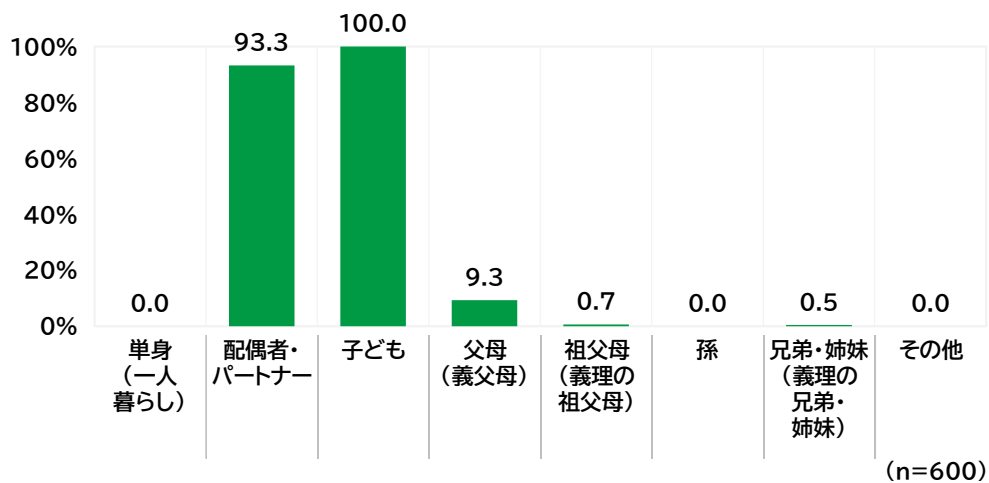
## 【保護者の年齢】

保護者の年齢層で最も多い層が40～49歳(53.7%)、次いで50～59歳(36.5%)、30～39歳(9.8%)。



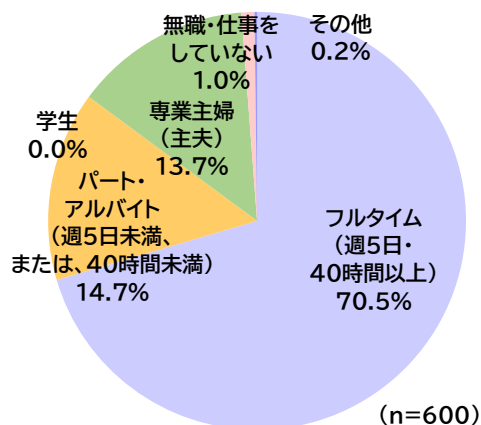
## 【家族構成】

回答者と同居する家族構成は、9割近くが核家族世帯。



## 【保護者の就業形態】

保護者の就業形態の割合は主に、フルタイム(70.5%)、パート・アルバイト(14.7%)、専業主婦(主夫)(13.7%)。



## 《高校生調査》

### 回答者の属性

本調査にご協力くださった高校生の属性等は以下の通り。

#### 【高校生の属性】

2024年調査時に高校1～3年生、性別は男子と女子が半数ずつ。

<3学年総合計600人>

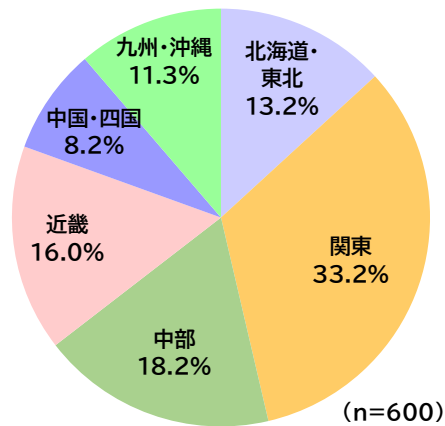
1年生 200人 (男子100人/女子100人)

2年生 200人 (男子100人/女子100人)

3年生 200人 (男子100人/女子100人)

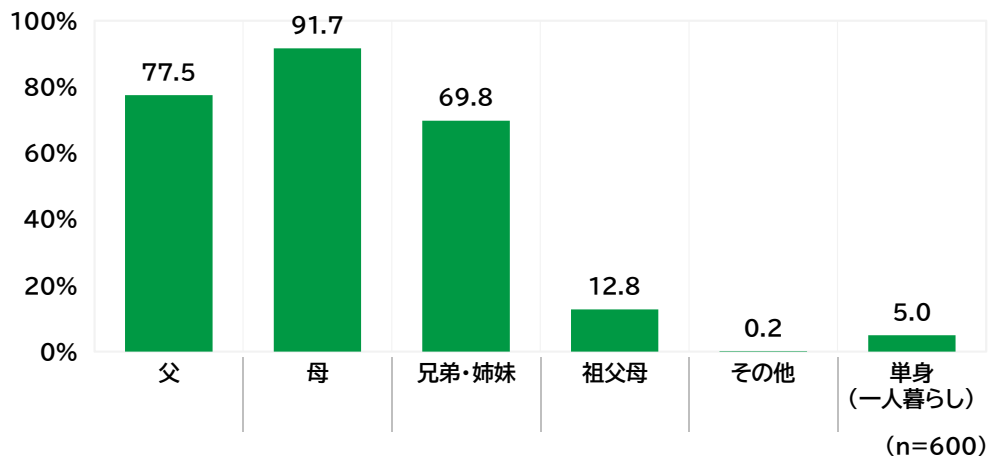
#### 【住んでいる地域】

人口比率を考慮し、日本全国から回答を得ることができるよう実施。北海道・東北地方(13.2%)、関東地方(33.2%)、中部地方(18.2%)、近畿地方(16.0%)、中国・四国地方(8.2%)、九州・沖縄地方(11.3%)。



#### 【家族構成】

回答者と同居する家族構成は、核家族世帯が多くを占める。



## 《調査概要》

調査タイトル :小学生・中学生・高校生白書 小学生・中学生・高校生の学習・学校生活に関する調査

調査対象

(小学生調査) :ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
小学生の子どもを持つ20歳～59歳の保護者

(中学生調査) :ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
中学生の子どもを持つ20歳～59歳の保護者

(高校生調査) :ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
15歳～18歳の高校生

調査地域 :全国

調査方法 :インターネット調査

…小学生と中学生については、本調査に協力していただける日本全国の小学生(1～6年生)の子どもを持つ保護者と中学生(1～3年生)の子どもを持つ保護者を、モニター母集団から抽出し、保護者付き添いのもとで、子ども本人が回答するように依頼。また、高校生については、日本全国の高校生(1～3年生)をモニター母集団から抽出し、回答を依頼。それぞれ、小学1～6年生各学年で男子100人と女子100人ずつとその保護者(計1,200組)、中学1～3年生各学年で男子100人と女子100人ずつとその保護者(計600組)、高校1～3年生各学年で男子100人と女子100人ずつの回答が集まったところで調査を終了。

調査期間 :2024年11月6日(水)～11月14日(木)の9日間

有効回答数

(小学生調査):1,200サンプル

(内訳)子どもの性別・学年により均等割付

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
男子	100	100	100	100	100	100	600
女子	100	100	100	100	100	100	600

(中学生調査):600サンプル

(内訳)子どもの性別・学年により均等割付

	1年生	2年生	3年生	計
男子	100	100	100	300
女子	100	100	100	300

(高校生調査):600サンプル

(内訳)本人の性別・学年により均等割付

	1年生	2年生	3年生	計
男子	100	100	100	300
女子	100	100	100	300

実施機関

:ネットエイジア株式会社

## 報道関係の皆様へ

本リリースの内容の転載にあたりましては、  
「学研教育総合研究所調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

本リリースについての報道関係者のお問い合わせ先

株式会社学研ホールディングス 学研教育総合研究所

E-Mail:info-gri@gakken.co.jp

## 会社概要

会社名 :株式会社学研ホールディングス(GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)  
所在地 :〒141-8510 東京都品川区西五反田二丁目 11 番 8 号  
TEL.03-6431-1001(代表)  
設立 :昭和22年3月31日  
代表者 :代表取締役社長 宮原 博昭